震災に関するアンケート調査

報　告　書

1996年6月

生活協同組合都市生活

震災文庫
6
266

神戸大学人社系図
02000052040

寄贈

復災文庫 6－266

1002710

序

大震災から一年たちましたが、被災にあった地域はまだ前の生活を取り戻したとはいえません。時がたつにつれ、マスコミの報道もますます扱い方が小さくなると思われます。

わたしたちは友好生協の力を借りながら、震災後すぐに救援活動に取り組みました。救援活動を推し進めていくなかで、組合員はもとより地域の人々とともに何をどのように活動することが復興につながっていくのか、ということを考え続けていました。つまり、押しつけではなく、自己満足でなくということです。そのためには地域の実態や組合員一人ひとりの状況を把握することが必要でした。

震災２カ月後に一度アンケートをとりました。けれども震災の被害の大きさを考えると、そのときは聞きたいことを詳しく聞くことはできませんでした。このたびの報告書は、龍谷大学の中川、丸岡両先生を中心にしたスタッフの力をお借りし、ライフラインが元に戻り、地域が落ち着きを取り戻したときに、被災の大きい東神戸支部と西宮支部の組合員に対して行ったアンケートの結果です。「地域の復興なくして生協都市生活の復興はない」と活動を続けました。わたしたちは「救援活動→生活応援活動→地域復興活動」と、震災後の状況により活動を組み直してまいりました。組み立て直しながら、震災後明らかになった問題は、自分たちの問題として取り組んでいます。このアンケートは、組合員の状況を知り、今後の活動に生かすことができるという意味で重要な役割をもっています。

震災で多くのものを失いましたが、人と人の出会いとつながりという大きな財産を得ました。震災を乗り越え、元気に活動を進めていきたいと思います。

最後になりましたが、1995年1月17日の阪神・淡路大震災で亡くなられた方々のご冥福をお祈り致しますとともに、被害に遭われた方に改めて心よりお見舞い申し上げます。

１９９６年６月

生活協同組合 都市生活 理事長

前川　智佳子

02000052040

はじめに

1月17日の未明に大地を揺るがし、街やムラの景色と人びとのありようを一変させたあの震災の日から、もう二度目の夏がめぐってこようとしている。関連報道もめっきり少なくなり、次第に周辺部の人びとの関心は遠のいてゆく。しかし、被災地の人びとが抱える問題は大きく、仮設住宅での高齢者の孤独、生活苦をはじめ、復興計画の内容など、新たな不安はあとを断たない。

被災地の課題は時につれて次々と移りゆく。そのなかで、いま解決しなくてはならない問題を追求することと、今後どこかで同様の事態が生じたときに何ができるのかを考えることが、つねに平行して存在する。そして、そのどちらについても、日頃の地域活動のなかに解決の緒がある。

広域災害の救援は地域外からの力が必要であることはいうまでもないが、その一方で、地域内において、人と人とをつなぐルートがどのように存在しているかが、自らを救う大きな鍵となる。その密度や紐帯が強ければ救援は進みやすく、逆に、それが希薄であればあるほど、救援は困難を極めるといえよう。どれだけの人びとを物心両面から救うことができるのかは、さまざまなグループが、日頃から密度の高い人間関係を保持し、地域をどう捉えるかのビジョンをそれぞれにもっていることが前提である。地域に点在する組合員を網の目状につなごうとしてきた都市生活生協は、生協としてどのような動きが可能だったのだろうか。また、どのような動きが必要だったのだろうか。今回の震災は、生協としての日常活動に何が足りなかったのかを知るきっかけとなったのではないかと思う。

この調査が目的としたものは、震災時にどんな救援が必要だったのか、どんなことを人びとが望んだのか、生協を通しての人びとのつながりとはどういうものであったのか、じっ

くりと当時を振り返ることであった。それをすることによって、いまの生協活動を捉え直すことができるかもしれないと考えたのである。

都市生活現地救援本部は都市生活地域復興センター準備会に改称され、活動が続けられている。震災が我々に与えてくれた課題を解きあかすことによって、今後の生協活動にいままで以上の意義をつけ加えることができればと思う。

都市生活生協が新たな進路を策定するうえで、この報告書が礎石の一つとして役立つことを期待したい。

なお、アンケートの作成をはじめ調査全般にわたって、現地救援本部を支える多くの方々にお力添えをいただいた。とくに、現地救援本部のスタッフである池田啓一さん、小松高志さん、吉田英津子さんには、データの収集など格別なご協力をいただいた。ここに記して感謝の意を表したい。

１９９６年　６月

中川 ユリ子

丸 岡　律子

目　　次

序　文

はじめに

目　次

Ⅰ．調査の概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1

Ⅱ．調査結果および分析・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・3

　１．回答者の属性・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・3

　２．建物の損壊状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・10

　３．震災後の住まい・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・15

　４．安否確認・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・23

　５．救援・援助・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・28

　６．都市生活生協の救援活動・・・・・・・・・・・・・・・・・37

　７．生活情報・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・44

　８．今後のこと・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・52

Ⅲ．自由回答を読む・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・58

　自由回答を読んで・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・58

　自由回答全文掲載＜項目別＞・・・・・・・・・・・・・・・・・63

Ⅳ．ま　と　め・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・78

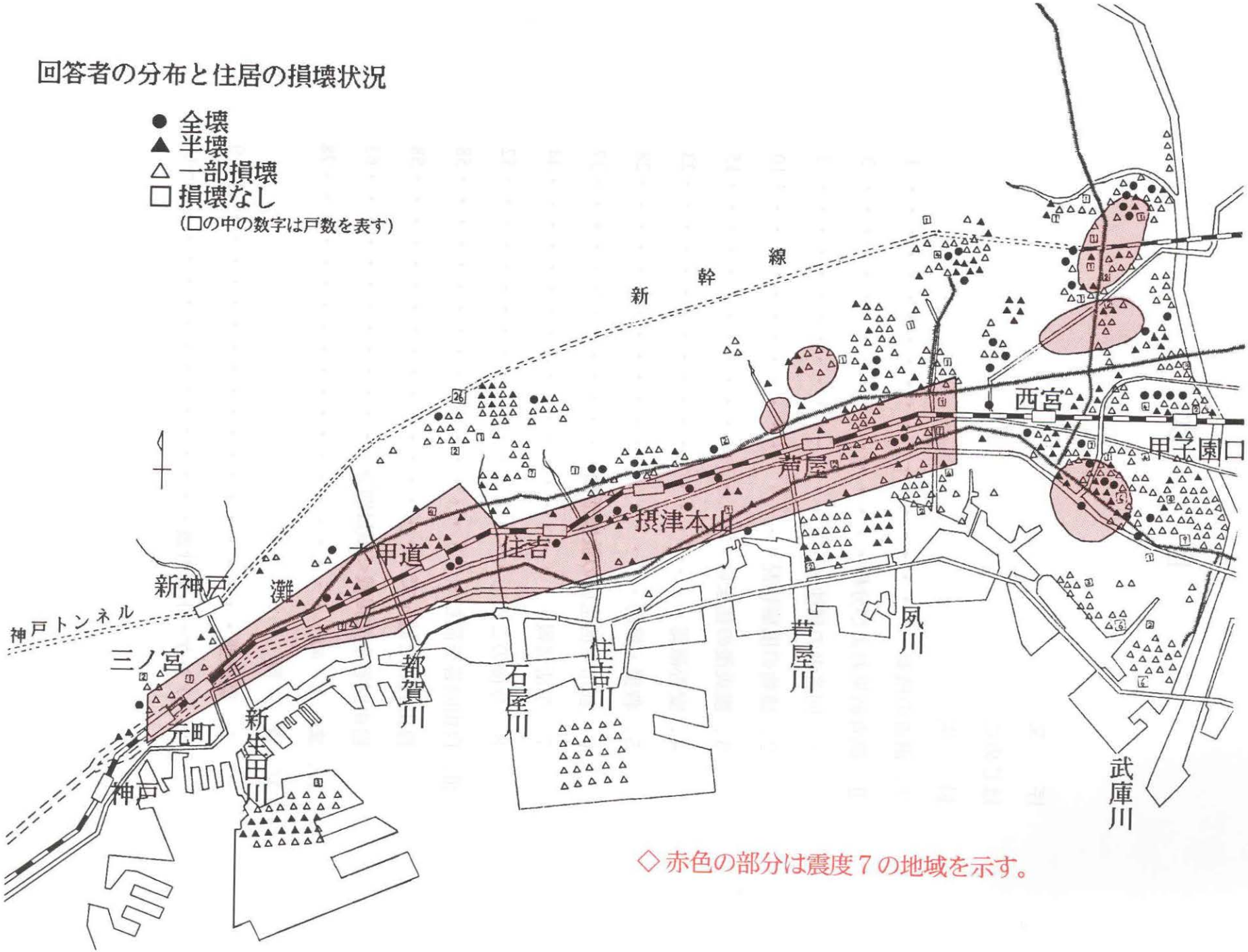
Ⅴ．資　　料

　１．調査票・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1～9

　２．アンケート集計表・・・・・・・・・・・・・・・・・・・(1)～(14)

回答者の分布と住居の損壊状況

● 全壊
▲ 半壊
△ 一部損壊
□ 損壊なし
（□の中の数字は戸数を表す）



◇赤色の部分は震度７の地域を示す。

Ⅰ．調査の概要

１．調査の目的

本調査は、生活協同組合都市生活の依頼によってなされた。この調査は、アンケート調査と聞き取り調査からなる。本報告書は、その前者の報告である。

アンケート調査の目的は

①刻々と必要性が変化する救援の内容を把握し、行われた活動の適切さを問い直し、今後の課題を明らかにすること。

②生協活動がどのように地域に根ざしているのかを知ること。

以上の二つである。

２．調査方法

アンケート票は、現地救援本部に集う複数のメンバーと、龍谷大学講師中川、丸岡によって作成された。配付対象者は、激震地とされた西宮市、芦屋市、神戸市東灘区、同灘区、同中央区に在住する全組合員である。アンケート調査は調査票を組合員の自宅に一週間留め置く、留置法によって行われた。調査票の配付は1995年9月12日から18日までに行い、回収は19日から25日までに行った。ただし、期日に間に合わず、本来の回収日以降に提出されたものがかなりある。それらはすべて受理した。なお、配付・回収ともに、通常の配送を行う職員の手によってなされた。

３．回収結果

配付数は1482である。回収数は755であり、回収率は50.9％であった。そのうち年齢・家族構成の欄に記入のないものを省いた有効回答数は733であった（配付数の49.5％）。ただし、自由回答に関しては、年齢・家族構成が不明であっても、採用している。

それぞれの地域の配付数、回収数、および有効回収数を以下に示した。

	西宮	芦屋	東灘	灘	中央	計
配　付　数	←―947―→		←―535―→			1482
回　収　数	447	66	116	69	57	755
有効回収数	437	62	112	65	57	733

4．データ入力

回収された調査票は、SPSSソフトを使用し、丸岡律子と龍谷大学大学院経済学研究科の許仁教、遊道更二によって、電算処理された。その際、記名者の個人情報の漏洩に関しては充分な注意が払われた。

II．調査結果

1．回答者の属性

1．年齢

アンケート調査には、西宮市、芦屋市、神戸市東灘区、灘区、中央区の５つの地域から733 名の回答を得た。ここではまず、回答者の年齢、家族構成など、回答者の属性を示す基本事項について分析する。これらは、問３以下の回答を分析するときに使用するものである。

回答者の年齢分布は、図 1-1-1 に示す通りで、30 歳代後半から 40 歳代に集中している。35-39 歳の者が 178 人（24.3%）、40-44 歳が 203 人（27.7%）、45-49 歳が 141 人（19.2%）であり、これらの年齢層で全体の７割以上を占める。これに 30-34 歳の 89 人（12.1%）が続き、50 歳代は 62 人（8.5%）、60 歳以上 44 人（5.9%）、20 歳代 16 人（2.2%）と少ない。都市生活生協の組合員の年齢分布の資料がないため詳しくはわからないが、ほぼ組合員全体の年齢分布と一致すると思われる。

年齢層を 35 歳未満、35-39 歳、40-44 歳、45-49 歳、50 歳以上の５つに分けると、ほぼ 20%前後づつの分布となるので、以後の分析では、この区分をつかって年齢層別分析を行う。

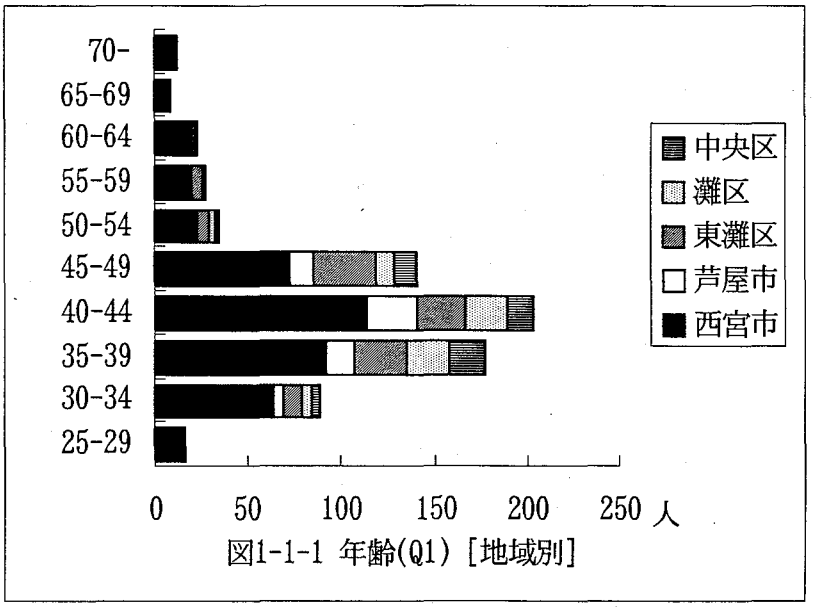
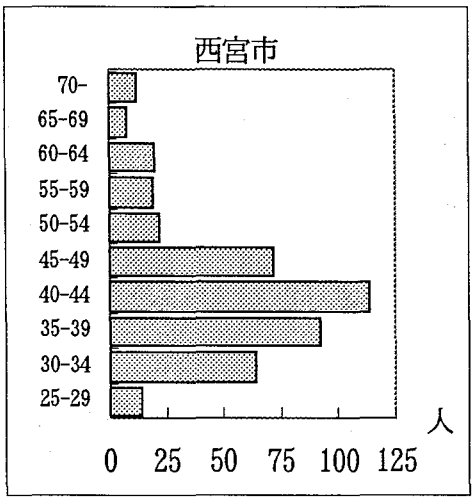
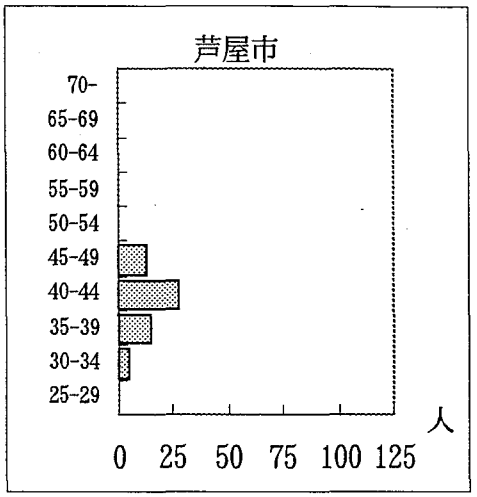
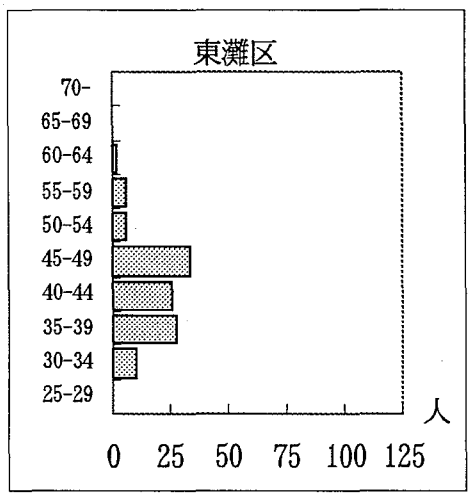


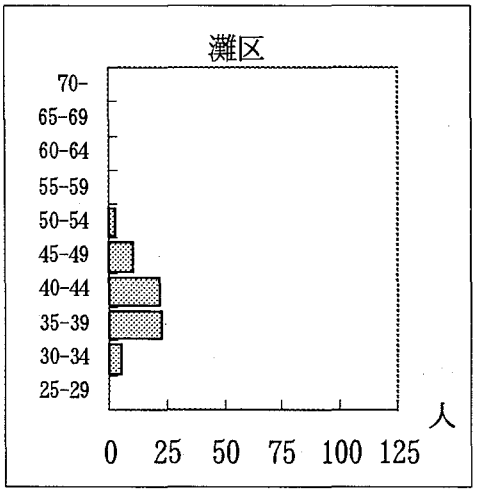
図1-1-1 年齢(Q1)［地域別］

年齢分布を地域別に詳しくみるために、図 1-1-2 に地域ごとの年齢分布を示した。西宮は回答者数が多いこともあって、回答者の各年齢層が厚い。芦屋市は 40-44 歳の層に集中









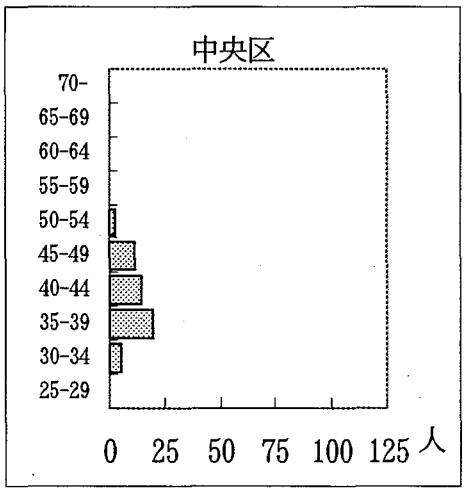


図 1-1-2 年齢(Q1) ［地域別］

している。東灘区は45-49歳のやや高齢の層が多く、逆に灘区、中央区ではむしろ30歳代、40歳代前半の若年層が多くなっている。

2．　性別

ほとんどの回答者が女性であった（男性は10名）。そのため性別による分析は行わない。

3．家族構成

問2では、同居家族の総人数、そのうちの高齢者数、小・中・高校の学齢期の者の数、幼児の数を、震災時と調査時の両方について尋ねた。

まず、震災時の家族構成について述べる。図 1-3-1 は、世帯員数を地域ごとに表している。いずれの地域でも４人世帯が最も多い。最もその割合が多い芦屋市で54.8％（34人）、最も少ない西宮市でも 40.5％（177 人）ある。４人世帯に続くのは３人および５人世帯である。しかし灘区では、他の地域と同様に４人世帯が最も多くそれに３人世帯が続くが、５人世帯より６人以上世帯の多いことが特徴的である。

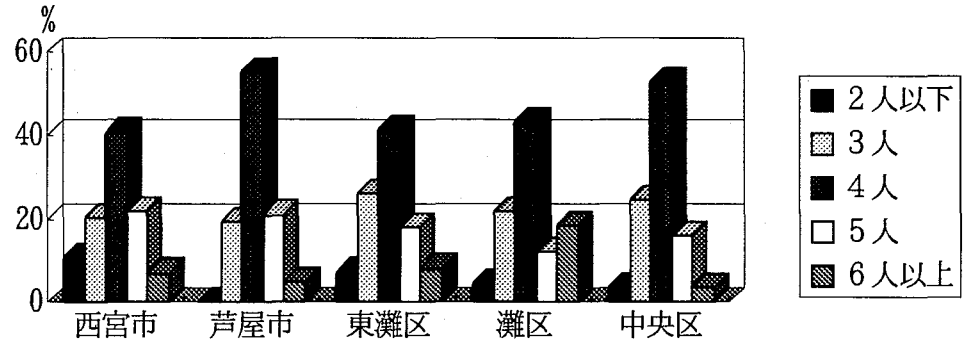


図1-3-1 家族員数(Q2) ［地域別］

アンケートの家族に関する設問は、各年齢層の人数だけを問うものであって、家族間の関係（夫婦、親子など）は問わなかった。これは、関係に基づく家族構成（例えば、「夫婦＋子供」など）よりも、幼児や老人がいるかどうかで震災時の対応が異なってくると考

えたからである。そこで、乳幼児、学齢期の者（小・中・高校生）、高齢者(65 歳以上）に注目して家族構成を分類したのが図 1-3-2 である。

これによると、どの地域も「成人と学齢期の子ども」の類型が最も多く、東灘区の 52.7%（59 人）から芦屋市の 58.1%（36 人）と 5～6 割を占める。西宮市だけが 40.0%（175 人）と割合が少ないが、この類型が最も多いことは同じである。これに「成人と乳幼児」「成人と学齢期の子どもと乳幼児」を合計（「成人と学齢期の子供 and/or 乳幼児」と表す）すると 70%以上となる（西宮市のみ 67.9%）。芦屋市ではこれが 93.5%にもなり、しかも、その残り 6.5%は成人のみの世帯であって、高齢者のいる世帯が皆無であった。

また、灘区において「成人と老人と学齢期の子供 and/or 乳幼児」の 3 世代家族が 21.6%（14 人）と多いこと、西宮市で「成人のみ」の世帯が 15.3%（67 人）であることも特徴的である。さらに、老人のみの世帯は、西宮市の 11 人（2.5%）、中央区の 1 人（1.8%）だけであった。

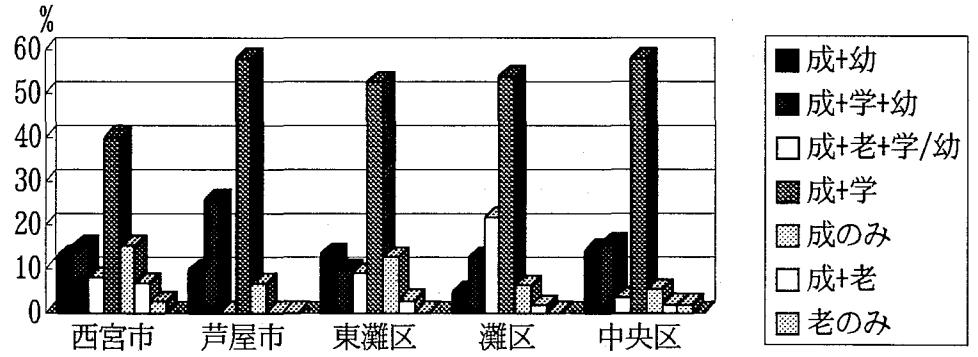


図1-3-2 家族類型(Q2) [地域別]

注１）成・・成人（１８歳以上６５歳未満）　老・・老人（６５歳以上）
　　幼・・乳幼児（６歳未満）　学・・学齢期の者（小・中・高生）
　２）「学／幼」とは、「学齢期の者 and/or 乳幼児」の意味である。

家族類型を回答者の年齢層別にみると、45 歳未満の層では「成人＋学齢期の子供 and/or 乳幼児」がほとんどであり、回答者の年齢層が上がるにしたがって子供の年齢が乳幼児か

ら学齢期に移っていく。老人はあまりいなくて、いる場合も「成人と老人と学齢期の子供 and/or 乳幼児」の３世代の形でみられる。45-49 歳の層では乳幼児がほとんどいなくなり「成人＋学齢期の子供」がほとんどとなる。50 歳以上になると学童期の子供も減って「成人のみ」、「成人と老人」、「老人のみ」となっている。

これらから直接的には読み取れないが、回答者の家族構成は「35-49 歳の夫婦と学齢期の子供１人または２人」が最も多く、約 40%となる。したがって、どの地域も４人世帯を中心とする核家族世帯が回答者の典型的な姿であると推測できる。

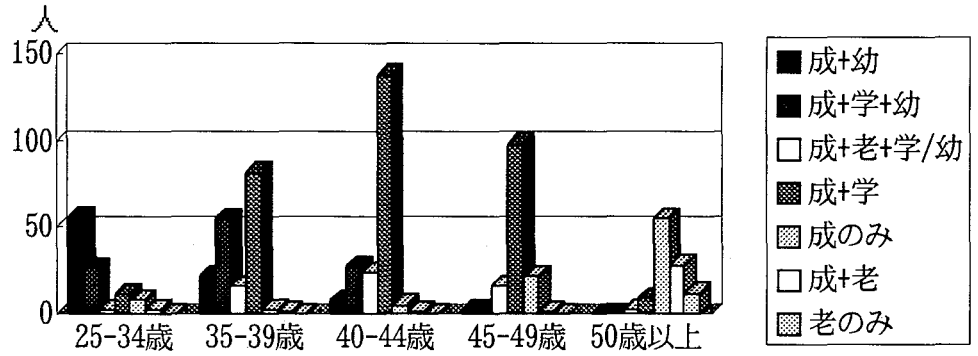


図1-3-3 家族類型(Q2) ［年齢別］

注１）成・・成人（１８歳以上６５歳未満）　老・・老人（６５歳以上）
　　幼・・乳幼児（６歳未満）　学・・学齢期の者（小・中・高生）
　２）「学／幼」とは、「学齢期の者 and/or 乳幼児」の意味である。

４．別居家族

震災後、種々の困難を避けるために、多くの人が一時的に住み慣れた地域を離れた。家族全員が「疎開」した例もあれば、家族員の一部のみが別に住む例もある。調査が行われた震災６ヶ月後までの間に個々の家族員が別居を経験したかどうかは問えなかったが、それに準じるものとして、調査時点で別居家族がいるかどうかを確認した。

震災の影響による別居家族がいるのは、65 歳以上 5 ケース、学齢期の子供 1 ケースを含めて計 15 ケースである。個々の例を以下に列挙する。順に居住地域、住居の損壊状況、回答者の年齢、震災時の家族構成とそのうちの別居者を表している。

1.高齢者が別居の例（４例）

No.1　西宮市、全壊、45 歳、高齢者１＋成人１＋学齢者２、高齢者１人が別居

No.2　西宮市、全壊、46 歳、高齢者１＋成人４、高齢者１人が別居

No.3　西宮市、全壊、37 歳、高齢者２＋成人２＋学齢者２、高齢者２人が別居

No.4　灘区、　半壊、47 歳、高齢者２＋成人２＋学齢者２、高齢者２人が別居

2.高齢者と成人が別居の例（１例）

No.5　西宮市、全壊、42 歳、高齢者２＋成人２＋学齢者２、高齢者２人と成人１人が別居

3.子供が別居の例（１例）

No.6　西宮市、一部損壊、43 歳、成人２＋学齢者２、学齢者１人が別居

4.成人が別居の例（９例）

No.7　西宮市、全壊、63 歳、成人３、成人１人が別居

No.8　西宮市、全壊、60 歳、成人３、成人１人が別居

No.9　西宮市、全壊、46 歳、成人３＋学齢者２、成人１人が別居

No.10 西宮市、半壊、57 歳、成人４、成人２人が別居

No.11 東灘区、半壊、48 歳、成人４＋学齢者１、成人１人が別居

No.12 西宮市、一部損壊、32 歳、成人４＋学齢者１＋乳幼児１、成人２人が別居

No.13 西宮市、一部損壊、34 歳、成人４、成人１人が別居

No.14 西宮市、一部損壊、45 歳、成人３＋学齢者１、成人１人が別居

No.15 東灘区、一部損壊、47 歳、成人４、成人１人が別居

15 例のうち、高齢者の別居が５例ある。今までに述べたように、調査対象者の家族は高齢者のいる家族は比較的少ない（105 例、14.3％）。それに対して、別居例のなかで高齢者を含むケースの割合は 33.3％となり、高齢者が住み慣れた町を離れることを余儀なくされたことがわかる。とくに、全壊の場合はこの傾向が強い。全壊の場合は、実際上生活が困

難であることから他地域に住む子供の家族の所などに「疎開」しているものと思われる。

成人の「疎開」は、全壊４、半壊２、一部損壊４であるから、生活上の困難より、むしろ仕事上の不都合によるのではないかと思われる。

２．建物の損壊状況

１．損壊状況

震度７という経験したことのない地震に、多くの建物が崩壊した。住居の損壊数は被災地域全体で、全壊 100,209、半壊 107,074、一部損壊 183,436（神戸市など一部調査中の地域は含まず）とされている。このうち、被害の最も多かったのは神戸市で、全壊 61,995、半壊 32,114 であった。西宮市は全壊 19,550、半壊 16,307、一部損壊 32,300、芦屋市は全壊 3,898、半壊 3,478、一部損壊 3,759 であった（国土庁『防災白書（平成８年版）』）。どの程度の割合の世帯が被災したのかを知る目安として、住居の破損数を該当地域の一般世帯数に対する割合でみると、神戸市では全世帯数 530,063 に対して全壊は 11.7%、半壊は 6.0%、西宮市では全世帯数 156,671 に対して全壊は 12.5%、半壊は 10.4%、一部損壊は 20.6%、芦屋市では全世帯数 32,186 に対して全壊は 12.1%、半壊は 10.8%、一部損壊は 11.7%と、市民の多くが住居に被害を被った。都市生活生協組合員の住居はどうであったのであろうか。住居の損壊状況を問３と問４で尋ねた。

図 2-1-1 は各地域ごとの住居の損壊状況を示している。全体では一部損壊家屋が 55.5%と半数以上を占め、半壊が 19.4%、全壊は 7.5%と少数である。これと上記の統計数値を単純に比べると、回答者の被害は全壊はやや少なめなものの、半壊は同程度ないしやや多め、一部損壊は随分多い。これは、この調査が被災地域を中心に行われ、被害の少なかった神戸市の西部・北部地域や西宮市の北部地域が調査対象地でなかったこと、また、回答を寄せてくれたのが被害に会いながらも都市生活生協の供給ルートを維持できている人であることなどから、回答者に偏りがあるためであると思われる。したがって、以上の結果だけから単純に都市生活生協の組合員が「一部損壊」被害を極めて多く被ったとはいえない。むしろ、被災地域を重点的に調査したことから「一部損壊」が多いのは当然とみることができ、それに比べて「全壊」が少ないともいえる。

地域別にみると、東灘区で全壊が 12.5%、半壊が 22.3%と被害が大きい。芦屋市、中央

区では全壊は少ないが半壊が多い。灘区では損壊なしが半数近くを占める。

全壊の被害に会ったのは、西宮市34、東灘区14、灘区5、中央区2の合計55人である。西宮市では里中町、上鳴尾町、甲子園浦風町、今津久寿川町、甲子園春風町、津門西口町、江上町、松下町の国道43号線および2号線周辺地域、桜谷町、柳本町、神垣町、門戸岡田町、門戸西町の国道171号線周辺地域、天道町、大森町、上之町の武庫川周辺地域、段上町、一里山町の仁川周辺地域、さらには六軒町、甲陽園日之出町、深谷町と広範囲に及ぶ。

東灘区では、森北町、森南町、深江南町、本山中町、本山南町、岡本、田中町、甲南町、西岡本、住吉宮町、住吉台と、国道2号線周辺を中心としながら区内を横断するように全壊の被害がでている。

灘区では中郷町弓木町、城内通、福住通の山手幹線周辺に計4件と鶴甲にも1件ある。中央区では中山手通りと町名不明の計2件である。

以上の住居の損壊状況をこの報告書冒頭の地図に表している。組合員の被害のひどかった地域が震度7であったとされる地域と重なるのが良くわかる。しかし、西宮市の甲子園や甲陽園は震度7の地域に入っていないにもかかわらず全壊が多く出た。逆に、国道2号線とＪＲを抱えるように神戸市内を横断している震度7地帯には組合員の被害が少ない。これは組合員が多く存在している所とそうでない所があるという偏在性によるものと思われる。

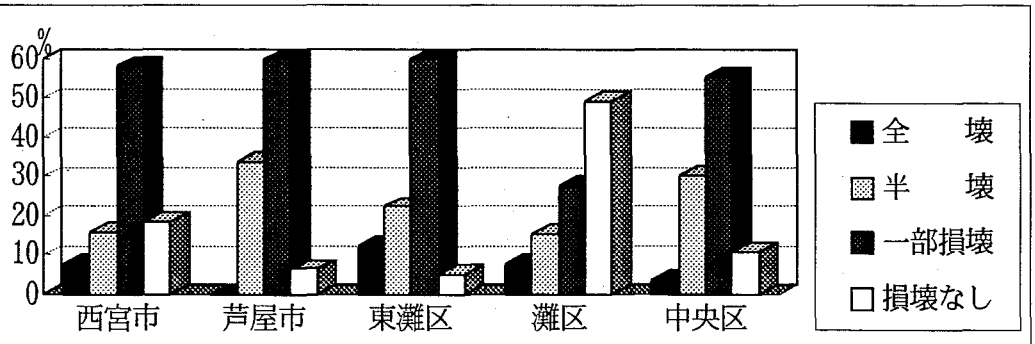


図2-1-1 損壊状況(り災証明に準ずる)(Q3) [地域別]

また、この損壊状況についての質問項目は、行政の発行する罹災証明に基づいて回答を

得ている。したがって、市によって損壊状況の判断基準が異なる可能性はあるし、また、損壊なしとなっていても、実際には一部が損壊し補修を必要とした家もあったはずであることを指摘しておく。

2．調査時点での家屋の状況

調査時点での家屋の状況は、「補修完了（補修中、補修を計画中を含む）」と「補修しない」の合計がどの地域でも80%から90%となり、「取りこわし（取りこわし中、取りこわしを計画中を含む）」は0%から7%（全体で5.3%）、「調査中等で方針がたたない」のは1%から8%（全体で3.4%）と非常に少ない。なかでも建物の「損壊なし」が4割を越える灘区では「補修しない」が44.8%と高い。

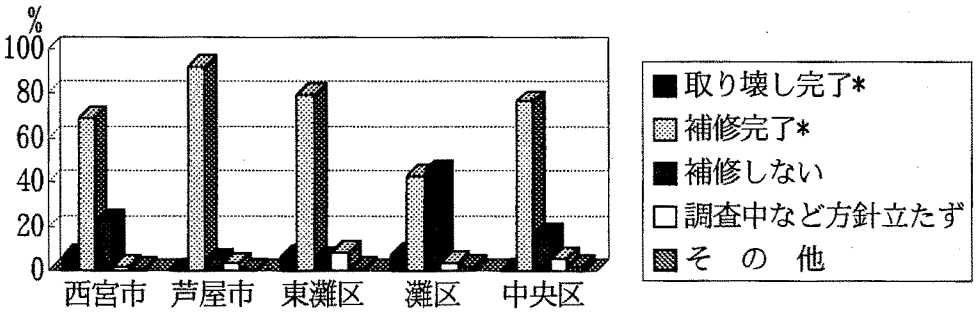


図2-2-1 調査時点での家屋の状況(Q4) [地域別]

*取り壊し完了には「取り壊し中、取り壊しを計画中」を、補修完了には「補修中、補修を計画中」を含む

建物が全壊した者のうち、建物を取り壊したのは51.8%にあたる28名で、44.4%にあたる24名は取り壊しでなく補修ですませている。半壊の者は、建物を取り壊すのが5.7%の8名だけで、83.4%の118名は補修の方針である。しかし、調査時点でまだ方針がたたない者も8.5%（12名）いた。一部損壊の場合は補修するが圧倒的で、補修しないがこれに続く。「損壊無し」の場合は「補修しない」者が多いが、補修の必要のある者も40%と多い。

このように、行政の出すり災証明は一応の損壊程度を示している。全壊の場合は半数以上が取り壊しの必要があるのに対して、一部損壊や損壊なしの場合は取り壊すケースはない。しかし、損壊無し、つまり、り災証明の出ない場合でも補修が不必要だったのではなかったのである。

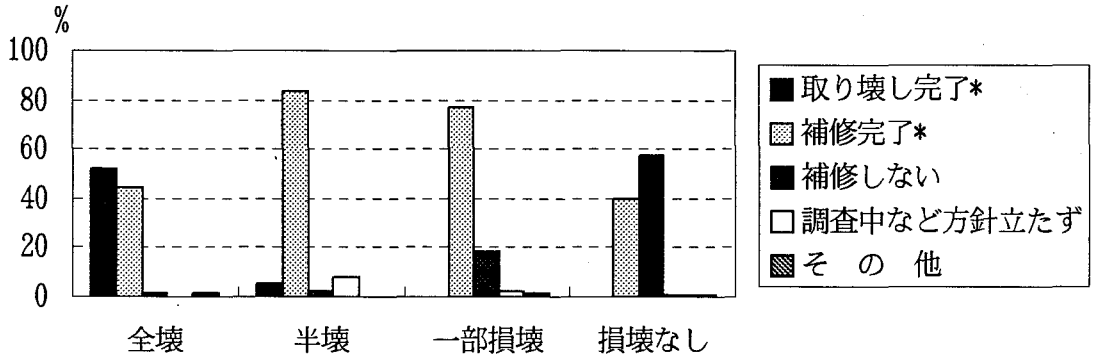


図2-2-2 調査時点での家屋の状況(Q4) [損壊状況別]

*取り壊し完了には「取り壊し中、取り壊しを計画中」を、補修完了には「補修中、補修を計画中」を含む

3．取り壊す場合の再建計画

住居が全壊、半壊、あるいは一部損壊であった者のうち「取り壊しが完了（取り壊し中、計画中を含む）」の 37 戸について再建計画があるかどうかをみると、「再建済み、または再建中」が 11 戸、「再建計画はあるがまだ実施していない」が 22 戸である。約 9 割のものが再建の方針をたてているとはいえ、再建計画のないのも 4 戸あり、それらは調査時点である 6 ヶ月後に、避難所・テント村にいる人が 1 人、震災後に購入・借入した家に住ん

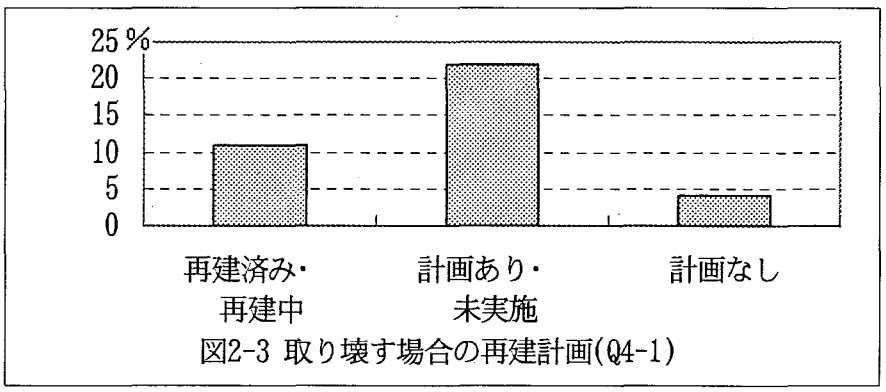


図2-3 取り壊す場合の再建計画(Q4-1)

でいる人が２人、居住場所不明の者１人である（問 10 の回答による）。

なお、避難所・テント村にいる１人に関してその家族構成をみると、震災までは６人家族であったが、現在、老人２人が別居中であり、学齢期の子ども二人が親と同居している。

３．震災後の住まい

１．自宅の損壊程度と住まい

最も重要な生活基盤である住居を失ったり、あるいは崩壊の危機に瀕した時に、回答者が実際にどこにその住まいを移していったのかを経過的に尋ねたのが、問 5 からとい 10 の質問群である。

図 3-1-1 は地震の当日の夜、１週間後、１ヶ月後、２ヶ月後、３ヶ月後、そしてほぼ調査時点である６ヶ月後に回答者本人がどこを居住地としていたかを尋ねた結果を示している。家族の所でも述べたように、回答者の家族全員について調査ができればよかったのであるが、それはかなり複雑なものとなるため、回答者本人の移動についてだけ調査した。したがって、その間の家族の別居については経過を把握できないが、少なくとも家族のなかで中心的な位置にあるであろう回答者の移動を把握することで、人々の移動の経過を知ることができると考えた。

図に示すように、地震の当日は 563 人（77.2%）の人が自宅に待機していた。避難所には 63 人（8.6%）が避難した。居住市区内外の知人・友人宅へ即座に避難したのは、それぞれ 29 人（4.0%）、20 人（2.7%）である。自宅が全壊したのでなければ、すぐにどこかに避難先を求めるよりも、とりあえず自宅で過ごしたという者が多かったのであろう。自動車のなかで一夜を過ごした人が 24 人（3.3%）いるのはこれを物語っている。

しかし１週間後になると、自宅にそのまま居住している人は 391 人（53.7%）と減少し、居住市区外の知人・友人宅に 226 人（31.0%）の者が避難している。自宅の崩壊は免れたものの、ライフラインの寸断によって生活が困難になったためであろう。当時は水道の復旧工事がまだ開始されておらず、給水車にたよる生活である。だから被害を受けていない地域に避難していたのであろう。

一方、避難所は 15 人（2.1%）と減少している。当時、23 日に避難所数は 1,239 ヶ所、避難者数は 319,638 人とピークになっていたのだが（朝日新聞 1995 年 2 月 17 日、朝刊）、

都市生活生協の組合員は避難所よりも自らの縁故によって避難場所を確保しようとしたようである。

1ヶ月後になると、居住市区外の知人・友人宅が124人（17.2%）と減少し、震災前からの自宅が増えて526人（62.4%）となる。ライフラインの復旧と平行して被災地域外にいた人々が戻ってきたのであろう。1ヶ月後直前の水道の復旧状況は、神戸市東部（東灘区・灘区）71.5%、神戸市中央部（中央区・兵庫区）69.6%（いずれも2月14日）、西宮市64.6%（2月15日）、芦屋市73%（2月14日）（各自治体調べ）である。その後も工事が進み、いずれの地域も2月末にはほぼ全域で復旧している。また、この時期には震災時までの居住地に住むことをあきらめて、新たに住居を購入または借り入れた者が11人（1.5%）ある。避難所はさらに減って6人(0.8%）である。当時まだ避難所には21万人を越す人が身を寄せていた。それと比較すると、やはり自宅の確保がかなり早くできたといえる。

この傾向はその後も続き、2ヶ月後に656人（89.7%）、3ヶ月後に695人（95.6%）、6ヶ月後には708人（97.3%）が、震災前からの住居または新規に入手した住宅に住んでいて、その比率はかなり高いといえる。

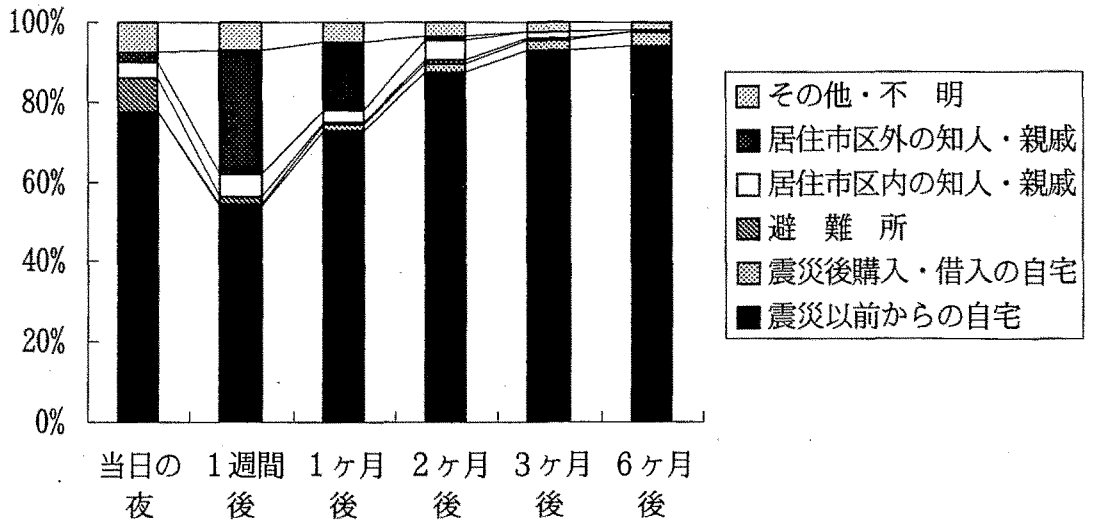


図3-1-1 震災後の住居(Q5-Q10)

次に、自宅の損壊程度別に震災後の住居について分析する。

まず、自宅が全壊した者についてみる。当日の夜と1週間後に震災以前からの自宅にいたのは、それぞれ30.9%、25.5%だけである。当日の夜から避難所に30.9%や知人・親戚宅に23.6%のものが避難している。1週間後には避難所が半減し、知人・親戚宅、とくに居住市区外への避難が目立つ。そして、徐々に震災前からの自宅への帰還が進むと同時に、1ヶ月後ころから自宅のあらたな購入・借入が進み、6ヶ月後には76.4%の者が住まいを確保している。1ヶ月後まで居住区以外の知人・親戚の所にいた人が比較的多いのは、前述の通り、ライフラインの復旧と関係があるだろう。

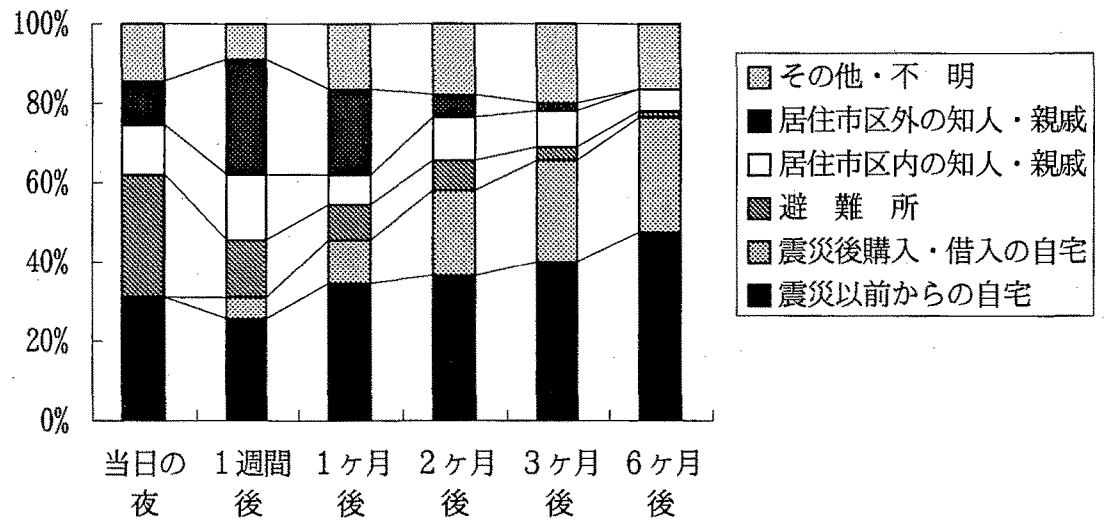


図3-1-2 損壊程度別震災後の住居(Q5-Q10) (1)全壊のもの(55名)

半壊の場合、当日の夜は62.7%の者が自宅に留まっていて、避難所は17.6%と全壊の場合の約半分である。1週間後には31.7%が居住市区外の知人・親戚宅に身を寄せ、自宅に留まる者は43.7%と減っている。しかし、1ヶ月後にはそれらの者も自宅に戻り始め、2ヶ月後には84.9%、6ヶ月後には95.1%と、ほとんどの者が震災前からの自宅に戻っている。

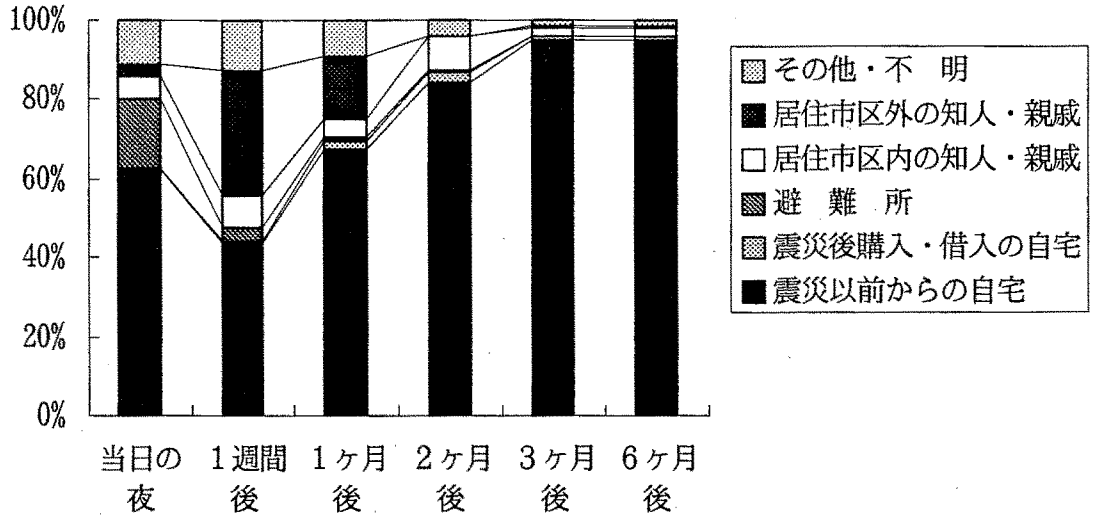


図3-1-3 損壊程度別震災後の住居(Q5-Q10) (2)半壊のもの(142名)

一部損壊、損壊なしの場合は、さらに自宅にいる率が高くなる。避難者が最も多い１週間後でも、それぞれ58.5%、60.9%の者が震災前からの自宅に居住できている。自宅以外にいる場合はほとんどが居住市区外の知人・親戚宅である。つまり、ライフラインの復旧まで地域外に避難する以外は、自宅外に移る必要がないのである。そして１ヶ月後には約４分の３の者、２ヶ月後には９割以上の者が自宅に戻っている。

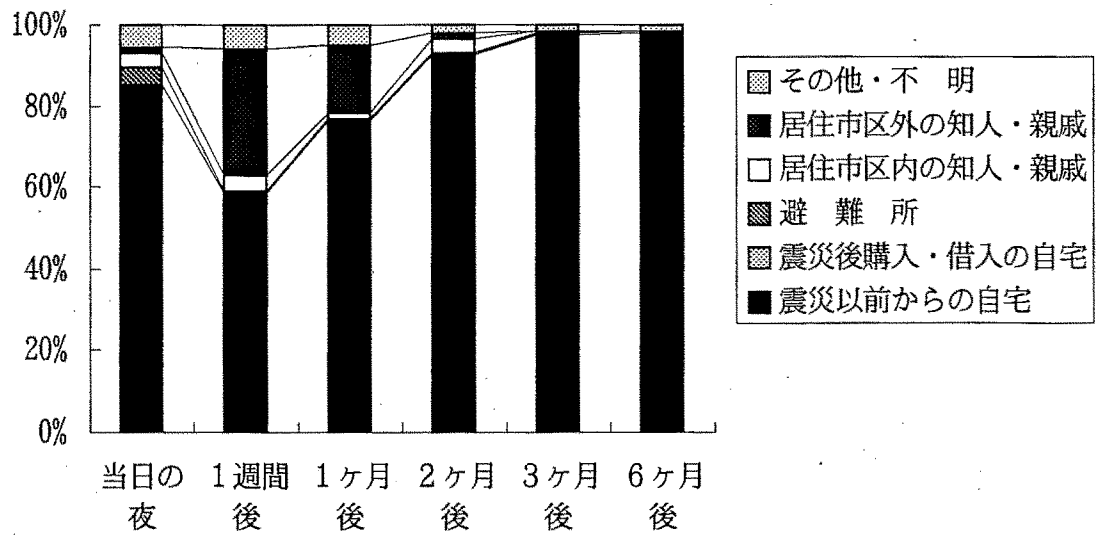


図3-1-4 損壊程度別震災後の住居(Q5-Q10) (3)一部損壊のもの(405名)

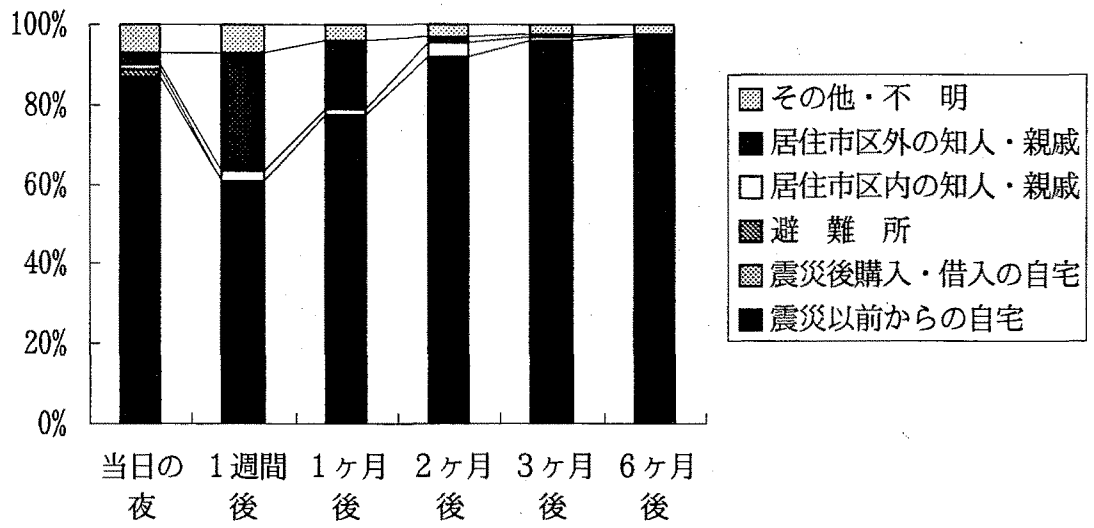


図3-1-5 損壊程度別震災後の住居(Q5-Q10) (4)損壊なしのもの(128名)

４つの結果をみると、１ヶ月後までは居住市区以外の知人・親戚の家に損壊程度の如何にかかわらず２～３割の人が身を寄せていたが、１ヶ月後をさかいにそれは減少している。ライフラインの復旧とともに人々がもとの居住地域に戻ってきたことがわかる。しかし、その戻る時期と場所は損壊程度によって異なり、全壊の場合、新たに自宅を購入したり借り入れたりすることを余儀なくされている。

避難所は、どの損壊程度の場合も１週間後には当日の夜の半分以下となっている。多くの人がとりあえずの避難場所として避難所を利用したが、かなり早い時期に親戚・知人の家に落ち着いた。その点、避難所の避難者全体の推移と傾向が異なっている。

２．帰宅あるいは新規自宅を構えた時期

前述した居住場所に関する質問の回答を、見方を変えて、「いつ自宅に戻ったか」の観点から整理してみる。

図3-2-1は、震災以前からの自宅に戻った者について表している。いずれの市区でも90%

から95%の者が6ヶ月後までに震災前からの自宅に戻っている。しかし、その時期には差がある。比較的被害の少なかった灘区では1週間後には73.4%の者が自宅に戻ったが、被害の大きかった芦屋市や東灘区、中央区は2ヶ月後までずれこんだ。

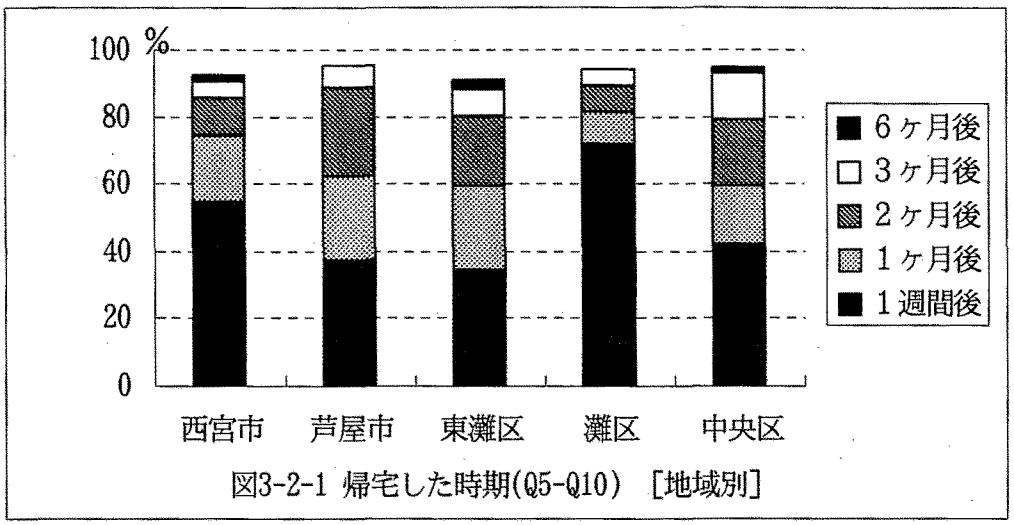


図3-2-1 帰宅した時期(Q5-Q10) [地域別]

注)「1週間後」とは「ずっと自宅、あるいは1週間後までに自宅に戻った」を意味し、「1ヶ月後」とは「1ヶ月後までに自宅に戻った」ことを意味する。以下、2ヶ月後、3ヶ月後、6ヶ月後も同じ

同じことを損壊程度別にみると自宅に戻れた時期の相違が明確になる。被害の程度が少ないほど早く震災前からの自宅に戻れている。そもそも、全壊の場合は自宅に戻れない場合が多く、新たに購入・借入しなければならなかったことは前述の通りである。

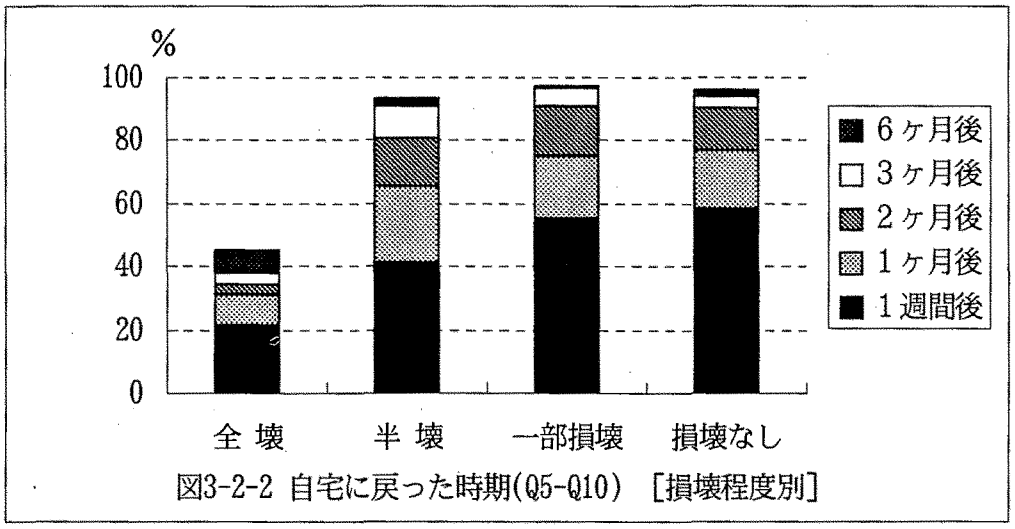


図3-2-2 自宅に戻った時期(Q5-Q10) [損壊程度別]

注) 図3-2-1に同じ

震災後、新たに住居を購入したり借り入れたケースは17件あった。そのうち15件が全壊の者で、残りは半壊と一部損壊が各1件づつであった。時期は、表3-2-1に示すように2ヶ月後までが7件と最も多く、それ以前のケースを合わせると、震災後に自宅を購入・借入した者の82.4%がこれに含まれる。したがって、震災以前の自宅に戻るにしろ新たに購入・借入するにしろ、2ヶ月後が一つの目安となっているとみてよいであろう。

表3-2-1 新規自宅を構えた時期

時期	1週間後まで	1ヶ月後まで	2ヶ月後まで	3ヶ月後まで	6ヶ月後まで
件数	2	5	7	2	1

3．6ヶ月後に住居の定まらない者

前項では震災以前からの自宅に戻った、あるいは新規に自宅を購入・借入した者について分析したが、これらに含まれないのが40件ある。そのうち、勤務先企業などの提供した住居に住んでいるのが4件、自宅に戻ったり新規購入・借入しているがパターンが複雑なため漏れたのが16件、「その他」や不明が13件である。残りの7件が、仮設住宅に居住している者を含めて、調査時現在に自宅の定まらないケースである。これらについて住居の経過の詳細をみる。

No.1（全壊）当日の夜から：居住市区内の知人・親戚の家

No.2（全壊）当日の夜から：居住市区内の知人・親戚の家

No.3（全壊）当日の夜：避難所→1週間後から居住市区内の知人・親戚の家

No.4（半壊）当日の夜から1週間後：避難所→1ヶ月後から：居住市区内の知人・親戚の家

No.5（全壊）当日の夜：自家用車のなか→1週間後から1ヶ月後：自宅→2ヶ月後から：仮設住宅

No.6（全壊）当日の夜から２ヶ月後：避難所→３ヶ月後から：仮設住宅

No.7（全壊）当日の夜から：避難所

No.1 から No.4 は早くて当日の夜、遅くても１ヶ月を過ぎないうちに、居住市区内の知人・親戚の家に移り、そのまま６ヶ月目を迎えている。No.5 と No.6 は２～３ヶ月後に仮設住宅に入っている。No.7 は避難所生活である。それぞれに身を寄せる先の事情があろうが、いずれにしろ自宅の被害のひどかった者が居住場所を定めるのに時間がかかっていることが明確である。

4．安否確認

1．自分の安否を報告した相手

震災後、多くの人が知人の安否を確かめるために、また、自分が無事であることを知人に伝えるために様々な手段を講じた。その手段は、まず近隣を歩くことに始まり、電話に殺到し、それが不通になると貼り紙が有効な伝達機能を発揮した。マスコミも安否情報を連日伝えた。

人々は誰に自分の安否を伝え、また、誰から無事であることを確認されたのか。これは緊密なネットワークがどこに張られているかの指標となる。そのネットワークのなかで、都市生活生協のネットワークがどれくらいの重要度を持っていて、どのように機能したかをみようとしたのが問 11 から問 15 の設問である。

まず、震災後３日間に誰に自分の安否を伝えたかをみたのが図 4-1-1（問 11）である。これは安否報告した相手をすべて答えてもらう複数回答である。このなかで、最も多いのは、別居している親・子供・兄弟・つまり家族である。全体の 87.5%の者がこれらの家族に報告したとしている。とくに芦屋市では 96.8%、東灘区では 92.0%の者が家族に安否報告している。この２地域は回答者の家族に高齢者が極めて少ないので、親と同居している者が少なく、その結果、親に安否を知らせた者が多いのだと思われる。また、親戚に報告

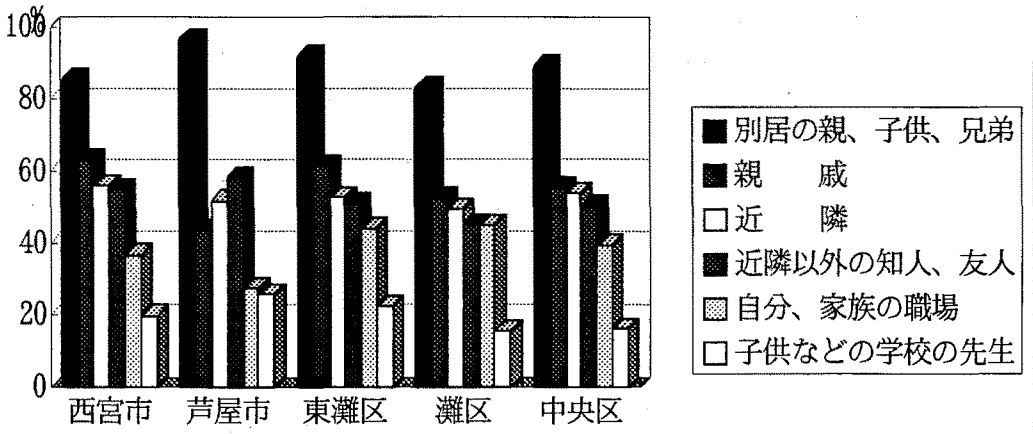


図4-1-1 震災後３日間に自分の安否を報告した相手(Q11)
［複数回答、地域別］

したした者は西宮市と東灘区で多くなっており芦屋では少ない。

近隣へ報告した者は54.2%の394人である。家族や親戚への安否報告は地域や家族構成によって変わってくるが、近隣へはどの地域でも50%前後の者が安否確認を行なった。家族や親戚に次ぐ身近な人として、どの地域でも近隣とある一定のネットワークを持っているといえるであろう。

では、多くの場合に近隣世帯によって形成される生協の班は、震災直後に安否確認のネットワークの一部となりえたのであろうか。自分の安否を組合員に報告した人は355人に

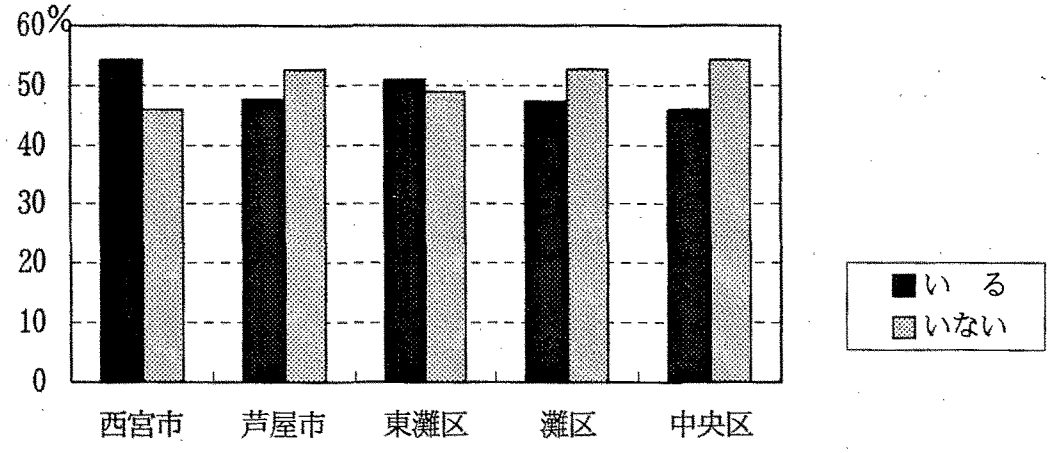


図4-1-2 安否報告した相手に「都市生活」の組合員がいるか(Q12)
[地域別]

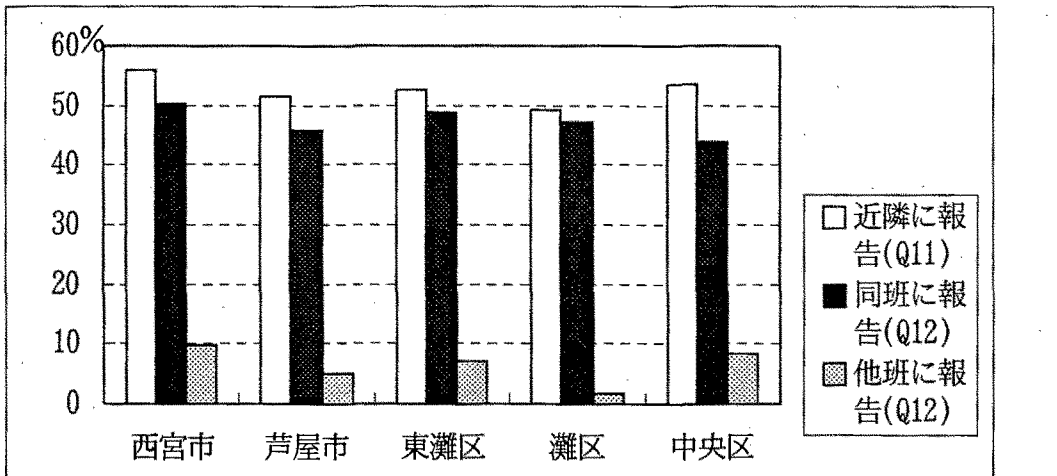


図4-1-3 安否報告した「都市生活」の組合員の班(Q12)と
近隣に安否報告した者(Q11) [地域別、Q12は複数回答]

のぼる。そのほとんどの 334 人が同一の班の人に報告している。前述のように近隣の人に報告したのは 394 人であるから、組合員以外の近隣の人のみに報告した人は少ないと推察できる。近隣関係のなかで、組合員間の紐帯の比重がかなり大きいといえよう。

2．自分が安否確認を受けた相手

前問とは逆に、震災直後に誰から安否確認を受けたかを表したのが図 4-2-1（問 13）である。自分からの報告と同様に、別居している家族からの確認を多くの人が受けているが、その数は自分からの報告を下回る。家族が安否を尋ねてくる前に、まず被災者から安否状況を発信したからであろう。逆にいうと、人びとにとって、真っ先に安否を伝える最も大切な人でが家族であるということである。

自分からの報告に比べて相手側からの確認が多いのは、近隣以外の知人・友人である。中央区ではこれが家族からの確認を上回ってさえいる。芦屋市でも家族からの確認とほぼ同数である。近隣以外、とくに遠隔地へは自分の安否を震災直後の３日間に伝える余裕はなく、相手方からの確認が先になったのであろう。

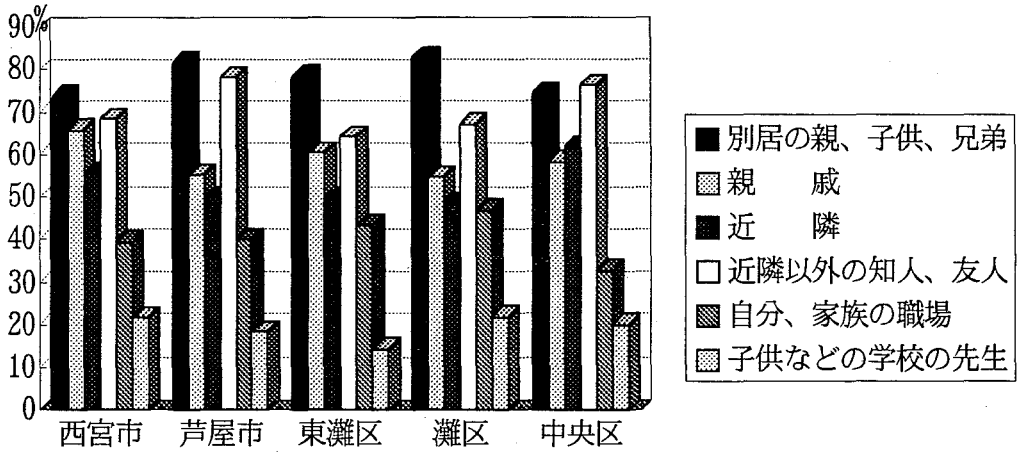


図4-2-1 震災後３日間に誰から安否確認を受けたか(Q13)
［複数回答、地域別］

前問と同様に、生協の班の機能度をみてみる。震災直後に同一班の組合員から安否確認

を受けた人は 289 人で、近隣の人から安否確認を受けた 388 人よりかなり少ない。しかも、図 4-1-3 でみた同一班の組合員に安否の報告をしたという 334 人ともかなりの差がある。

この差は、認識のずれから起こると考えられる。すなわち、自分から報告しようとして行動したときは「報告した」と認識できるが、安否確認を受けるときは、その行為が確認の行為とは受けとめられないことがある。たまたま出会ったと認識してしまうときなどがその例である。

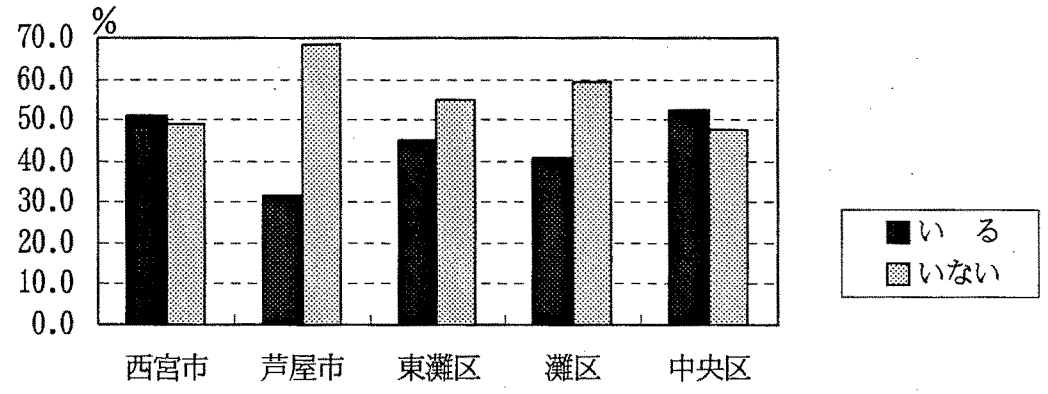


図4-2-2 安否確認を受けた相手に「都市生活」の組合員がいるか (Q14) [地域別]

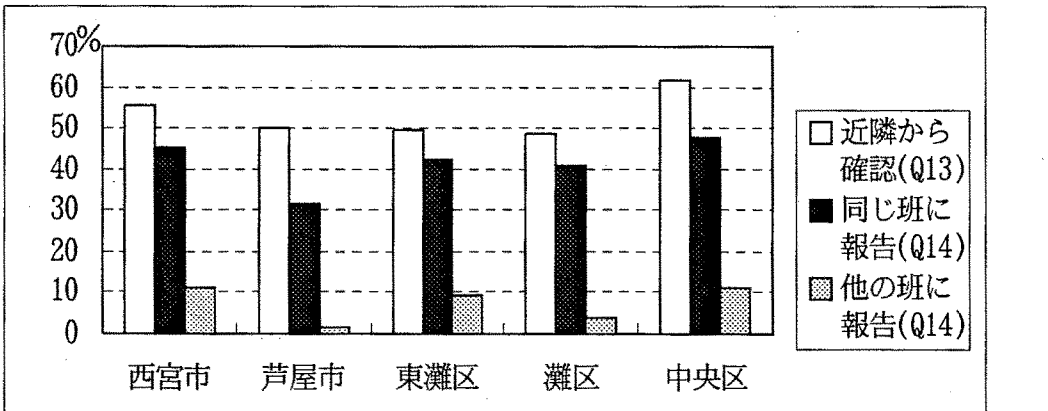


図4-2-3 安否確認を受けた組合員の班(Q14)と近隣から安否確認を受けた者(Q13) [地域別、Q14は複数回答]

3．都市生活生協職員による安否確認

都市生活生協のネットワークのもう一つは、組合員と職員や運営委員とのつながりである。問 15 は震災後 10 日間に職員や運営委員から安否確認を受けたかどうかを問うている。

図 4-5-1 にあるように、いずれからも確認を受けなかったのが 83.5%と圧倒的である。これは、居住場所によって異なる。問 6 で 1 週間めに自宅にいた人は全体の 53.5%であるが、その 22.3%の 74 人が何らかの形で確認を受け、受けていない者が 78.7%いるものの、その割合は低めである。それに対し「居住市区外の知人、友人の家の家」にいた人は、8.2%しか確認を受けておらず、91.8%は職員等の確認網から外れていた。

職員等が各家庭に直接連絡をとっていたとしても、自宅にいない場合がかなりあったので、電話等での確認ができなかった可能性は高い。しかし、確認を受けた人が 16.6%(108 人）しかいなかったことは、その方法に問題がなかったどうか検討の必要があろう。

都市生活生協はまず班長に連絡をとり、各班に属する組合員の安否を確認し、震災後初期の段階で組合員の安否をつかんでいた。したがって、その方法は生協側にとってはは適切だったといえるであろう。しかし、生協が組合員個人とどのようなつながりを作っていこうとしているのか、そのビジョンによって、生協の安否確認の行動の取り方も違ってきたかもしれない。たとえば、無事だった地域の組合員にボランティアを呼びかけ、訪ねて回ってもらうなどの方法も可能かもしれない。これらは今後、たんに災害時の緊急対応と

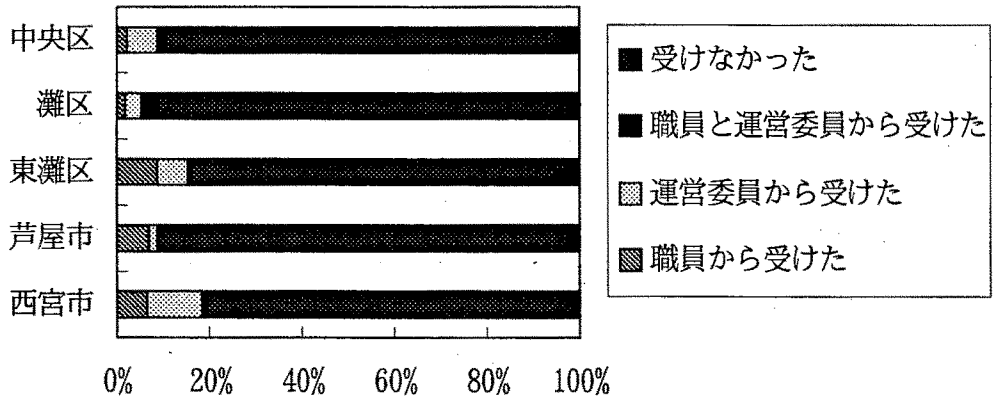


図4-5-1 職員等に安否確認を受けたか(Q15) [地域別]

してでなく、普段からの生協と組合員個人の関係をどのように作っていくか、検討すべき課題である。

5．救援・援助

1．受けた救援活動

問 16～問 18 は、個人、あるいはさまざまな団体から受けた救援活動について尋ねたものである。

まず、民間団体、行政、都市生活生協の行っていた救援活動のうち、何を利用したかを

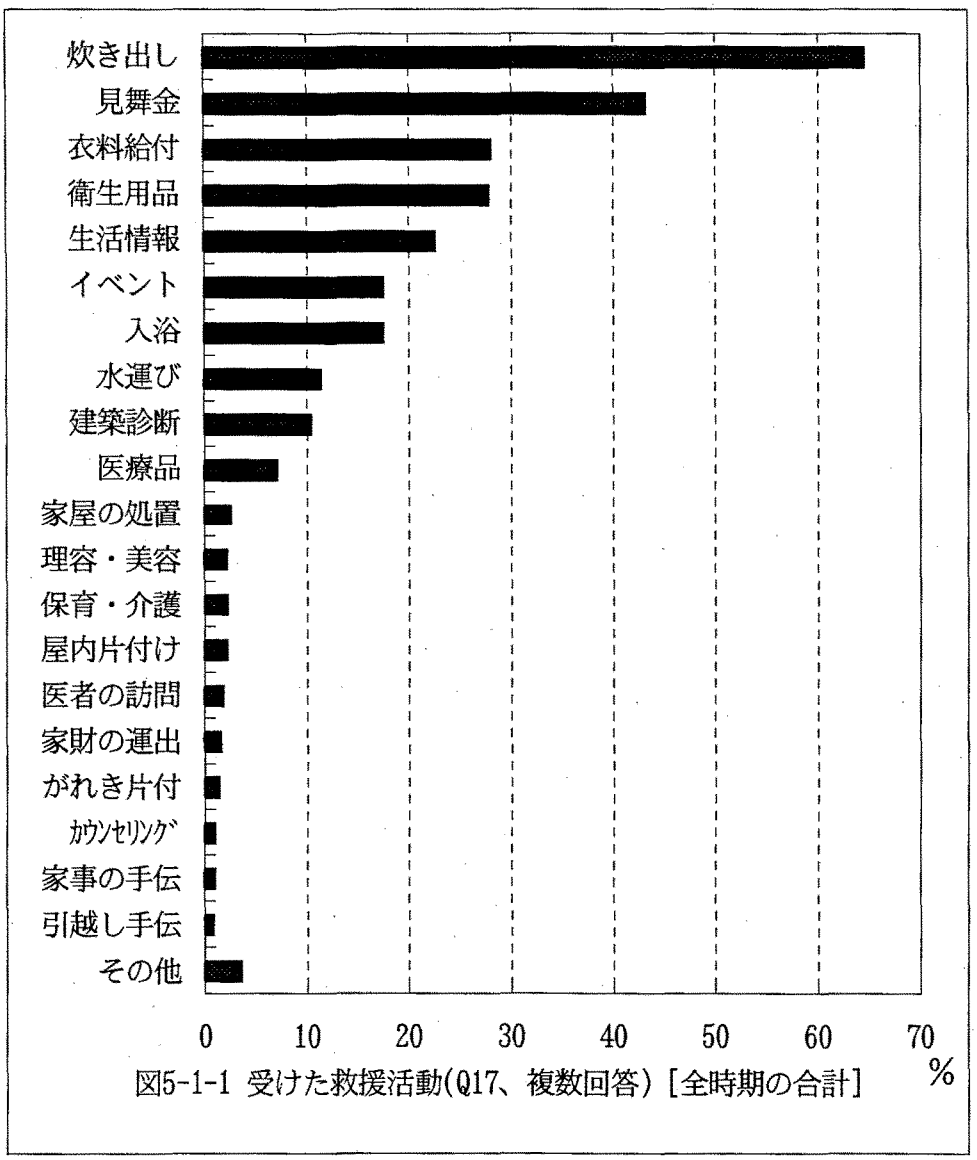


図5-1-1 受けた救援活動(Q17、複数回答)［全時期の合計］

注）実回答者 515 名に対する割合を示す。
救援活動の選択肢の詳細は、上から順に、炊き出し・食料配給、見合金・義援金、下着など衣料の給付、衛生用品の給付、生活情報の提供、音楽会などのイベント、入浴サービス、水運び、建築士の建物診断・助言、医薬品の給付、家屋の応急処置、理容・美容師のサービス、保育・介護・話し相手・遊び相手、屋内の片付け、医者・看護婦の巡回訪問、家財・荷物の運び出しや運搬、ガレキの片付け、カウンセリング、家事の手伝い、引越しの手伝い、その他、である。

尋ね、それを図5-1-1（問17）にまとめた。

全体では炊き出し・食料配給が実回答者515名64.5%と最も多く、次に、見舞金・義援金43.1%、下着などの衣料給付28.0%、衛生用品の給付27.8%、生活情報の提供22.5%と続く（実回答者とは、複数回答の質問に対して1つ以上の回答をした人である。）

時期別にみると、震災後1週間後の1月24日ごろまでに受けた救援は、炊き出し・食料配給(47.6%)が圧倒的に多く、続いて、衛生用品の給付(13.8%)、生活情報の提供(12.4%)、下着などの給付（11.3%）となる。震災後3カ月後の4月17日ごろまでに受けた救援は、見舞金・義援金が30.3%と多く、そのあと、炊き出し・食料配給25.2%、下着などの衣料の給付17.9%、生活情報の提供16.1%、衛生用品の給付15.1%、音楽会などのイベント10.3%である。

救援は当然のことながら、実行されていないと受けることができない。しかし、実行されていれば、必要なものと必要でないものに関して自分で判断し、取捨選択できる場合が多い。したがって、ここに表れた数値は、あくまでも行われた救援のなかで需要度の高かったものを表している。すなわち、行われなかった救援活動でも必要度が高いものはあるかもしれない。

家のなかが混乱を極め、ライフラインが断絶した初期の状態では食料に関する救援がやはり重要であることがわかる。水道がほぼ復旧したのが2月の末である。2月28日に神戸市東部（東灘・灘）で84.1%、神戸市中部（中央・兵庫）98.8%、西宮市99.8%、芦屋市96%（各自治体調べ）である。水道の復旧とともに、各家庭での調理もし易くなった。そのためか、「3カ月後まで」に炊き出し・食料配給を受けた人は、1週間後と比べるとそのポイント数が半分近くに減少しているが、それでも需要度は少なくはない。

ここでは、必需品であるはずの衛生用品の数値が、初期の段階からそれほど高くないことに気づく。それは、本調査の回答者については、1週間後に、震災以前から住んでいた

自宅か、あるいは、知人や親戚の家（居住市区内、外の両方を含む）にいた人が89.9%にものぼることによると思われる（図3-1-4　問5～10）。その人々は、ストックがありさえすれば、救援物資を受け取る必要はなかったはずである。

生活情報の提供は「3カ月後まで」の方が、「1週間後まで」の数値より若干高い。直後の混乱期よりも、次第に日常の生活をとり戻してゆく過程で、情報を必要とすることがわかる。

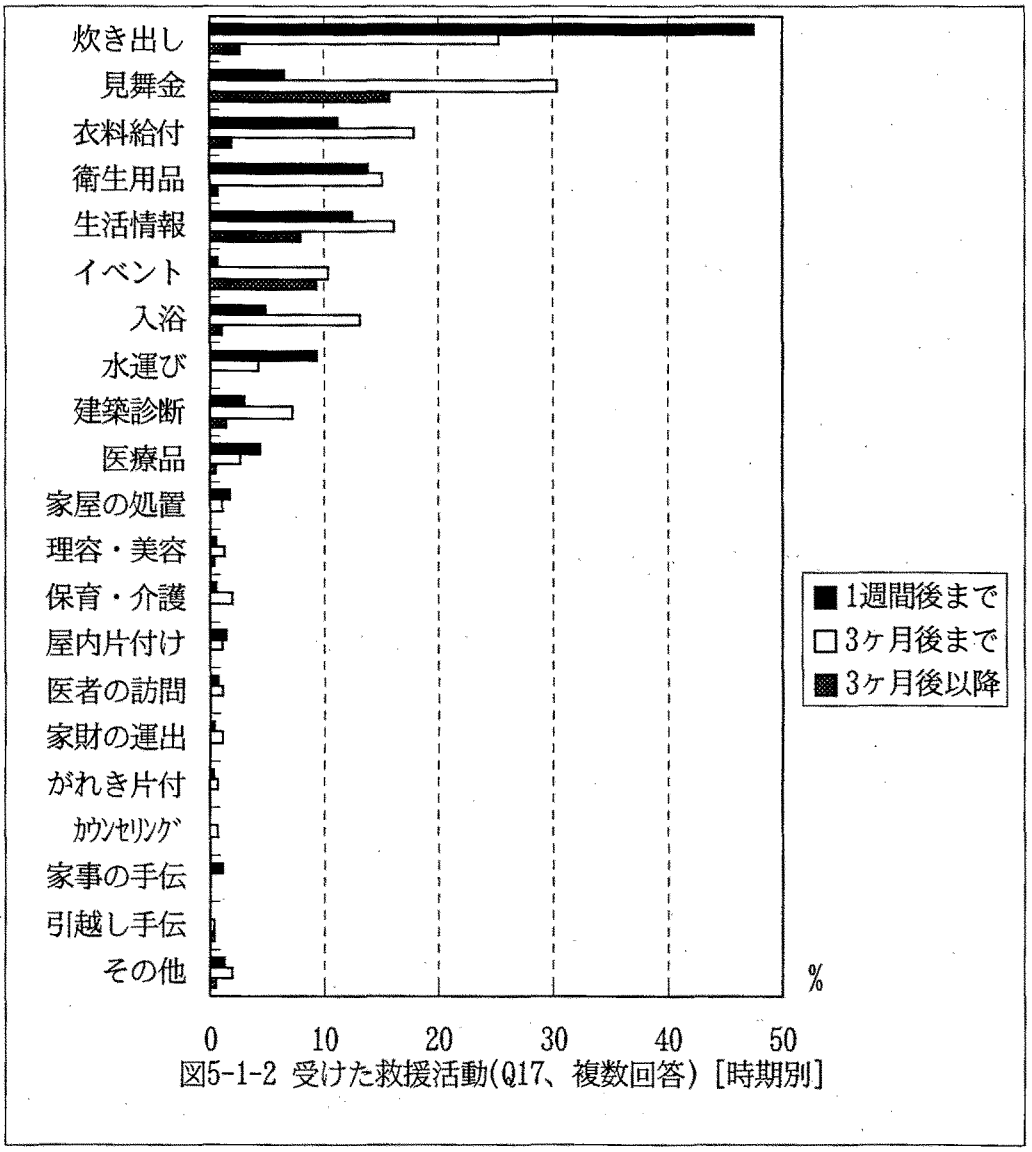


図5-1-2 受けた救援活動(Q17、複数回答)［時期別］

注）図5-1-1に同じ

つぎに、1週間目ごろまでに受けた救援活動について、1週間後の居場所別にみてみよ

う（図 5-1-3　問 17）。ここでは「自宅」と「避難所」の違いが明らかになる。これは、需要度の違いではなく、行われた救援の違いによるものであろう。避難所では、炊き出し・食料配給はもちろんのこと、下着などの衣料給付、衛生用品の給付、医療品の給付、生活情報の提供は、50％を超えている。生活情報の提供も 35.7％と多く、入浴サービス、理容・美容サービスが 15％近くある。その一方、自宅にいた人の受けた救援で、避難所よりも数値が高いものは、水運び、家財の運び出し、屋内の片づけ、保育・介護・話し相手、建築診断・助言、カウンセリング、音楽会などのイベントであるが、そのなかで、避難所の数値と 5 ポイント以上の差がみられるものは、水運びの 12.0％のみである。避難所で生活する人々は、家を失った人々である。したがって、下着、衛生用品の給付、見舞金・義援金の数値が高くなるのは当然であり、また、避難所という閉鎖空間のもつ特殊性から、風邪などの疾患が広まりやすいため、医療品の給付が高くなるのも当然である。しかし、生活情報に関しては、自宅にいる人にとっても必要な情報である。ライフラインの止まっている状況では、入浴、理容も避難所にいる人と同様に必要なものであるといえる。避難所に

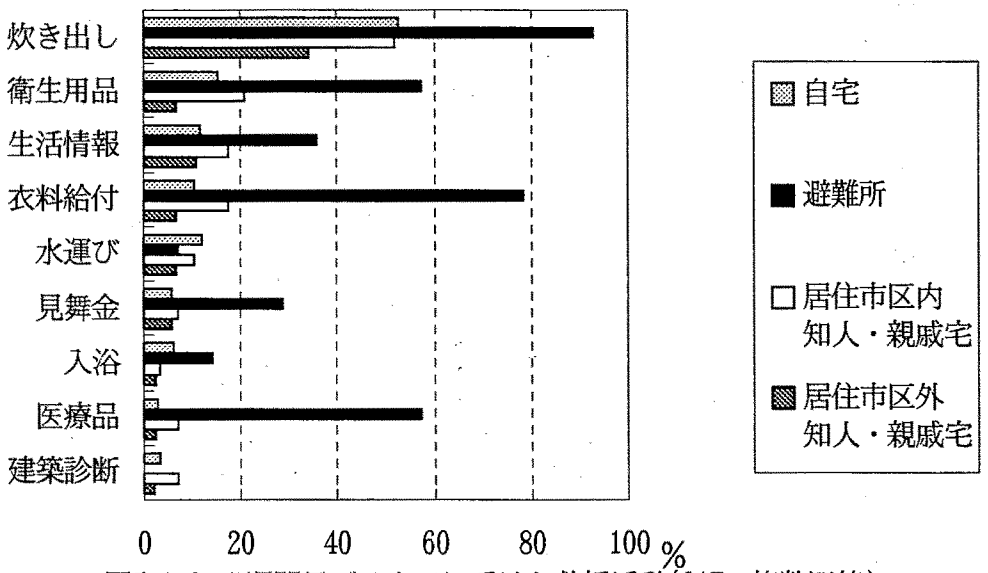


図5-1-3　1週間目ごろまでに受けた救援活動(Q17、複数回答)
（1週間後の居住場所別、10人以上の受給者のある活動のみ）

注）図 5-1-1 の注を参照のこと

いる人びとにはものや情報が行き渡ったが、かえって自宅にいる人びとには行き渡らなかったという実態が、ここで浮き彫りにされる。救援を行う人々の目が届きにくい自宅居住者に対して、どのようなかたちで、救援や生活情報を流すことができるのかは、考えておかなければならないことであろう。

2．とくに助かった救援活動

以上のような、救援活動のなかで、受け手がとくに助かったと感じているものは何であ

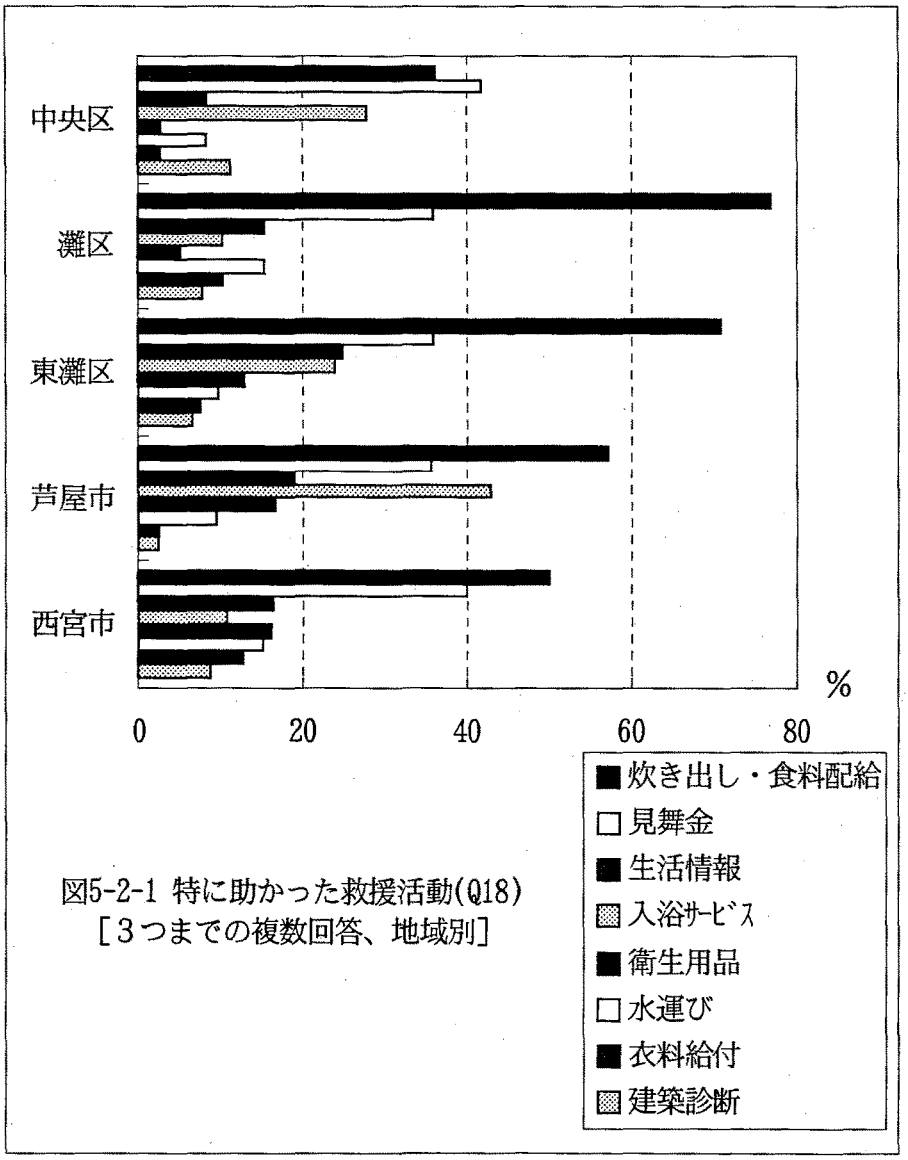


図5-2-1 特に助かった救援活動(Q18)
［3つまでの複数回答、地域別］

注）実回答者 459 名に対する割合。救援活動の選択肢の詳細は図 5-1-1 の注を参照のこと。

ったのだろうか。図 5-2-1（問 18）の全体をみると、とくに助かった救援として、半数以上が炊き出し・食料配給をあげ、見舞金・義援金が 38.6%、入浴サービス 17.6%、生活情報の提供 17.6%、衛生用品 13.5%、水運び 13.1%と続く。

地域別では、炊き出し・食料配給をあげている人が、東灘区、灘区にきわめて多く、入浴サービスでは、西宮市、灘区が 10%台であるのに比べて、芦屋市が 42.9%と非常に高いのが特徴である。また、生活情報では東灘区の 25.0%が他地域より高い。

東灘区と灘区の炊き出し・食料配給の数値の高さは、おそらく、炊き出しの救援活動が他地域より多かったためと考えられる。とくに、東灘区は死傷者が一番多かった地域であり、約 1 週間後の避難者数からみても、神戸市の他地域を圧倒している（神戸市民政局の調べによると、神戸市の死亡者数 4,512 人のうち東灘区 1,461 人、灘区 924 人、長田区 911 人．1 月 24 日避難者数は東灘区 64,974 人、長田区 44,690 人、中央区 38,057 人、灘区 35,093 人）。また、東灘区、灘区ともに家屋の倒壊数も多い（神戸市民政局調べ、全市の全壊家屋 61,800 棟のうち東灘区 12,832 棟、灘区 11,795 棟、長田区 14,662 棟）。その壊滅的状況から判断して、救援が集まった可能性が高い。

芦屋での入浴サービスの数値の高さについては、残念ながら原因がつかめない。

３．役にたった友人・知人の援助

図 5-3-1（問 16）は、隣近所、親戚、知人・友人などから受けた個人的な援助のなかで何が役にたったかを表している。地域別にみると、どの地域でも、食料・飲料のさしいれを選んでいる人が９割近くか、あるいは９割を超えている。続いて、燃料さしいれ、金銭援助、精神的な支え、入浴サービス、水運びなどである。精神的な支えと、金銭援助が全体で 30%を超えていることは注目に値する。「もの」も必要であるが、家屋や家具が倒壊した状況下では、金銭援助も大切である。また、身近な人々の支援がいかに被災者を元気づけたかが表れている。

灘区では、燃料のさしいれと、水運びが他地域の数値より少し高く、金銭援助、精神的な支えが比較的少ない。灘区は他地域よりも６人以上の世帯が多い。したがって、暖房などの燃料や生活水をより多く必要としたのであろう。その分、金銭援助、精神的な支えの数値が下がったといえる。

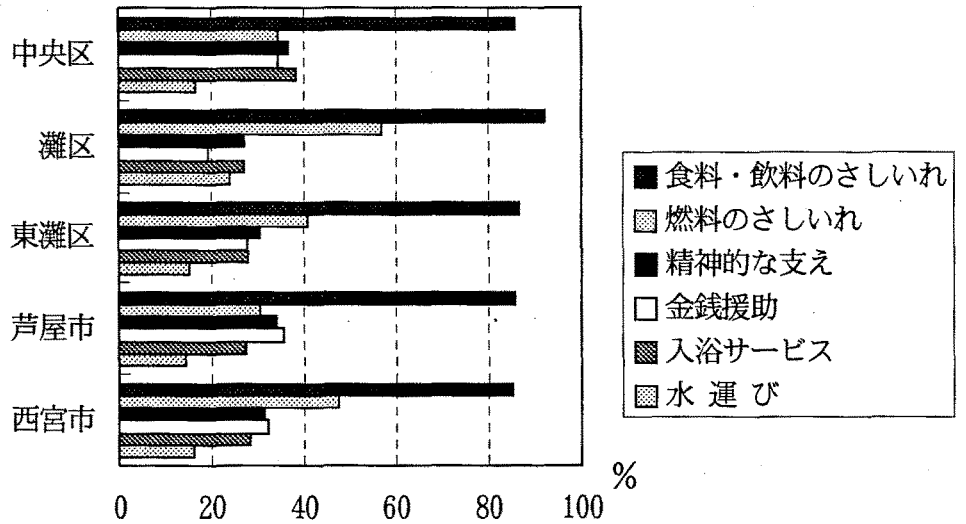


図5-3-1 役に立った知人友人の援助(Q16)
［３つまでの複数回答、地域別］

注）実回答者 722 名に対する割合。救援活動の選択肢の詳細は図 5-1-1 の注を参照のこと。

図 5-3-2（問 16）は、役にたった隣近所、親戚、知人友人の援助を回答者の年齢別に示したものである。燃料のさしいれが役にたったとするものは、年齢が上がるほど多く、40 歳代前半の人は、金銭援助の数値が高い。40 歳代の人は学齢期にあたる子どもがいる可能性が高く、そのために金銭援助が役にたったのであろう。入浴サービスは、他の年齢層よりも 40 歳代以上の人が役にたったとしている。震災の時期が厳寒期であったため、年齢が上がるほど、暖房、入浴を必要としたのであろう。精神的な支えに関しては、25-34 歳、35-39 歳で高いのが特徴である。

図 5-3-3（問 16）は、損壊状況別に、役にたった隣近所、親戚、知人友人の援助について示している。どの損壊状況でも、食料・飲料のさしいれ、燃料のさしいれは高い。

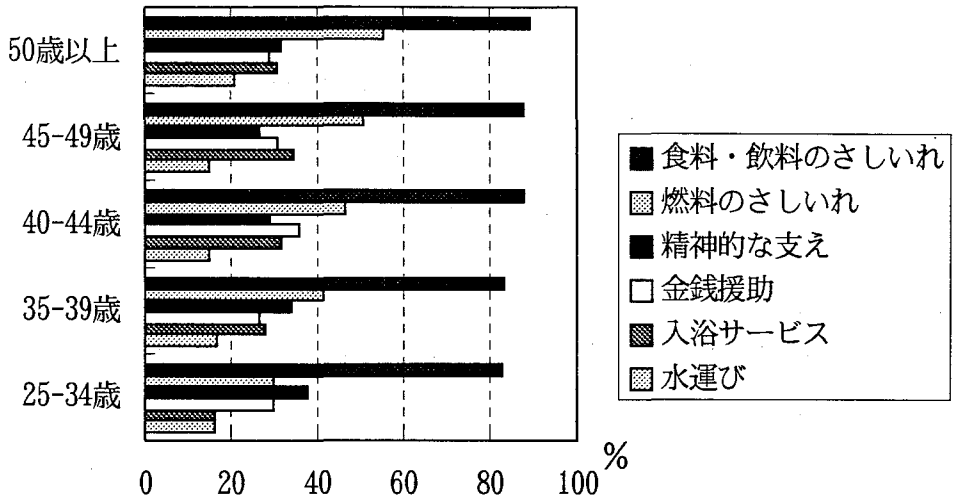


図5-3-2 役に立った知人友人の援助(Q16)
[３つまでの複数回答、年齢別]

注）実回答者 722 名に対する割合。救援活動の選択肢の詳細は図 5-1-1 の注を参照のこと。

全壊では、衣料のさしいれ、金銭援助、屋内の片づけ、精神的な支えが、他の損壊状況の人よりも高く、半壊では、金銭援助、精神的な支えが高いのが特徴である。また、屋内

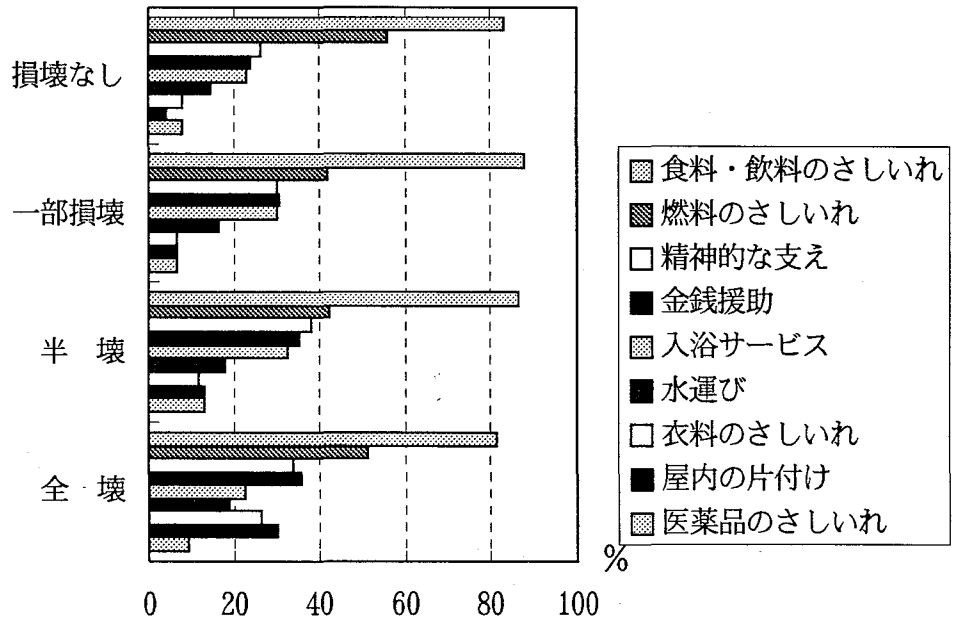


図5-3-3 役に立った知人友人の援助(Q16)
[３つまでの複数回答、損壊程度別]

注）実回答者 722 名に対する割合。救援活動の選択肢の詳細は図 5-1-1 の注を参照のこと。

の片づけは全体では 9.2%と低いが、全壊では 30.2%とかなり高く、医薬品のさしいれは全体では 8.2%であるが、半壊では 12.9%と高い。そのため、図 5-3-3 においては、図 5-3-1、5-3-2 では数値が低すぎて表示できなかった、衣料のさしいれ、屋内の片づけ、医薬品のさしいれの 3 項目が表示されている。

６．都市生活生協の救援活動

１．無償提供

都市生活生協では、業務の再開とともに、いくつかの救援活動を行っている。初期の段階でなされたものは、組合員を対象とする消費財の無償提供（組合員にタオルなどを無料で提供する）、食料やその他消費財の低価格販売（組合員に注文をとっていつもより低価格で販売する）である。

問 19 および問 20 では無償提供について尋ねた（複数回答）。図 6-1-1 のように無償提供されたもので受けとった人が一番多いのはタオルである（263 人、実回答者 310 人の 84.8%、以下同じ）。２位以下は順に、その他の生活用品 99 人（31.9%）、ポリタンク 21.3%（66 人）、生理用品 59 人（19.0%）、下着 21 人（6.8%）、シーツ 2 人（0.6%）となる。

さて、それらの受けとられたものは役にたったのであろうか。役にたったとしたのは、タオル 92 人（29.7%）、その他の生活用品 64 人（20.6%）、ポリタンク 59 人（19.0%）、生理用品 32 人（10.3%）である。タオルは 263 人の人が受けとっているが、役だったと感じている人は約 35%の 92 人である。それに比べてポリタンクは 66 人の人が受けとり、そのうちの 59 人が役だったとしている。また、必需品であると思われる生理用品は 59 人が受けとっているが、約 54%の 32 人しか役だったとは感じていない。すでに、５－１「受けた救援活動」のところで述べたが、全壊家屋では家のなかから取り出せるもの、使えるものがかなり限定されるので、タオルや生理用品など、衛生状態を良好に保つためのものは必需品であっただろうが、半壊、一部損壊の家庭では探し出して使用することが可能である。親戚の家などに避難した人びとにとっても同様のことがいえる。そのために、あまり役にたったとは思えないのであろう。水を入れて運ぶポリタンクは、各家に備えがなかったらしく、受けとった人のほとんどが役だったとしている。

この無償提供に関しては、西宮市在住の組合員がアンケートの自由回答での記述のなかに、無償提供があることを知らなかったと書いている。混乱のなかで情報がすべての組合員に行き届かなかった可能性があるようだ。

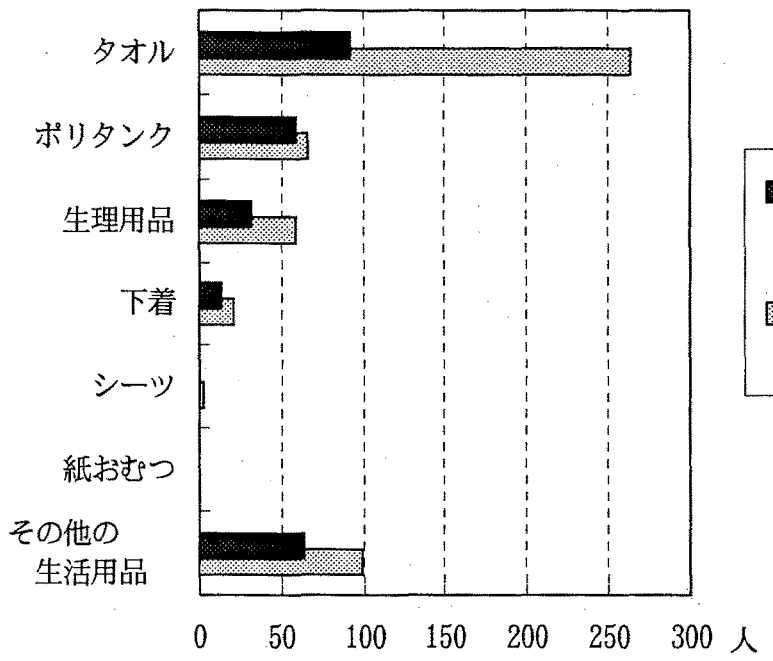


図6-1-1 無償提供された物品(Q19-20)

注）複数回答。実回答者 310 人。

2．低価格供給（消費財と食料品）

つぎに、低価格で提供された消費財の購入について、図 6-2-1（問 21）に示した。一番購入が多かったのはガスボンベ 102 人（実回答者 148 人の 68.9%、以下同じ）、続いて、マスク 30 人（20.3%）、カセットコンロ 26 人（17.6%）、ウエットティッシュ 25 人（16.9%）、食料品用ラップ 17 人（11.5%）となる。実回答者数が全体で 148 人と少なく、あまり購入されていないことがわかる。

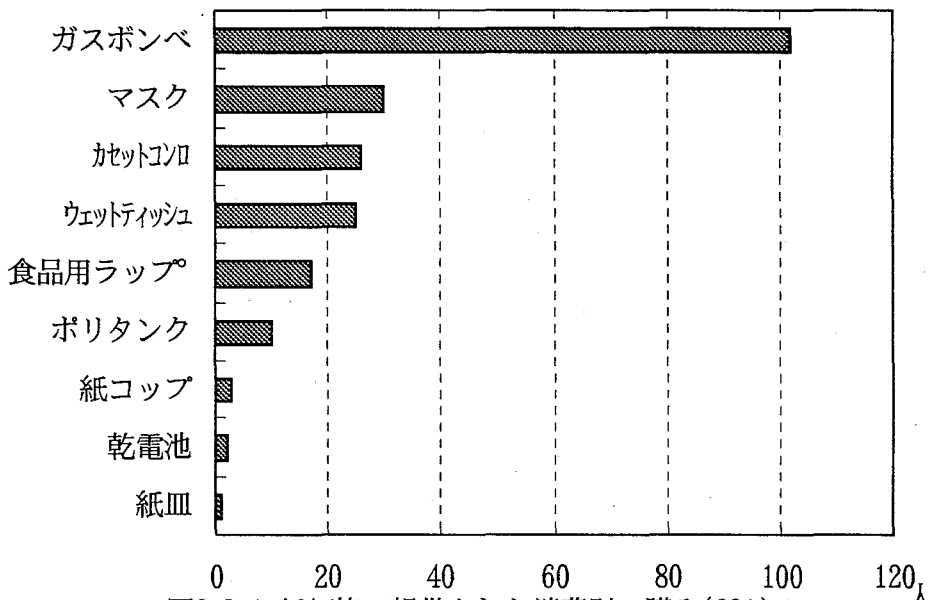


図6-2-1 低価格で提供された消費財の購入(Q21)

注）複数回答。実回答者 148 人。

図 6-2-2（問 22 は、低価格で提供された食料品の購入について表した。多い順に、牛乳 187 人(実回答者 344 人の 54.4%、以下同じ)、野菜 172 人(50.0%)、卵 157 人(45.6%)、コメ 115 人（33.4%）、缶飲料 107 人（31.1%）、パン 96 人（27.9%）、りんご 71 人（20.6%）、もち 62 人（18.0%）、飲料水 37 人（10.8%）である。実回答者数が 344

人と消費財に比べて多く、食料の方がよく利用されていることがわかる。とくに、缶飲料が多いのは興味深い。

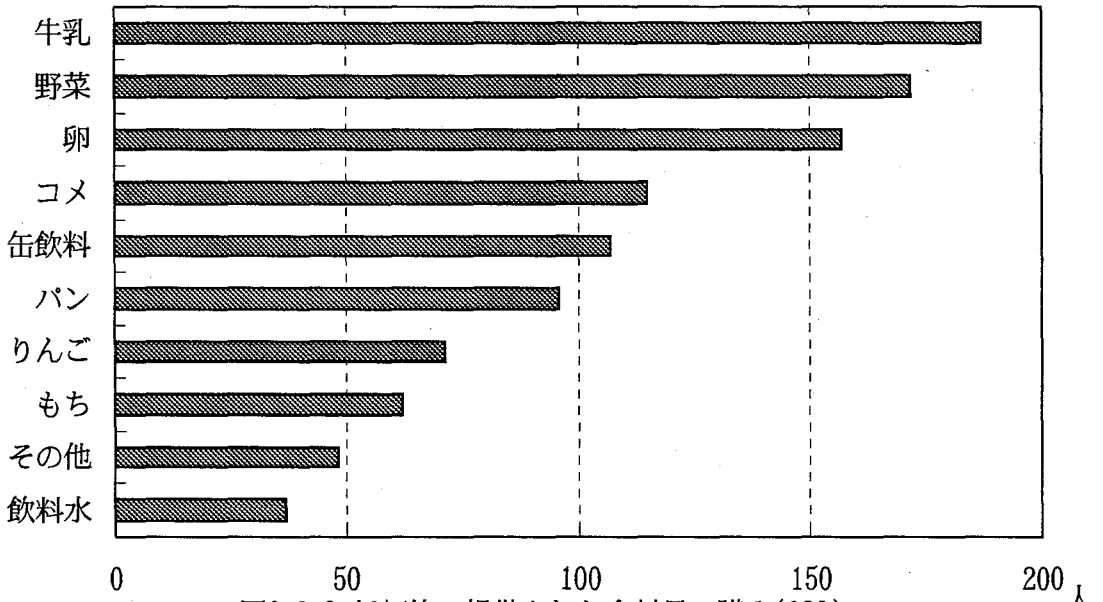


図6-2-2 低価格で提供された食料品の購入(Q22)

注）複数回答。実回答者 344 人。

3．活動の認知と参加

都市生活生協が行った救援活動のうち、組合員だけでなくそれ以外の人びとをも対象として行ったものがいくつかある。代表的なものは炊き出しや即売供給（商品をトラックに載せ各地域をまわってその場で販売する）である。それらの活動を知っていたかどうか、さらに、それらの救援活動を利用、あるいは、参加したかどうかについて、問 23 と問 24 で尋ね、図 6-3-1 に示した。

まず、活動を知っていたかどうかについては、即売供給、炊き出しがそれぞれ 406 人、366 人の人びとに認知され、その他のいくつかのイベントでも約 150 人から 270 人

程度の人びとに認知されている。認知度の低かったのが引っ越しの手伝い、家財・荷物の出し入れ、リフレッシュ・ステイ（全国の友好生協からの救援カンパをもとに、都市生活生協に農産物を出荷している生産者と現地で交流する企画）である。

利用、参加については、そのほとんどが即売供給に集中しており、組合員にとっては即売供給が利用しやすかったことを表している。全体的にみて、組合員はこれらの救援活動をあまり利用・参加していないが、もともと組合員だけを対象としたものではないので、活動が失敗であったとはいえない。本調査の回答者は、家屋が一部損壊した者が半数以上を占めている。したがって、震災の打撃が比較的少なかったであろう人びとにはあまり利用されなかったといえるかもしれないが、全壊、半壊などで避難所、テント、仮設住宅で暮らす人びとにとっては、利用度の高いものであったかもしれない。

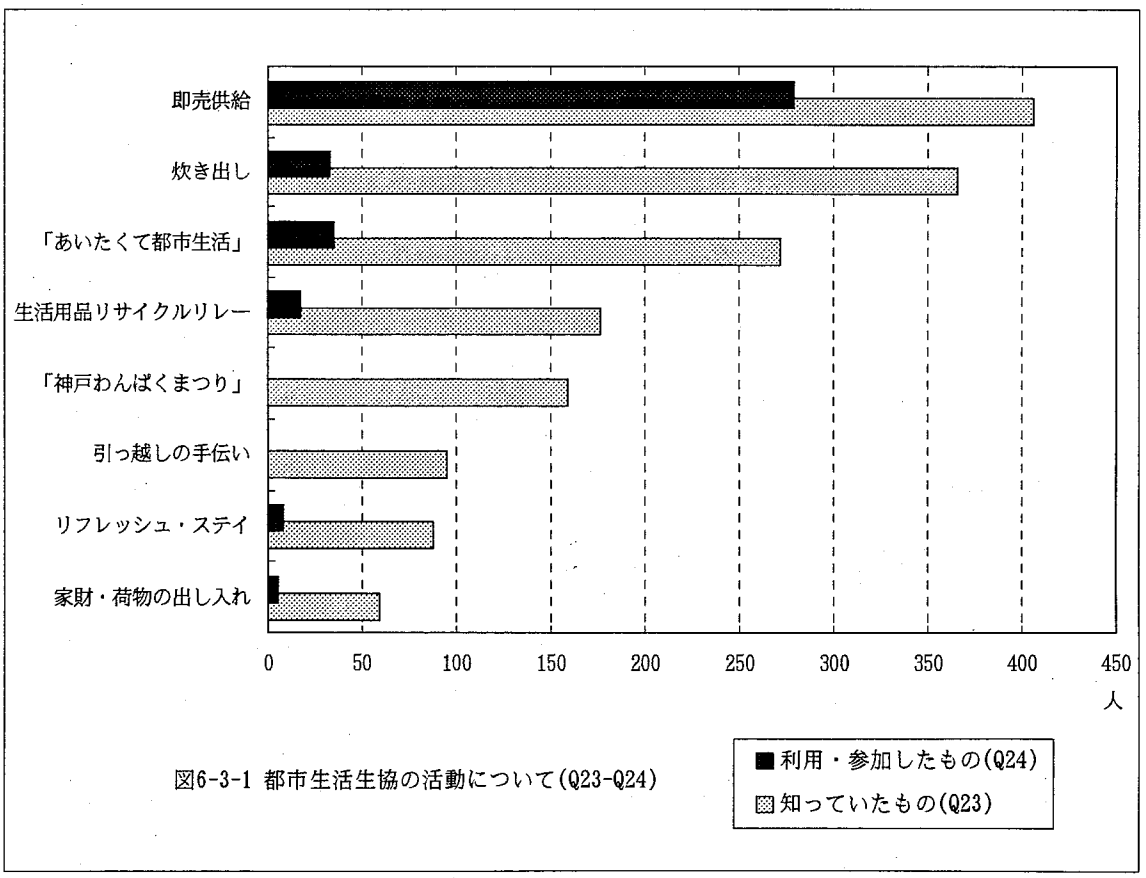


図6-3-1 都市生活生協の活動について(Q23-Q24)

注）複数回答。実回答者 538 人。

4．救援活動への参加

救援活動についての問いの最後（問 25）では、救援する側として何に参加したかを尋ねた（図 6-4-1）。もちろん、その救援活動の主催はどこのものでもよい。実回答者数が 194 人とあまり多くないが、みなが被災者であるのだから、救援する側に回れないのは当然といえる。そのなかで多かったのは、炊き出し 76 人（実回答者 194 人の 39.2%、以下同じ）、水運び 54 人（27.8%）である。続いて、家財の運び出し 31 人（16.0%）、屋内の片づけ 26 人（13.4%）、引っ越しの手伝い 23 人（11.9%）、生活情報の提供 23 人（11.9%）である。

炊き出しは、参加しやすいし、計画も立てやすい。さまざまな救援活動のなかには、被災者と個別のコンタクトが必要であるものも多い。家財の運び出しや屋内の片づけなどがそうである。それらは、日にちや時間を相談して設定しなければならず、しかも、場所はもちろんのこと日時に関しても、救援する側の都合だけでなく、被災者の都合がより考慮される。その点、炊き出しは、場所と時間を救援する側で決定しやすく、一度に多数の被災者を対象とできるので、救援する側にとっては満足感を得やすい。しかも、暖かい食べ物で人びとの心がなごむのが直に伝わってくる。炊き出しは、初期の救援活動を計画するときには必ず考える活動であり、また、望まれる活動でもある。しかし、被災者との個別のコンタクトが必要な活動も重要であることに変わりはない。ただし、これらの活動は救援を望む人びとと救援のできる人びとの間をとりもって、うまく人員を割り振ることが必要になってくる。その割り振りがうまく軌道に乗れば、救援の大きな力となることはいうまでもない。

この問いの回答によって、数は少ないが被災者である人びとがさまざまな救援活動に参加していることがわかった。しかも、参加した人は必ずしも被災程度の少ない人ばかりではない。何らかの活動に参加したとする 194 人の住居の損壊状況の内訳は、全壊

11 人、半壊 33 人、一部損壊 119 人、損壊なし 31 人であり、各損壊状況の人全体のそれぞれ、20.2%、23.3%、29.3%、24.2%にあたる。損壊状況の如何にかかわらず救援活動に２～３割の人びとが救援活動に回ったのである。このことは、人びとの希望をうまくコーディネートすれば、たとえ被災者であっても、さまざまな救援活動に参加できるという可能性が示唆しているといえよう。

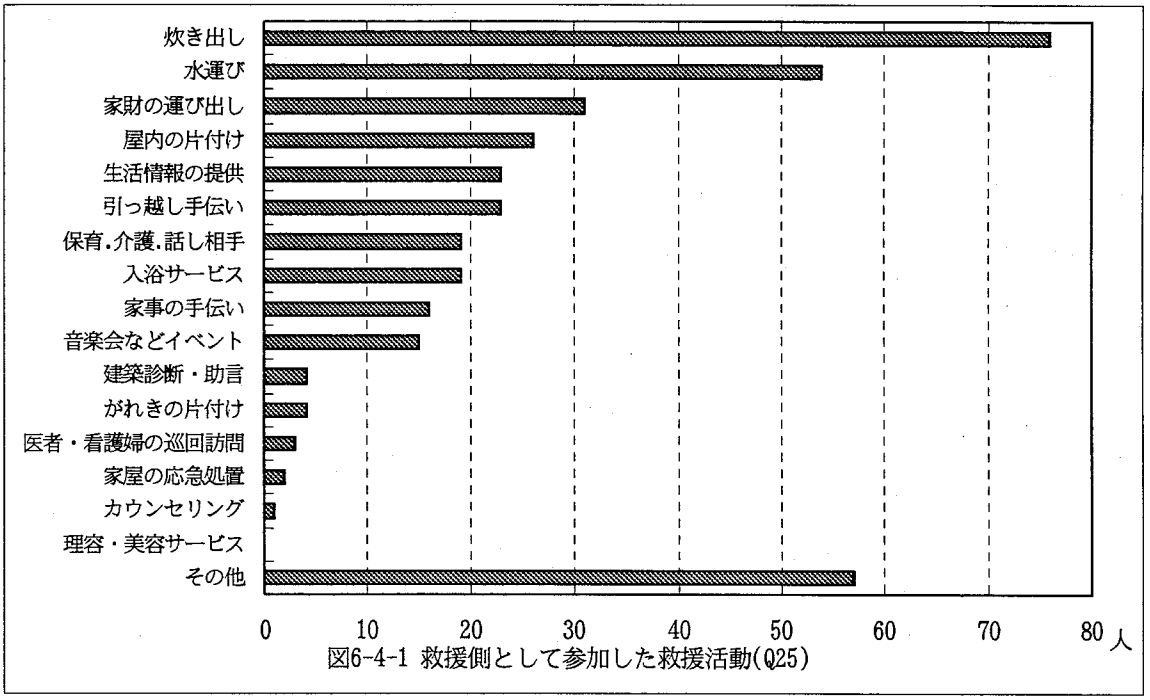


図6-4-1 救援側として参加した救援活動(Q25)

注）複数回答。実回答者 194 人。

7．生活情報

1．役にたった情報

問26～問28は生活情報の入手について設問されたものである。

まず、役だったとされた情報を多い順にみると、給水情報、お風呂情報、鉄道運行情報、道路情報である（図7-1-1　問26）。いずれも実回答者683人の50%を超えている。そのあとに、行政手続き、ゴミ回収情報、食料品店情報、路線バス運行情報が続く。

自宅に戻った時期によって役だった情報が異なるかどうかをみるために、ずっと自宅または1週間後までに自宅に戻った人、1カ月後までに自宅に戻った人、2カ月後までに自宅に戻った人、3カ月後までに自宅に戻った人、6カ月後までに自宅に戻った人の5通りについて、グラフに表した。ただし、3カ月後に戻った人は40人、6カ月後に戻った人は13人と非常に少なく、考察対象とはなりにくい。

給水情報と、お風呂情報は、自宅にずっといた、あるいは早い時期に自宅に戻った人がとくに役だったとしている。

ただし、給水情報に関しては「1週間後帰宅」と「1カ月後帰宅」の数値にあまり大きな差がみられない（69.1%、66.7%）。これは、被災地の水道の復旧率と関係するようだ。神戸市東部（東灘区、灘区）の水道復旧率の変化は、1週間後（1月24日）40.2%、2週間後（1月31日）48.4%、3週間後（2月7日）55.5%、4週間後（2月14日）71.5%であり、3週間後でもやっと半分である。神戸市中央（中央区、兵庫区）でも、順に42.2%、49.1%、55.4%、69.6%であり、西宮市では2週間後（2月1日）で20.4%、3週間後（2月6日）45.7%、4週間後（2月15日）64.6%、芦屋市では1週間後（1月25日）4%、2週間後（1月31日）29.8%、3週間後（2月7日）60.3%、4週間後（2月14日）73%である（各自治体調べ）。すなわち、1週間後までに自宅に戻った人も、1カ月後までに戻った人も、同じように水の便が悪い時期を経験しており、給水情報を

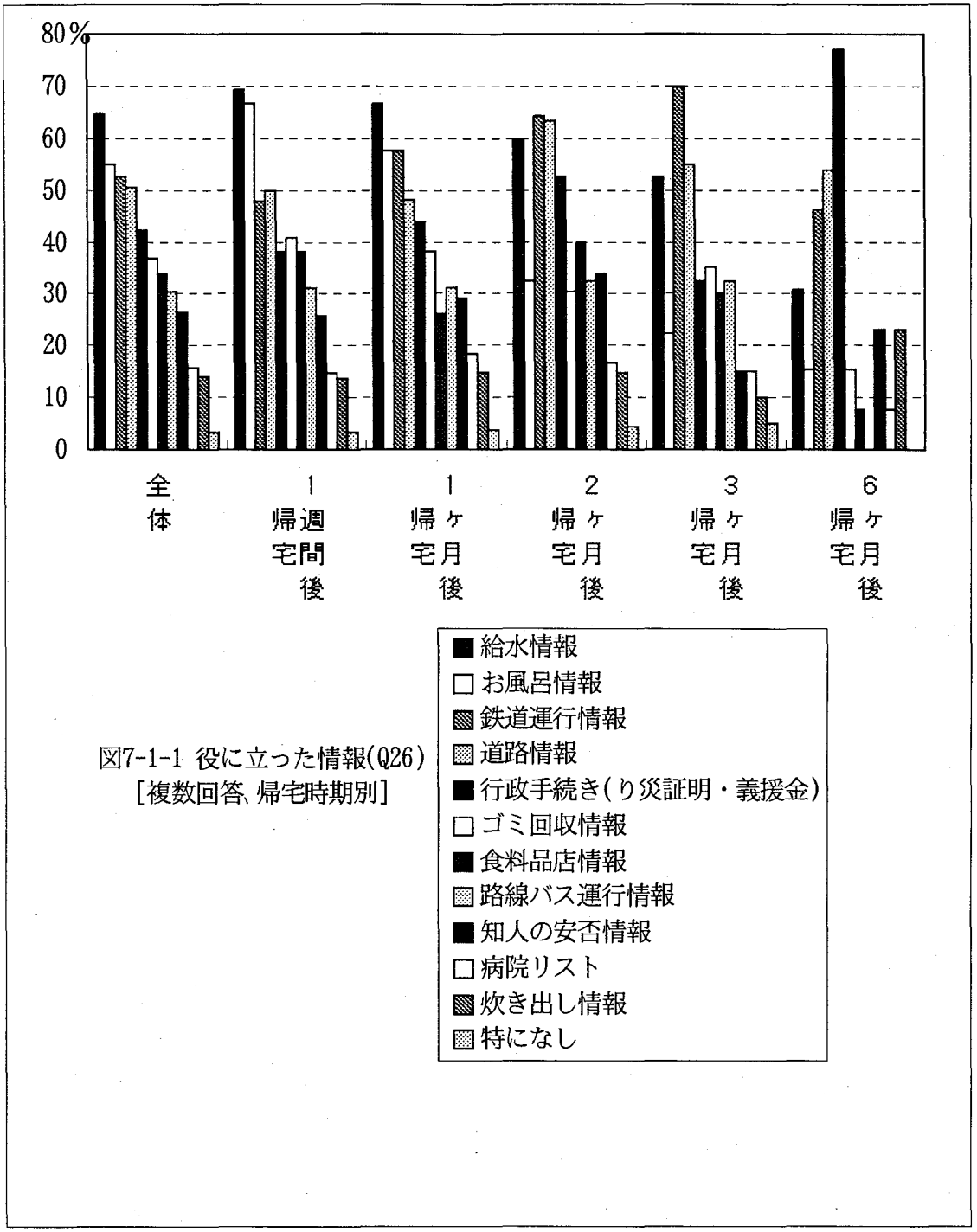


図7-1-1 役に立った情報(Q26)
[複数回答、帰宅時期別]

注）実回答者 683 人に対する割合を示す。

必要としていたということになる。水は命の綱である。ライフラインの断絶したなかで、人々が給水情報を欲した状況がよくわかる。

お風呂情報に関しては１カ月後までに自宅に戻った人々の６割前後が役に立ったと言っている。２カ月後帰宅から数値が落ちているのは、２カ月後ぐらいには、水道、ガスともに復旧が完了した地域が増えたからであろう。１月下旬という寒いさなかに自宅にいた人々にとって、自宅からどのぐらいの距離のところまで行けば風呂に入れるかというお風呂情報は欠かせないものであった。

避難所にいる人々については、サンプル数が少なくてグラフにすることはできなかったが、避難所そのものが、給水、風呂の拠点となることが多いため、とくに情報としては必要なかったはずである。

鉄道運行状況は、自宅に戻るのが遅れた人ほど、役にたったとする人が多い。震災後２カ月ぐらいたつと、人々は次第に日常生活をとり戻し始めた。と同時に、鉄道の復旧も急ピッチで進められ、JR、私鉄などは工事の終わった区間からどんどん運転再開を始めた。毎週のように運転再開区域が報道され、駅の路線地図も塗り替えられ、書き換えられた。通勤の経路は次第に震災以前の形に戻っていった。自宅以外のところに避難していた人々は、勤務先に出ていくのはどうすればよいのかを鉄道運行情報を聞きながら考え、自宅に戻る日を決定したにちがいない。

道路情報についても、２カ月後、３カ月後に自宅に戻った人のなかで役だったとする人が多いのも、上記の理由と同じであろう。

図中の項目のほかの役だったとした少数意見をとりあげると、自転車・バイク情報(17人,2.5%)、貸倉庫情報（2人,0.3%）、保育所の状況（11人,1.6%）、避難所リスト（29人,4.2%）、借家情報（11 人,1.6%）、仮設住宅関連情報（11 人,1.6%）、保険金関係情報（15人,2.2%）、法律相談情報（24人,3.5%）、その他（6人,0.9%）となる。

２．不足情報

では、不足していた情報は何だったのだろうか。それを図 7-2-1（問 28）に表した。

全体をみると実回答者 528 人のうち、特になし 28.6%、給水情報 27.5%、ゴミ回収情報 24 .1%である。食料品店情報、お風呂情報、道路情報がそれに続くが、16.9%、15.2%、14.8%と、さきの３つに比べるとかなり低い。図 7-1-1 ですでに明らかなように、役だった情報として給水情報をあげている人が 441 人あるが、同時に、給水情報を欲していた人も 145 人いる。両者の関連をみると、役にたったとしながらも不足もしていたとする人が 92 人いる。給水情報はいくら流しても、流しすぎることはないといったところであろうか。また、ゴミ回収情報に関しては、役だったとする人は 251 人で、その半数にあたる人びと 127 人が情報不足だったといっている。これも関連をみると、役だったとする人のうち 52 人が不足をも指摘している。したがって、給水情報の方は一応流布していたものの、充分ではなかったと判断され、ゴミ回収情報に関しては、給水情報に比べると情報自体が行き届いていなかったと考えられる。水なしの生活はできないが、ゴミは保管しておくことができるため、緊急に流さなくてはならない情報は水の方である。しかし、地震によって撹拌された家のなかは、破壊された生活用品のゴミであふれたのであるから、少しでも快適な生活を早くにとり戻そうとした人々にとって、ゴミ情報は必要だったにちがいない。

自宅に戻った時期別に不足していた情報をみると、100 人以上が指摘している給水情報、ゴミ回収情報に関して、その数値は１カ月後をピークとしている。ただし、１カ月後と２カ月後の差はあまりない。混乱期を自宅で過ごした人が情報不足を感じるのは当然であろう。

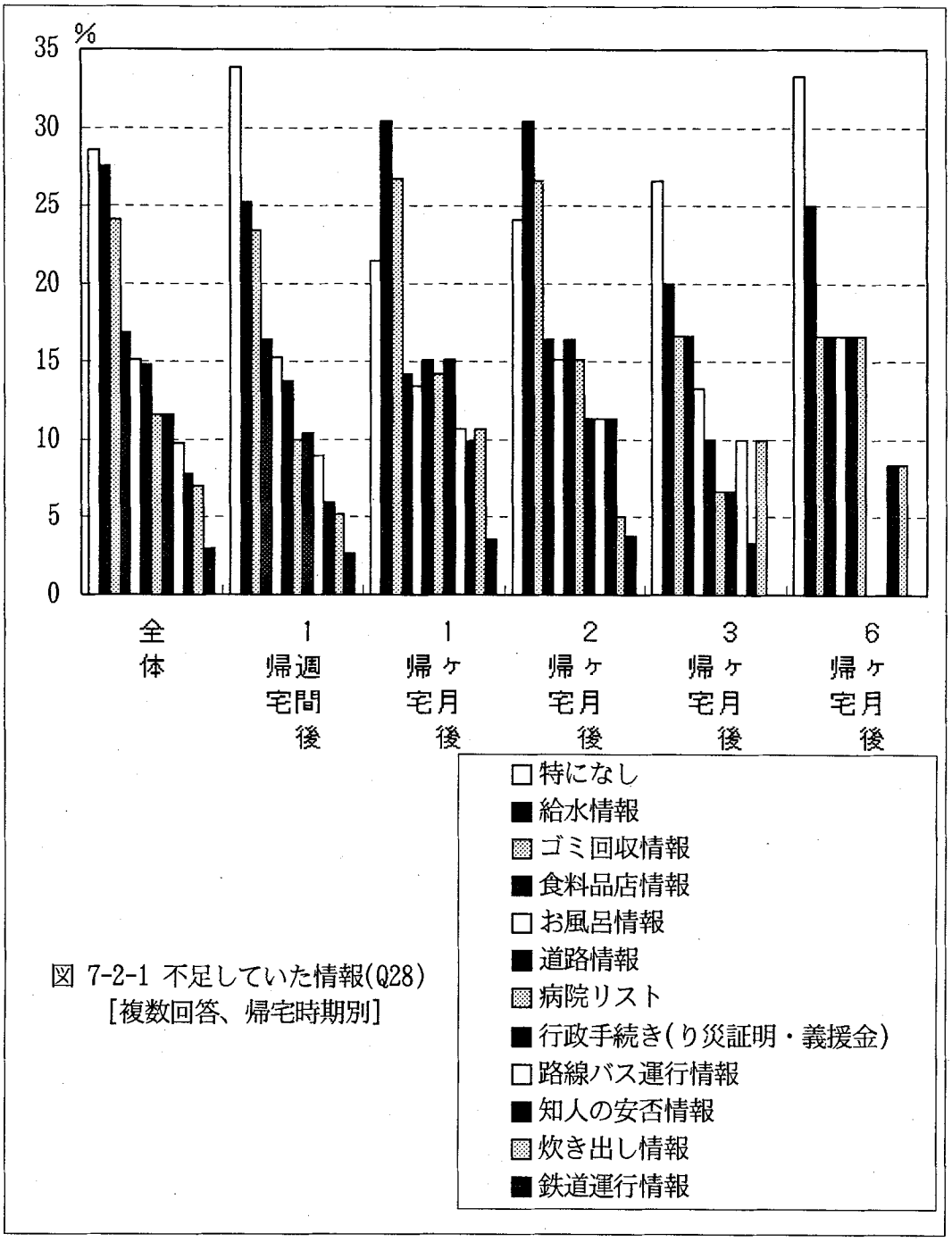


図 7-2-1 不足していた情報(Q28)
[複数回答、帰宅時期別]

注）実回答者 528 人に対する割合

また、とくに不足がないとする人をみると、1週間後に戻った人の数値が 33.8%とかなり高い。あとは、1カ月後から6カ月後まで帰宅時期が遅くなるに連れて数値が高くなっている。この1週間後の数値が高いことについては3つの原因が考えられる。まず、

ずっと自宅または１週間後までに自宅に戻った人とは、実はそのほとんどがずっと自宅にいた人であると考えられる。なぜなら当日の夜には自宅にいたが、そののち居住市区外の知人、親戚のところに出ていった人が多く、当日の夜より１週間後の方が、自宅にいる人は少ない。その分、居住市区外の知人や親戚の家に出た人が多くなっている（３－１「自宅の損壊程度と住まい」を参照のこと）。１カ月、２カ月と家を空けた人ならば、その避難先は当然震災の影響をあまり受けていない地域であるから、自宅に戻ってくると、混乱から抜けきっていない状況のもとで情報不足を感じたかもしれないが、ずっと自宅にいる場合は比べるものがなく、かえって不足をあまり感じずに済んだというものである。もうひとつは、１週間後までに自宅に戻ることのできた人びとは、受けた被害が比較的小さかった人が多いと考えられ、ライフラインの復旧も早く、不足を感じないですんだ可能性がある。さらに、そういった人びとは、テレビで報道されたり、自分の目で見る激震地のようすを前に、同じ被災者でありながら何も不満が言えない状況に自らが陥ってしまった可能性もないとはいえない。給水情報やゴミ回収情報の不足に関して、１週間後帰宅者の数値が１カ月後帰宅者の数値より低いのもこれらの理由によると思われる。

６カ月後帰宅者の数値が、３カ月後帰宅者の数値より上がっているものがいくつかあるが、６カ月後の実回答者数が 12 人と極端に少ないため、考察対象となりにくい。ただし、６カ月もたつと、マスコミの報道をはじめ震災関係の情報が少なくなり、その情報を必要とする人びとは、かえって不足を感じたのではないかと考えることはできる。

直後に戻った人を除くと、遅くに戻った人ほど不足が「特になし」の数値が高くなっているのは、時がたつにつれて震災以前の状況に戻ったためである。これは、給水情報やゴミに限らず全体的に、自宅に戻った時期があとになるほど、情報の不足を感じた人が少ないことと一致する。

3．情報の入手方法

さて、これらの情報は一体どういった方法で入手されていたのであろう。図 7-3-1（問27）で全体をみると、新聞、テレビが圧倒的に多い（順に、実回答者 685 人の 73.1%、69.2%）。次に続くのが、知人・友人より 53.3%、行政の出す新聞・ビラなど 53.1%、

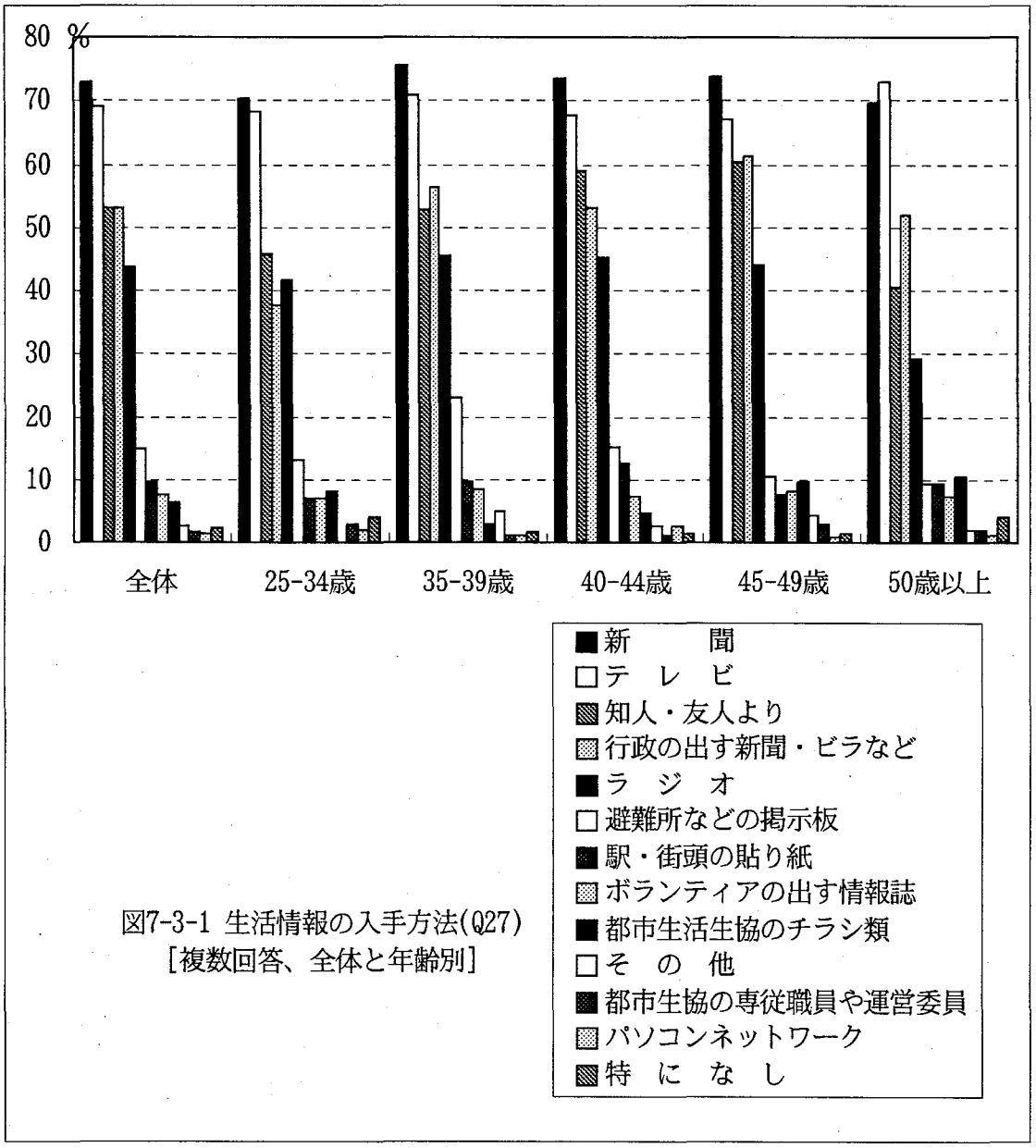


図7-3-1 生活情報の入手方法(Q27)
［複数回答、全体と年齢別］

注）実回答者 685 人に対する割合を示す。

ラジオ 43.8%であり、あとは非常に少ない。

これを、年齢別にみると、新聞から入手したとする人は、35-39 歳、40-44 歳、45-49 歳で少し高く（75.8%、73.4%、73.9%）、25-34 歳と 50 歳以上層では若干減る（70.4%、69.8%）。テレビでは、35-39 歳と 50 歳以上で少し高い（70.9%、72.%）。行政の出す新聞・ビラについては 25-34 歳層（37.8%）で非常に低いのが特徴的である。若い人びとが行政の出すものに無関心であることがわかる。おそらく、日頃からそうなのであろう。また、知人・友人のいわゆる口コミでは、25-34 歳層が一番低く（45.9%）、45-49 歳層まで次第に数値は上がっていく。しかし、50 歳以上になると 40.6%にまで減少する。これは、年齢によるネットワークの差を表している。45-49 歳層の女性は、子どもが高校を卒業するまでの層であり、あまり居住地を移動することもなく、子どもを通して多くの人々と知り合い、地域に根を張る時期である。したがって、一番人間関係の豊富な時期といえる。この層にさまざまな情報を流せば、情報が自然に広がっていくといえる。

ちなみに、「都市生活生協のチラシ類」「都市生活生協の専従職員や運営委員」から情報を得たという人は、実回答者数 685 人のうち、そろぞれ 45 人、13 人しかいない。

８．今後のこと

１．現在困っていること

問 29、30 ではアンケート実施の時点でみた今後のこと、すなわち、復興計画や住居の補修など、何に関心があり、何に不安があるのかを尋ねた。いずれも、２項目までの複数回答である。

まず、現在困っていることに関しては図 8-1-1（問 29）に表した。全体では、特になしが 360 人（実回答者 616 人の 58.4%、以下同じ）と一番多く、続いて、住居に関する経済的なこと（95 人、15.4%）、住居の補修など技術的なこと（76 人、12.3%）、家族員の精神的ストレス（66 人、10.7%である。

つぎに、これを家屋の損壊別にみると、「一部損壊」「損壊なし」では困ったことがとくにないという人が圧倒的に多いが（64.7%、77.2%）、「半壊」では、全体と同様に、特になし、経済的なこと、技術的なこと、ストレスの順に、39.3%、36.9%、28.7%、10.7%となっている。技術的なことに困っているという人は、全壊家屋よりも半壊家屋の人々に多い。これは、２－２．調査時点での家屋の状況で述べたように、半壊の人は建物を補修する人が 83.4%と圧倒的に多い。補修の場合、建物がどこまでダメージを受けて、どう補修するかの判断が難しいので、この結果が出たものと思われる。全壊の場合は取り壊して再建となるので、かえって技術的な問題は少ないのであろう。

「全壊」の場合は、他の項目についても全体とは少し違う状況が表れる。とくに困っていることがないという人は 21.7%と低く、多い順にみると、住居に関する経済的なこと 39.1%、家族員の精神的ストレス 28.3%、住居の補修などの技術的なこと 19.6%、家族員の体調の悪化 15.2%、さらには、居住場所が定まらないこと 6.5%となる。家屋のことで困っている人が多いと同時に、家族員の精神的ストレスや体調の悪化を多くの

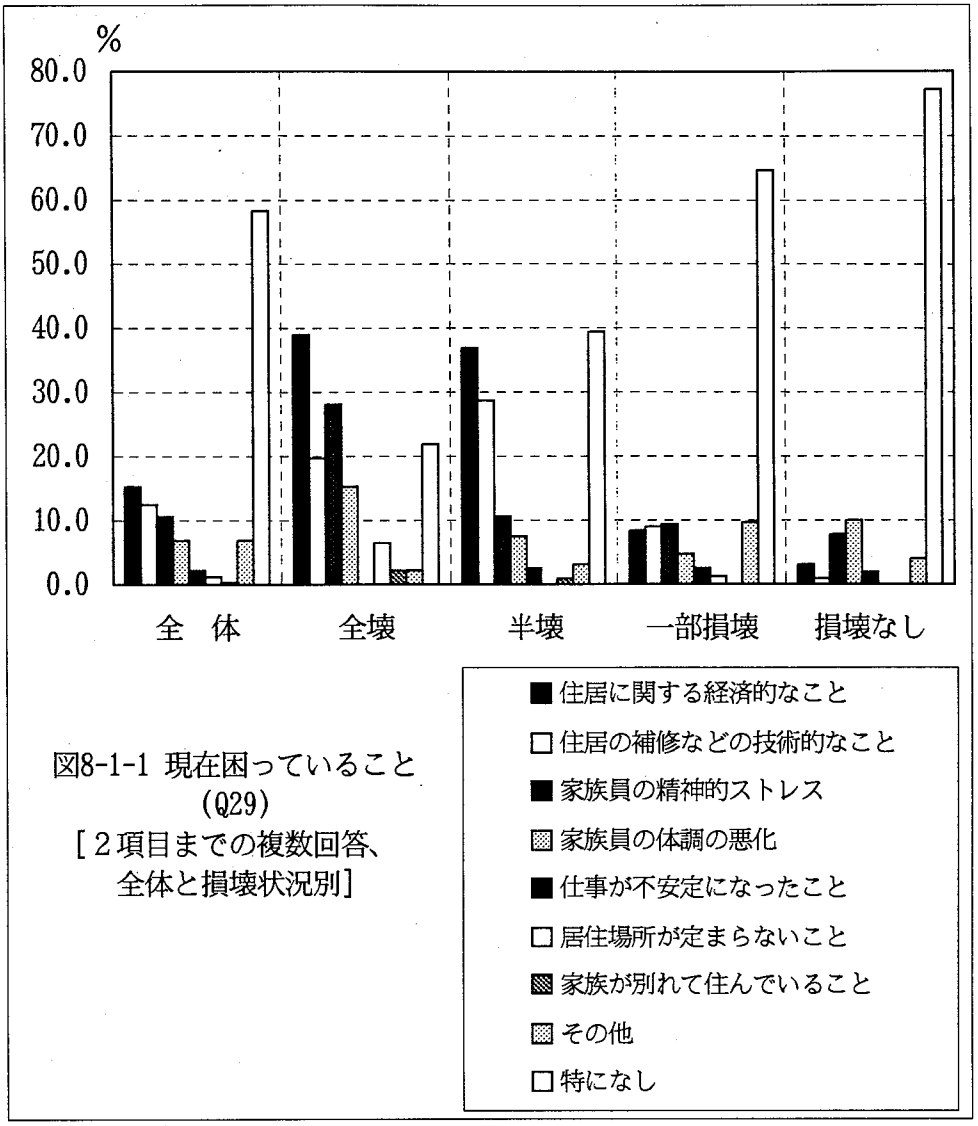


図8-1-1 現在困っていること
(Q29)
[２項目までの複数回答、
全体と損壊状況別]

注）実回答者 616 人に対する割合を示す。

人が選んだ。これは、ここでの設問設定が２項目までの選択としたため、住居と並ぶ大きな困難として、これらが選ばれたのであろう。家族員の精神的ストレスや体調の悪化は「半壊」の２倍以上の数値となり、他の損壊状況の人々より極端に高いことがわかる。家を失うことが、たんに経済的なことに留まらないことをよく表している。しかし、その反面、全壊家屋で困っていることがとくにないという人が 21.7%（76 人）いる。おそらく経済的に恵まれている人々がそのほとんどであろう。ただし、必ずしも特別裕福

というわけではないかもしれない。たとえば、命が助かったことに対する安堵感が人をそのように思わせるのかもしれないし、強く生きていかなければと自分を鼓舞する状況がそのような意識を持たせるのかもしれない。詳細はわからない。

２．復興に関する関心事

震災復興に関して関心のあることを、年齢層別、および家屋の損壊状況別に図 8-2-1、8-2-2（問 30）に示した。全体では、アスベストやフロンガスなど環境問題を選択した人が 422 人（実回答者 655 人の 64.5%）と飛び抜けて多い。これは、アンケートを配付した時期がちょうど家屋など建造物解体の盛んな時期で、アスベスト飛散が問題となっていたこと、また、それに伴うマスコミ報道が多かったことなどを反映していると考えられる。現地救援本部にも海岸地帯での建築廃材の野焼きをなんとかできないものかとの相談が何件か入ったそうで、この時期は被災地の多くの人びとが環境問題におのずと関心をもたざるを得ない時期であったと見てよいであろう。アスベストなどの環境問題のあとには、地域の震災復興計画 168 人（25.7%）、都市計画のための周辺の変化 145 人（22.2%）、近隣の人たちとの連帯関係 135 人（20.6%）、ボランティア活動への参加 96 人（14.7%）、都市計画への市民参加 82 人（12.5%）と続く。都市計画のための周辺変化には 150 名近くの人が関心をもつが、都市計画への市民参加になると約半数に減るのは、現代日本の政治参加への指向度をよく表しているといえるのではないだろうか。

年齢層別でみると、復興計画に関心をもつのは、30 歳代 40 歳代であり、20 歳代と 50 歳以上では若干低い。都市計画への市民参加も同様の傾向を示している。周辺変化や、隣人との連帯関係に関しては、50 歳以上が他の年齢層よりも少し数値が高い。反対に、アスベストなど環境問題は 40 歳代前半までの人びとが 70%近くの高い数値が示

すが、50 歳以上、45 歳後半では前者に比べて関心がそれほど高くはない。近年は、環境問題がマスコミで報道されると非常に大きな関心を呼ぶ。今回の震災では、隣人達との連帯関係の重要さもよく報道されたが、ここの結果では環境問題の方が人々の関心をひいている。これは、たんにアンケートの配付時期と建造物の解体とが重なっただけではなく、40 歳代前半までの比較的若い層の環境問題全般への関心を反映していると思われる。ボランティア活動については 40 歳代後半の人々が一番関心を示している。

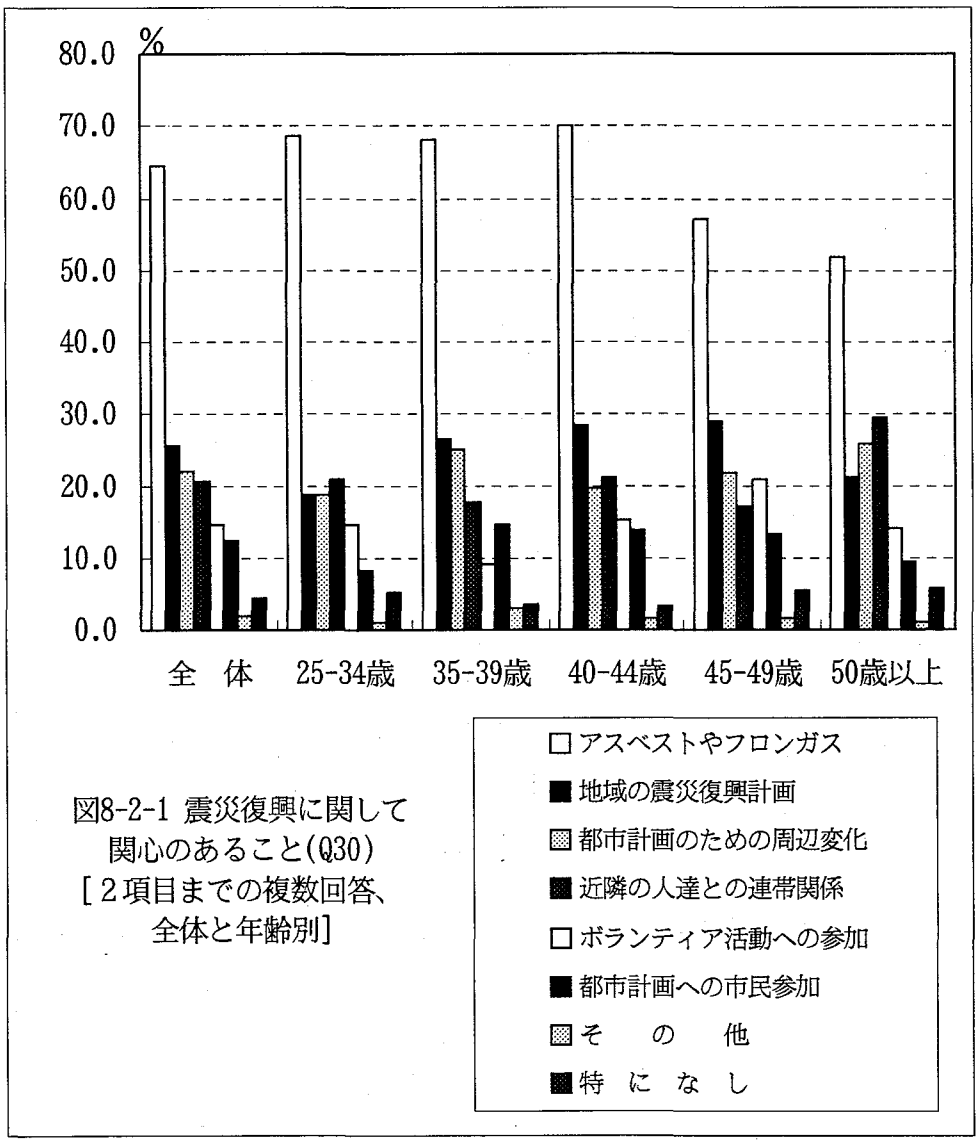


図8-2-1 震災復興に関して関心のあること(Q30)
[２項目までの複数回答、全体と年齢別]

注）実回答者 655 人に対する割合を示す。

40 歳代後半は一般的に子どもが手を離れる時期である。すなわちボランティアへの関心度は女性のライフサイクルに関係があると考えられる。こうした関心を実際の活動にどう取り込むかが今後の課題であろう。

家屋の損壊状況別にみると、全壊の人で都市計画のための周辺の変化に関心があるとした人が、他の損壊状況の人より圧倒的に高い（全壊 42.0%、半壊 24.6%、一部損壊 21.6%、損壊なし 12.5%）。地域の震災復興計画に関しても同様の傾向がみられる。そ

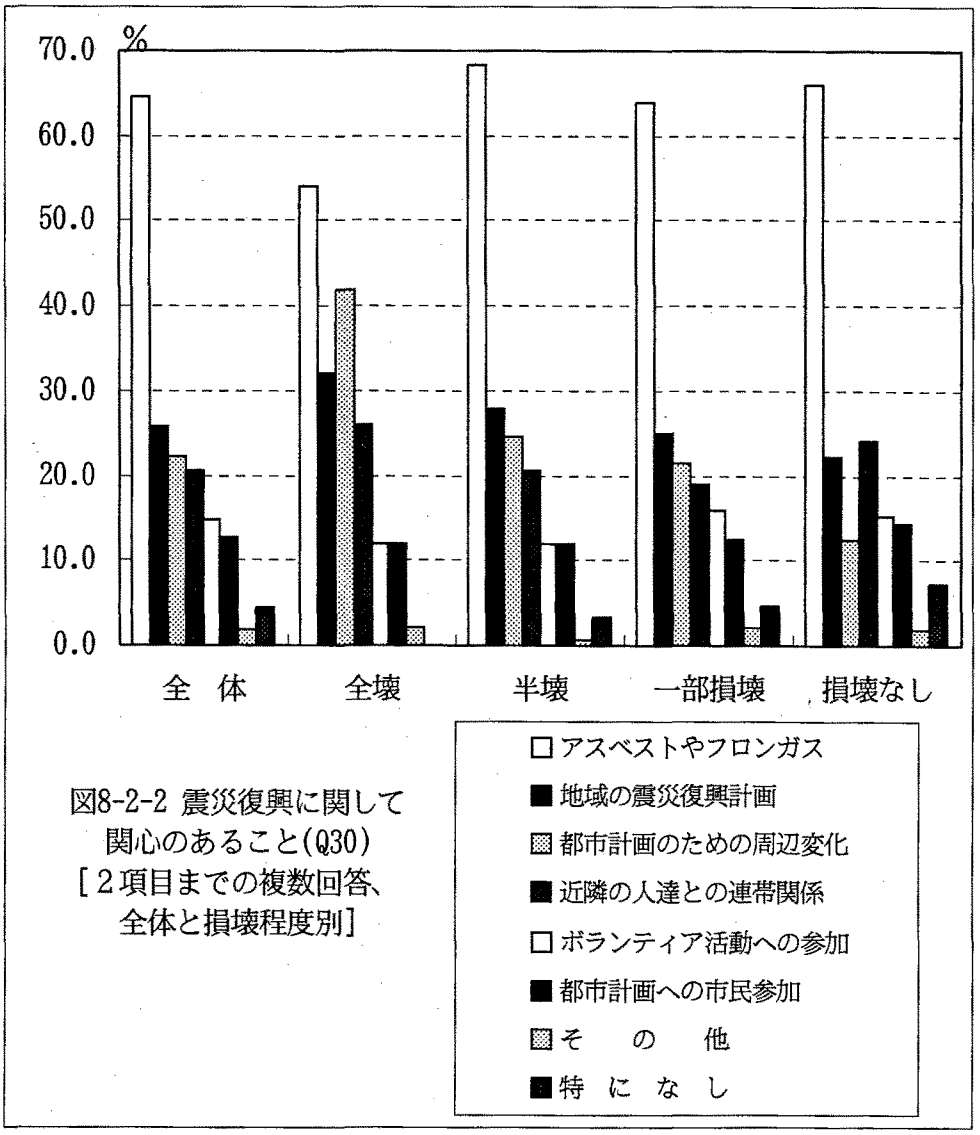


図8-2-2 震災復興に関して関心のあること(Q30)
[２項目までの複数回答、全体と損壊程度別]

注）実回答者 655 人に対する割合を示す。

の分、アスベストなどの環境問題が低くなっている。また、全壊の人々は、近隣の人たちとの連帯関係についても他の損壊状況の人々より高い関心を示している。

Ⅲ．自由回答を読む

自由回答を読んで

自由回答に記入があったのは全部で118名である（全回答者755人の15.6%）。ここには記入者全員の文章を掲載した。

生協の救援活動に頭の下がる思いですと感謝する人、見舞金のお礼を記している人、救援ニュースをしっかり読んでいるという人、組合員になって10年以上という人、さらに、そういった人々が救援活動の姿勢を問い、さまざまな要望をあげるなど、記述内容は多岐にわたる。そして、その内容には、記入者自身の考え方がうかがえるものが数多くある。記入者は、たんなる商品の購入者というよりも、「都市生活」生協のさまざまな活動に少なからず興味をもっている人々と考えられる。

記入された文章は、大きく９つに分類してまとめた（1.即売供給・青空市に対する要望　2.さまざまな救援活動に対する要望　3.救援活動の姿勢に対する意見　4.情報不足の実態、およびそれへの不満　5.家・街づくりに思うこと　6.感謝・御礼　7.ボランティア　8.毎週の配送にひとこと　9.その他）。第三者に意味の伝わらないような誤字、脱字以外はすべて原文のまま掲載した。一人の記述がいくつもの内容を示し、いくつかの分類項目にまたがる場合があるが、そのときは、とくに強調していると思われる部分を優先させて配置した。記述された二つ以上の部分に、重要度、強調度の差が見られない場合は、文章を分割し、複数の箇所に掲載した。その場合は、文章が分割されていることがわかるように、文末に「分割1/2」のように表示している。分母が分割した数を表し、分子は文章の順番を示している。どうしても文章が分割できない場合は、必要な部分のみを重複して掲載し、二度目に掲載したところには文末に「重複掲載」と但し書きを入れた。なお、自由回答の各文末の（）内にある４桁の数字は、整理用のコード番号である。

全体を通して言えることは、感謝の意を伝える人が非常に多いことである。要望をあげている人でも、感謝のことばを記していることが多い。詳しくは後述するが、都市生活生協の救援活動を見て、自分が組合員であることに喜びを感じたという人が何人もいることは、救援活動を中心部で支えてきた人々の心をなごませるにちがいない。

即売供給・青空市に関しては（１を参照）、感謝の意を表すると同時に、いくつかの要望があがっている。品切れ、売り切れを指摘し、量・品数をもっと増やしてほしかったというものが4名ある。そのうちの3名が中央区ポートアイランドの組合員である。95年6月以降には中央区のポートアイランドで青空市が行われ、４カ所を廻っている。商品が見込み発注なので、消費者が欲しいと思うものがないときもあるだろうし、4カ所を廻るうちに最後の方では少なくなることもある。また、95年８月までは現在の物流センターが未完成だったのでポートアイランドへは名谷センターからトラックが出ていた。本部から遠いこともあって、時期によっては限られた物資しかなかったとも言える。

それ以外では、時期をもう少し早くしてくれた方がありがたかったという指摘が２名、場所を増やしてほしかった、回数をもっと多くしてほしかったが各１名、いずれも西宮市の組合員である。

その他、即売の期間を長くしてほしかったというものが１名、仮設住宅での青空市の意義を認め、継続を願っている人が２名（東灘区）である。

即売・青空市以外の救援活動に関しては（２を参照）、もう少し早く活動を始めてくれればよかったとするものが４名（西宮２名、芦屋１名、東灘１名）である。このなかには、救援活動を受ける状況にありながら、生協への出資金だけは以前と変わらず毎月引き落とされていたことに気分を害したという記述があり、日常活動への迅速な対応が迫られている。そのほか、定期的に活動を続けてほしいとするもの、震災の2～3日後ぐらいに水やリンゴがあったら良かったというもの、無償提供はまったく受けていないというものなどがある（すべて西宮の組合員）。

救援活動のあり方については、数は少ないが鋭い意見を呈するものが、いくつかあった（３を参照）。自然発生的な救援活動には共感をおぼえるが、「都市生活」の組織を強調する行為には違和感を唱える人、長期にわたる炊き出しは果たしてどれほど有効だったのかと考えあぐねる人がいる。被災者の自立をうながす援助がやはり基本ではないかと短い文章をしたためた人も、同じような情景を見ていたのかもしれない。自分にあった、納得のいくスタイルで活動を続けたいと前向きの宣言を書いた人は、裏返せば、いまの状況が彼女にとって納得のいく状況ではないことを表しているともとれる。

「都市生活」の旗を立てて活動することへの抵抗感はそれなりに納得のいくものである。しかし、同時に旗を立てることの意義もまたある。それに関しては、６の感謝・御礼の分析のところで述べる。当事者でない調査者にとっては、アンケートの答えだけでその地域、あるいはその人々のおかれた状況を把握するのはむづかしい。しかし、やりやすいからといって安易に炊き出しという救援活動を行なうのでは、かえってマイナスの効果を生むときもあるということは確かである。組合員のなかには鋭く状況を読みとっている人がいるのである。

震災後1～2週間ほどは、この情報化社会にあって、必要な情報が多くの人々に行き渡ることがいかに難しいかを痛感させられた。日頃使用されている情報網が破壊されているときこそ、都市生活生協のような地域ごとの活動体が特性を発揮しなけらばならなかったのかもしれない。ところが実は、「都市生活」自身の情報網も寸断されるという状況下にあった。情報が、なかなか組合員に伝わらない（４を参照）。もっと情報収集の手助けをしてほしかったとの願いを表現した人がたった二人だったのは、皆が諦めていたのか、あるいは遠慮しているのであろうか。アンケートのなかで生活情報の入手方法を聞いた項目があるが（問27）、都市生活生協のチラシ類をあげた人は45人、6.6％であったことを思い起こしてほしい。

家、街づくりに対する記述（５を参照）が少なかったのは、生協に期待できる問題では

ないと多くの人々が考えているからであろう。いまの生協は、どうしても食材の販売が中心になる。家をどのように改装・改築するか、街をどのようにつくってゆくのかという知識や情報を生協が扱ってくれるとは、人々は考えない。しかし、今後生協活動を幅広く考えるならば、考慮してよい分野ではある。アスベストを心配した具体的記述はたった１件しか見られないが、アンケート問30では、422件（64.5％）の人が、震災復興に関して、アスベストやフロンの問題に関心があると言っている。そのときどきの人々の要求をどのように汲み上げ、それに応じて生協はどのような情報をどの程度まで提供すべきなのかを検討するための、機能的なシステムづくりが必要な時代なのかもしれない。

感謝・御礼の記述では（6を参照）、都市生活生協とつながっていることに喜びを感じたという記述が、７人もあった。救援物資を届けにきた組合員との接触が嬉しかったというもの、避難先でテレビの映像や、新聞に、「都市生活」の救援の姿が映っているのを見て心が暖かくなったというもの、避難先から戻ってきたあとで活動を知って嬉しかったというもの、救援物資を運ぶ「都市生活」のトラックを見て心強かったというもの、即売供給などの活躍が心強かったというものなどである。自分がさまざまな事情で活動できない状況にあるとき、その人がアイデンティティをもつグループの活躍を知ることは、自分の望みを自分に替わって叶えてくれたようで嬉しく、心温まるものである。「誇りに」思えたということばからその心情がよく伝わってくる。救援物資輸送車がつけている大きな垂れ幕は思わぬ意義があることを知らされる。人々は、自分は一人ぼっちではないと思えるときが一番勇気づけられる。それから考えると職員、組合員同士が安否確認をし合うことの意義も見えてくる。安否確認に関する自由回答は案外少なかったが、その重要性に気づいている組合員は多いであろう。数少ない安否確認に関する記述を紹介すると、都市生活生協へ安否の連絡をすることは思いつかなかったというもの（2-b）、職員が回ってきたことを喜ぶもの（2-b）などがある。

感謝の意を表した記述のなかには、これから何かできるなら手伝いたいという意思を表

したものが３件あった。大きな行動ではなくても、ささいな協力を望み、その労を惜しまない人々は、おそらくもっと多いに違いない。

ボランティアにつての記述（７を参照）がいくつかあったが、余裕や情報さえあれば救援活動を手伝いたかったとする５件は、上記の、今後機会があれば手伝いたいというものとその表現が異なるだけで、同じことを語っている。ボランティアは一人でもできるが、組織的に何人もの人々が動けば大きな力を結集できる。「他組織との連携を」とって、「一つのアンテナに集結する」ようなシステムを考え、「型にはめすぎないボランティア活動を」という意見は今後の活動の一つの指針になるのではないか。また、あくまでも被災者の自立を援助するのだという意見は、援助するときに忘れてはならない視点である。

毎週の配送に対する意見も多くあった。とくに職員の方々にとっては、必読のページである。

自由回答全文掲載　<項目別>

1．即売供給・青空市に対する要望

a.　量・品数をもっと多く

○大変な時期にいち早く活動され（各個人各でも心配な事があったと思うのに）本当に頭のさがる思いです。ごくろう様です。何度か野菜を買いもとめに行ったのですが、小さい子供達をつれて、自転車では遠かったのか、いくといつも売り切れで、「ごめんなさい。大ぜいの人ですぐなくなったのよ。」とやさしくいってはくれたのですが、残念でした。でもみんな困っているから、しかたがない。次があるし、と明るく帰ったのでした。（西宮市　38歳　1047）

○不自由な時には大変お世話になりました。ただ即売時間に販売場所へ行くと「売り切れ」の品が多く特に有機米や調味料には大変不自由しました。私も“買いだめしておけばよかった”と後悔もしました。（中央区　35歳　5127）

○青空市を本当にごくろうさま‥と思いますが、どうせするなら仮設住宅の方にとってはもっと品数がそろっている方がたすかると思うのですが。さとうや小麦粉などの品切れが多くて気の毒でした。（中央区　41歳　5129）

○地震直後しばらくは食料品、水が必要な時にポーアイへは何も来ませんでした。又、配達車が来るようになっても後の方になって回って来たら必要な物資はほとんどなかったこともありました。物がない時こそ頼りたかったのに。（中央区　45歳　5130）

b.　時期、遅し

○即売供給は、大変ありがたかった。もう少し早ければと思った。即席物ばかり食べていたので、生野菜、卵はありがたかった。（西宮市　44歳　1403）

○生協が炊き出しをしている事は都市生活の出す新聞で後から知りました。特にこまっている方達への炊き出しはよろこばれたと思いますが、あまり被害を受けていない地域でも交通などの足がないため、食品を買い求めるのは苦労しました。行政からも、何の援助もありませんでした。そんな時トラックでの販売などでも助かったので、そのような対応がもっと早くできるよう希望します。（西宮市　36歳　1412）

c.　場所・回数をもっと多く

○都市生活生協が低価格で食料品を供給されたそうですが坂道を登っていかなければならない処でしたので買いに行けませんでした。もっと場所を代えて販売してほしかったと思います。炊き出しも甲陽園地区では行われなかったと思います。地震の後恩恵によくしてなかったように思います。

（西宮市　66歳　1036）

○即売供給地点を数多く、回数も増やしてほしかった。（西宮市　55歳　1409）

d.　その他

○都市生協にしても、コープこうべにしても、自らが被災した側でありながら、迅速な対応をされたことに感謝と敬意を持っています。ありがとうございました。しかし、その後の仮設での即売供給も、直前になってビラ配りや手伝いをといわれても、すでに予定があって無理なことが何度もありました。もっと早く（せめて７～１０日前には）ご連絡下さい。六甲アイランドの仮設では、即売を喜んでおられる方がたくさんいらっしゃいます。（東灘区　35歳　3118）

○買い物が不便な所にある仮設住宅での青空市を継続できればお願いします。（東灘区　34歳　3157）

○震災後、消費材の即売を2月初めにやめずにもう少し長く続けて欲しかった。即売の時は現金で取り扱って欲しい。班に１人か２人しか残っていなくても配置するということを知らせて欲しかった。（中央区　40歳　5109）

２．さまざまな救援活動に対する要望

a.　もっと早くに！

○激震地の中にいて、自分の住んでいるマンションはほとんど被害がなく、電気もすぐつき、寒い思いも、暗くて、わびしい思いもしなかった。（リビングはガラスの洪水、家中の家具や物はとび散っていたが・・・もちろんガス、水はダメ）テレビで避難所に当日の翌朝都市生活のあの見なれた牛乳とパンがくばられてるのをみて、今日、うちにくる分が、くばられていると思ったけれど（パンが食べたかった）とてもうれしく、ほこらしく思った。一番近い大阪などでほとんど被害がなかったところが多くあったと思う、そういう生協活動をしている人達にいつもの倍のお米をたき、おにぎりを作って下さいと呼びかけたら、生協のトラックで神戸や西宮に運んだら（大阪まで五～六時間で通行できていた）地震当日、１個のおにぎりも食べれない人がもう少しへったと思う。（西宮市　40歳　1003）

○いち早くダイエーが店を開けてくれて、とても助かりました。長い列で何時間も並びましたが、苦にはならず、ダイエーの心の広さを感じました。都市生活さんは、その点がなかったように思うのですが。（西宮市　39歳　1410）

○陶器市やリサイクルの計画は良かったのですが、開催される時期が少し遅かったのでは・・・。協力したくてももう他へ出してしまっていて協力できませんでした。（芦屋市　41歳　2116）

○今は家もおちついて一応安心しているのですが、混乱時期なども、出資金だけはしっかりひかれて、こんな時期に一時ストップなどできないものかと、救援する一方で、こんなこともとちぐはぐさにいやになった。助かったのはポリタンク。でも、もっと早い時期ならと思った。たき出しなどもよくされていたと思うが、そりゃあった方がうれしいけれど、もっと早く切り上げて自立の方向や、まわりの店のことなど考えた救援の方がいい。何か、あと、あとのような気がする。大きな団体になればなる程遅くなると思うが。（東灘区　45歳　3018）

b. こんなことができる

○地震直後、親兄弟の確認しか頭にうかばなかった。都市生活生協への連絡は思いつかなかった。又、極力、電話を使用しないでおこうと思った。（車も）（実際に一週間ぐらいは電話が混んでおり使えなかった）　直後の救援活動は、自転車で情報を集めるのがよいかと思います。「水」や「りんご」をリヤカーを引きながら歩いて「いりませんかー？」と回っていたボランティアグループがいました。三週間後ぐらいでしたが、もし、二、三日後でしたら、ものすごく助かったと思います。（西宮市　41歳　1406）

○震災後、職員の方々が回ってきて下さり、とても支えて頂きました。色々なイベントがあったようですが、情報も入りにくかったし、家も半壊状態の中での生活、子供も幼く、とても参加できる状態ではありませんでした。そういう配達もしていただければ良かったです。（西宮市　43歳　1463）

c. その他

○今後も定期的に活動を続けてほしい。私の親せきも含めてすべてのものをなくしてしまって気力をなくしている人たちがたくさんいるから、今は幼児がいてなかなか手伝えないが、常によびかけてもらえれば役に立つ時があるかもしれません。（西宮市　36歳　1292）

○問19の無償提供はまったく受け取っていません。全組合員に行き届かなかったのではありませんか。（西宮市　32歳　1424）

3．救援活動の姿勢に対する意見

○被災者への救援について初期は炊き出しなど、お互いにできるボランティアでいいと思いますが、やはり一時的な物で、最終的には、行政の責任でする事であると思います。この行政を住民の為のものとなるような、活動も必要ですね。（分割2/2）（西宮市　44歳　1134）

○救援活動についての考え方が支部内でいろいろあって、自主的・有志的な参加をする人にも、影響があり、被災地での被災者による救援活動というものが、よくわからなくなってきた。救援は、

もともと、自分の班の人や近隣の人たちを助けることに無心にやっていた時の方が、当たり前のこととして助け合えていたわけで、都市生活という旗をたてて、「やってますよ！」という姿勢をしめすことに、少なからず抵抗がある。でも、助けられてよろこんで下さる方もあるのだから、そんなこと考えなくてもよいのかもしれないが・・・。（西宮市　48歳　1385）

○1/17当日我が家に届くはずだった消費財、あとから行けば買えたと聞きました。もっと早くなんらかの連絡をいただいていたら、買いに走り回ることもなかったのにと思います。長期間たきだしをされて大変だったとは思いますが、本当にそれが必要だったか少し疑問に思います。手抜きや節約のためにもらいに行く人々があるときいています。数日間は必要かもしれませんが、あとは有料化や指導だけで食べる人々が作ることも必要だと思います。使い捨て容器のゴミも気になりました。（西宮市　36歳　1405）

○被災者が自立できること、又は補助しながら自立できることを目的とした援助をしていくべきだと思う。（西宮市　36歳　1460）

○都市生活組合員を主とした被災者復興のため、全国の生協から、物心共に多大な励ましを頂いた事は、本当に大きな喜びです。徐々に元の生活に戻りつつある今、自分自身に最も合った、最も納得のいくスタイルでの運動や活動をしていきたい、と考えています。
現地救援本部の方始め、全国の皆様、本当にありがとうございました。（西宮市　37歳　1484）

○たき出しなどもよくされていたと思うが、そりゃあった方がうれしいけれど、もっと早く切り上げて自立の方向や、まわりの店のことなど考えた救援の方がいい。何か、あと、あとのような気がする。（重複掲載）（東灘区　45歳　3018）

4．情報不足の実態、およびそれへの不満

a.　「都市生活」の活動を知らなかった

○1月17日の震災以後、都市生活の様子、活動は一切分かりませんでした。[どの様に行動（組合員として）していいかも全く分かりませんでした。] 班等の連絡網を使って、知らせて欲しかったと思います。知っていれば活動・協力に参加出来たと思います。（西宮市　58歳　1031）

○色々と活動されていたようですが、全く知りませんでした。（分割2/2）（西宮市 43歳 1032）

○都市生活生協が物品の無償提供をしていたなんて知らなかった。もっと情報がほしかったし、全組合員に平等に救援してほしかった。（西宮市　年齢不明　1407）

○震災後の「都市生活」の救援活動や、その他の活動状況が、全くつかめなかった。多分会員数も減少していると思います。（東灘区　42歳　3136）

○情報伝達の不足（行政も含めて）（東灘区　63歳　3180）

○都市生活生協の救援活動は、住居が決まり、新聞を取り出してからあちこちでがんばっていることを知りました。避難所にいる時には、そういう情報が入ってこなくて、知らなかったので残念です。（東灘区　37歳　3187）

○都市生活からの無償提供があったこと自体知らなかったのでびっくりしている。中央区の方へ、炊き出しがあったのでしょうか。一回も利用した事がない。（中央区　40歳　5137）

b.　もっと情報を

○ボランティア活動について、きまった地域に集中していたように思う。
情報がはいらずイライラしたり身動きがとれないまま、日が経っていったように思う。
組合員の横のつながりを、もっと密にとれたら、情報も活動もスムーズにいったのではないでしょうか!（西宮市　39歳　1046）

○避難所にいる人達には、いろいろな情報と共に物資もいき渡っていた様だが、家にいた人には、全くといっていいほどなかった。家の中に被災者をかかえていた人もたくさんいてたと思うので、皆に情報がいき渡る様考えてほしい。（西宮市　29歳　1404）

5．家・街づくりに思うこと

○色々な活動、感謝しております。　個人的な希望をしまして、今後、家を建て替えるにあたり、安全な住居（有毒ガスを発生しない、アトピー、カビetc)に関する、資料とか、欲を言えば、国産材木を使った産直住宅等の情報があればと、願っています。よろしくお願いします。（西宮市　40歳　1052）

○アスベストが、マンション・学校等をつぶす時に出る量が子供達に悪影響をおよぼすのが心配です。何とかならないのかいつも思います。　本山第二小学校　本山中学校（東灘区 44歳 3008）

6．感謝・御礼

a.　「都市生活」に入っていてよかった

○テレビで避難所に当日の翌朝都市生活のあの見なれた牛乳とパンがくばられてるのをみて、今日、うちにくる分が、くばられていると思ったけれど（パンが食べたかった）とてもうれしく、ほこら

しく思った。（重複掲載）（西宮市　40歳　1003）

○震災後１カ月めくらいに、尼崎の方から、都市生活の組員（「職員」の誤りか？）の方が救援品を持って来て下さりとてもうれしかった。私のマンションはほとんど避難していて、（私は昼だけかたづけに帰っていた）何の情報も入らなかったので、都市生活とつながっている事がとてもうれしかった。（西宮市　44歳　1033）

○震災３日後から東京へ子供と３人で避難していました。（私共の住む地域は比較的被害が少なく、自宅にいる私共の所には、給水他、支援の手がなかなか回ってきませんでしたので・・・）避難先のTVの画面に救援物資として都市生活の牛乳が映っているのを見て、とても心が暖かくなりました。かなり早い時期に都市生活の方が私達組合員の安全確認をされていたことも他の班員から聞き、有り難く思いました。これからも都市生活らしさを大切に頑張って下さい。（西宮市　29歳　1213）

○地震の三日後に、親せき宅に避難し、そこで三週間暮らした。その間に、都市生活の活やくがあったもようだが、不在であったため、内容がほとんどわからなかった。あとで、ちらし等で、いろいろな報告を知り、その活躍がうれしかった。きっと、私もここにずっといたら、その救援がとてもありがたく感謝したと思う。ごくろう様でした。（芦屋　42歳　2002）

○震災後一週間目に、車で裏六甲経ユで脱出しました（まさに脱出という気分でした）。その時、ちょうど、被災地へ向かう都市生活のトラックと行きちがいました。救援物資というたれまくをつけて。とても心強かったことをおぼえています。早く言ってあげて、という気持ちと、後はどうなるのだろう（長く留守にするにあたり何の連絡もなく来てしまったこと）という気持ちと。大変なときに、被災地にいませんでした。様々なことがあり、地域の為にがんばって下さったときいています。ごくろうさまとありがとうと書き加えておきます。（芦屋　43歳　2154）

○あの大変な時に遠くからわざわざ協力して下さった方々に感謝します。また、食料品が充分に買えなかった時にトラックに荷物をいっぱいつんで大渋滞の中来て下さった時には、ホント感動でした。必要な時に必要な物を届けてくださる素早さには頭が下がる思いでした。「ただ、近くで炊き出しがあれば手伝えたのになァ」と思いますが、私の方は山の上の方であまり困っておられる方がいらっしゃらなかったので申し出ませんでした。でもホントウニ有難うございました。都市生活に入ってて良かった！！（東灘区　39歳　3014）

○現在仮設住宅で行っている青空市のお手伝いに月１回参加しておりますが、震災直後は大阪で避難生活を送っている時、新聞で都市生活生協の活躍ぶりをよく見ました。被災地で頑張っておられる組合員のことを思うと自分自身は後ろめたさを感じながらも感動したものです。（中央区　41歳　5111）

○多大な被害を受けたわけではありませんが、ライフラインが復旧するまで不自然な生活を余儀なくさせられました。少しお手伝いすることが出来ましたが、都市生活の活躍ぶりがとても心強くも

あり、信頼度がより高くなり、自分が加盟している都市生活が誇りに思え、嬉しかったです。（灘区　年齢不明　4003）

b.　低価格供給、無償提供、即売供給、青空市に感謝

○対応がはやくて助かりました。
組合員だという事だけで、あずきを10ｋｇ分けて下さってありがとうございます。当時、西宮市立瓦木小PTA主催の”子供達の為の遊びと炊き出し”でおぜんざいをふるまう事が出来ました。感謝しております。（西宮市　40歳　1043）

○震災後の即売供給はとても助かりました。水、ガスが出ない状態でインスタント食品を食べる事が多くなっていた所、安心して食べられる物の即売は、ホッとしました。（分割1/2）（西宮市　44歳　1134）

○即売供給の時は本当にありがたく思いました。長い間の救援活動本当に御苦労様でした。（西宮市　46歳　1179）

○1月28日に避難先から帰宅　運営委員の方からの留守伝が入っていてすぐこちらから電話しました。その時にトラックでの即売を聞き、行きました。他の組合員さんとも無事を確認し、おいしいイチゴも購入できて良かったです。（西宮市　36歳　1214）

○震災後　トラックでの即売販売など皆様、大変な中　ご尽力いただき、誠に有り難うございました。（西宮市　34歳　1250）

○被災者援助活動を大変よくやって頂いていると思います。（小さい子がいてお手伝いできず残念です。）継続打ち切りが多い中、青空市など、みなさん喜ばれているようで、とてもうれしく思います。（西宮市　29歳　1461）

○救援価格として、とても求めやすい価格を設定していただき、大変たすかっています。ありがとうございます。（東灘区　32歳　3002）

○被災後、ポリタンク、タオル等の御援助をいただき助かりました。お世話になりありがとうございました。（東灘区　54歳　3149）

○震災後、食料品不足の折、青空市に出くわし、都市生活生協の事を知ることができて有り難く思っています。今までのところはなかなか救援活動に参加できてはいませんが、今後何らかの形で協力できればいいなと思っています。（東灘区　37歳　3153）

○下着、タオルなどの救援物資をありがとうございました。又、都市生活は、比較的早朝に即売という形で物資を供給して頂き助かりました。子供がアレルギーで鶏肉など都市生活の品が特に必要

だったので低価格で供給して頂き、感謝しています。（灘区　36歳　4129）

○震災後の即売供給がとても有り難かったです。無償で供給していただいたタオル、特にポリタンクが活躍してくれました。どうもありがとうございました。（灘区　39歳　4155）

○震災後に都市生活生協に加入したため震災直後の活動を詳しくは知りませんが即売供給が大変役立ったと思います。小さな子供がいたため、非常時でも遠くに出向いて物資を購入することが出来ず組合員の方が加入していない人々にも声をかけて物資を手に入れることが出来ました。（中央区　27歳　5143）

c.　見舞金に感謝

○思いもよらない見舞金を頂きましてありがとうございました。８月に主人の実家（母宅）より、西宮に借家を見つけ転居しました。それまではやはり母親、子供、もちろん、私の精神的ストレスはありました。（分割1/2）（西宮市　43歳　1032）

○救援をしている事は、ほとんど知らなかったが見舞金が出たので驚いた。やはり、お金はとてもありがたい。（必ず、まずはお金からだし・・・・）（西宮市　35歳　1041）

○御見舞金をいただき　本当にありがとうございました。（分割2/2）（西宮市　43歳　1123）

○震災後の都市生活活動に関してはよく耳にし、ちらしなども積極的に読ませて頂きました。皆様の心からの活動は今まで以上に心強く思い頭が下がります。亡き我が子への義援金を頂くなど思いもよりませんでした。私自身組合への手助けなど何もできなかった事、できていない現在、申し訳なく思いますが、せめて末永くおつき合い下さる様願うばかりです。毎週の配達、本当に感謝しています。（西宮市　42歳　1170）

○震災後いろいろと救援活動、大変でしたことと存じます。私方、半壊でお見舞金をいだきまして有り難うございました。大分県の実家にしばらく避難しておりましたので、その間の事情があまり分かりませずアンケートに十分お答えが出来ませず申しわけございません。（西宮市　76歳　1293）

○都市生活から見舞金を頂き有り難く思っています。（東灘区　48歳　3165）

○一万円の義援金ありがとうございました。（中央区　38歳　5118）

d.　協力したい

○私自身も実家が被災にあったりで都市生活生協の救援活動などには何も参加できませんでしたが、今年度は連絡委員（都市生活生協の）になり、いろいろと落ちついてきた今からでも何か協力して

いければ・・・と思います。活動をされている皆様には感謝しています。ご苦労さまですが　よろしくお願いします。（西宮市　39歳　1013）

○今回の震災での都市生協の活動ぶりには、本当に感動し、感心し、脱帽状態でした。ただその活動のほとんどに参加できずにいることが我ながらくやまれますが、そのジレンマの中から、今、自分がしなくてはならないこと、できること、は何かを考えることができ、物事の考え方にも大きく影響を与えられたと思います。小さな子供をかかえ、外出も思うようにならない私達には、我が家にある、食器類を提供することしかできませんが、これからも、そのような形ででも活動に協力できたらと思っています。（西宮市　35歳　1206）

○お互い被災者なのに、救援活動をして下さった方々には、頭が下がるばかりです。自分も体調を崩しての地震でもあり、小さい子供２人のことを考え、人のことまで頭がまわらず、その状況下で自分が何をできるかを考えなければならないと痛感しました。他地域の心暖まるご支援にも、もし、（おこってほしくありませんが）次に何かあれば、少しでもお役に立とうと思っています。（芦屋市　3歳　2115）

e.　ありがとう

○生協の対応のすばやさ、活動力には敬服いたしました。ありがとうございました。何もお手伝いできず、申し訳ありませんでした。（西宮市　40歳　1192）

○震災後、生活体験の少ない若い生協さんが、スッと、ボランティア精神を身につけられたように思います。感謝しております。（分割1/3）（西宮市　70歳　1294）

○今回の震災では、都市生活生協の職員の方自身も被災されたのにもかかわらず、体育館で生活しながら物資を届けて下さる方もいて、本当に頭の下がる思いでした。うちにはその時、２才前の子供も含め３人の子供たちを、変わらず大阪方面に出勤していく主人にかわり、１人で家のことをやり、洗濯やお風呂に連れていくことに一生懸命でしたので、職員のお兄さん方に感謝の気持ちでいっぱいでした。そして、救援物資を手配して下さったり全国からのたくさんの品々、また関係者のみなさんにお礼が申し上げたいです。ありがとうございました。（西宮市　34歳　1295）

○手助けありがとうございました。（西宮市　33歳　1344）

○御苦労様です。御立派だったと思います。個人的にはまとめ買いができていたので食べ物に困る事はありませんでした。良かったと思っています。（西宮市　38歳　1355）

○追伸、立派なアンケートだと思いますが、私は73才で両眼手術にて視力低下、そして一人暮らしですから、（未婚）たいした答は出来ませんので大へんすまなく思っています。知人、近隣の人等に助けられて、一人でもがんばって、すむ家を再建中です。皆様のご活躍をお祈り致します。眼が不自由で字も書きにくく御許しの程を。（西宮市　73歳　1408）

○地震後すぐに実家（高槻）へ帰りましたので、都市生活の方々が色々な活動を行われていたことを知りませんでした。大変、ご苦労様でした。私共は何もしておりませんので申し訳なく思っております。（西宮市　31歳　1411）

○職場の前で炊き出しをずっとされていました。仕事が忙しく、一度も手伝えなくて申し訳ありません。多くの方に喜ばれていたようです。（西宮市　35歳　1473）

○都市生活生協さんの救援活動のすばらしさに頭が下がります。（西宮市　50歳　1483）

○私自身は、老人をかかえて、何もお手伝いできませんでした。生協の活動を知り、皆さん頑張っていらっしゃる様子に、心より、感謝し、応援していました。ごくろうさまでした。ありがとうございました。（芦屋市　44歳　2004）

○思ってもみなかった震災に対し、早くからよく活動されたと、感心しています。（芦屋市　44歳　2144）

○小さな生協なのによくがんばって下さったと思います。（東灘区　48歳　3015）

○よくやっていると思います。ありがとうございます。（東灘区　37歳　3108）

○救援ニュースをしっかり読んでいます。友好生協の方々の応援には心より感謝を申し上げます。（東灘区　46歳　3154）

○がんばってよくやられたと思います。私は自分が被災していましたのでなかなか救援する側には回れませんでしたが私の分までがんばっていただいたみたいで感謝しています。少ない人数で本当にありがとうございました。（灘区　50歳　4113）

○都市生活生協の活動は「救援ニュース」を読ませていただいていますが、本当によくやっていただいて地域援助に大いに役立っていると思います。まだまだ大変ですが、是非がんばっていってもらいたいです。（灘区　31歳　4126）

○特になし　救援活動にはいろいろとお世話になり、本当にありがとうございました。とても嬉しかったです。（灘区　40歳　4156）

○震災2日後に神戸を脱出し里へ帰って居りました。以前より具合の悪かった母を見舞いしがてら避難しました。その後母が亡くなりして1カ月後に帰りました。結局、水、ガスの不自由さもなく、皆様の援助を受けることなく過ごしました。皆様方の援助活動に心より感謝致します。（灘区　47歳　4158）

○特にないですが、震災後どちらも大変なときに、いろいろがんばっておられたので、その精神はずーっともちつづけていってほしいと思います。（灘区　40歳　4163）

○交通事情が悪く大変だったと思いますが、早い時期から物資を供給して下さり、食料等の心配をせずに済み大変助かりました。ただ即売の物資etc.の計算がスムーズにいかなかったのが問題です。お見舞いも頂きありがとうございました。（中央区　47歳　5004）

○都市生活が生活バックアップ商品として、美味しくて、安全な物を、安価で、提供して下さった時は、大変嬉しかったです。　青空市として、仮設で安く、都市生活の商品を売っていますが、今後も続けるのでしょうか。（中央区　33歳　5108）

○震災後、お見舞いをいただきありがとうございました。食料も早くから供給して下さり、助かりました。（中央区　40歳　5116）

○幸いにも私の住んでいる住宅は建物自体にあまり損傷がなかったためたいしたけがもしませんでした。しかし他の方々の被害と悲しみを考えると心が痛みます。都市生活生協の方々はよくやられたと思います。少しも手伝えなかったことが悔やまれますが、あの時は、自分の生活を守るだけで精一杯でした。ポートアイランドから５日ほど離れはしましたが、あとは不自由な生活をしてまいりました。都市生活生協の配達の心よりお礼申します。（中央区　48歳　5147）

7．ボランティア

a.　手伝いたかった

○西宮支部に現地救援支部を置き、さまざまなボランティア活動をされていて、本当に頭が下がる思いです。震災直後から自分のことばかり考えていてとても救援にいくようなことが考えられなかった（余裕がなかった）というのが私の現実でした。今度は人の役に立つ自分になりたいと思っています。（西宮市　33歳　1016）

○親の方へ避難したり、転居したりで、都市生活の活動を全然知らずじまいでした。こんなことがなければ私も救援活動をさせていただきたかったと思います。（分割1/2）（西宮市 43歳 1123）

○1/15に出産し入院中での被災でした。家族もばらばらで不安なだけで時間を過ごしました。病院が市役所の横だったので、救援の手はいち早く受けましたが、いろんな立場の人達がいろんな救援活動をしている事さえ目にも耳にも入りませんでした。病院の中というのは外から来る人の情報だけがすべてで正確な状態もろくにわからずくずれた建物、もうもうと上がる煙をながめて不安に押しつぶされそうだったのを覚えています。ねたきりの人や老人、障害のある人が自宅にいた場合の不安や恐怖はこんなものではなかったと思います。子供の手がはなれたらそういうボランティアができないだろうかと思います。（西宮市　34歳　1018）

○炊き出しなど、ボランティアに参加したかったのですが、子供がまだ小さいためになんの役にも立てなかったことが残念に思いました。困っている時は、お互いさま、という気持ちで皆さんボランティアに参加されたと思うのですが、そういう人の和の中で、私もお手伝いしたかったです。（西宮市　29歳　1019）

○かかわりのあるたのまれたボランティアだけになりましたが、生協のボランティアにも出させて頂きたく思いました。（東灘区　47歳　3128）

b.　こんなボランティアを

○人々の親切ややさしさが嬉しくありがたく感じました。
なるべく他人に迷惑をかけないように、自力でがんばれるよう援助してあげるのが被災者への親切と思います。（西宮市　53歳　1105）

○ボランティアを各生協ごとに募集しているが、どこも型にはめすぎではないかと思う。もっと個人の時間にあった活動を気長にできる様にすべき。でないと、ボランティア活動というものが、特定の人のものになる。（東灘区　37歳　3109）

○都市生協組合員であるとかないとかに関わらず、今後も被災者の方に対し、少しでもお役に立てればと考えています。また、生協には今後とも、消費者、生活者の立場に立ったより良い運営を希望いた致します。（東灘区　36歳　3170）

○生活協同組合の特徴を活かしたこれまでの活動展開に拍手を送ります。ただ、一組合単独で行う活動の限界を感じますので、他組織（行政や地域団体など）との連携がとれたらよいのでは、と思います。（東灘区　44歳　3185）

○いろいろな救援活動は大事ですが小さな組織が各々の活動をするのでなく、民間レベルのボランティア活動が1つになり登録制から全ての活動が1つのアンテナに集結することを思う今日この頃です。（灘区　41歳　4143）

8．毎週の配送にひとこと

a.　要望

○山口町移転に関連して、各班到着時間がかなり不規則ですが予定時間よりも早く到着の場合、通路に配達品のみ置く方法の改善を希望します。（マンション居住者）紛失、いたずら、迷惑防止の為。（西宮市　48歳　1001）

○組合員になって10年以上になりますが、組織が小さかった時の方が何もかも充実してよかったと思います。　今は、進んでいく方向が少しずつ、発足時と変わってきていると思います。第一に組合員と品物に対しての思いです。大切にしている気持ちがあれば、ステーションがマンションの一階であずかる人がいないからといって、品物を置き去りにし立ち去るようなことは出来ないと思います。これでは信用ある都市生協とはいえないです。（今までは人がいない時は代表さんの家まで届けて下さっていました）マンションの室外は共有場所でかってなことは出来ないのです。山口に移って、簡素化になり時間的にも余裕が出来たと思います。今後は今一番ぬけている心のふれあいに力を入れて下さい。（コープコーベのグループ購入でも留守宅には後で自宅まで届けてくれます。）（西宮市　45歳　1009）

○食品の配達時間が3：15pmのなったがいろいろな諸事情はあると思うが、震災前は午前中だったので是非、前の時間にしてほしい。私達のGは乳幼児をかかえているお母さんたちばかりなので昼寝にあたる時間でいつも子供を置いて、配達物を取りにいかなくてはならず　毎回、心配である。（西宮市　30歳　1149）

○震災前と違って人手不足など、運営上大変だと思います。ごくろう様です。配達の時間が以前と違い午後になってしまって、小さい子供を持つ者には、毎週が、憂うつな日となってしまいました。子供の昼寝時間だから、ベルを鳴らさないでと配達の人には云っているのに、少し早い時間に到着すると、ベルを鳴らしてくるので困っています。班内の他の人も同年令の子供連れなので、午後の配達には困っています。何度も配達の人に、午前中にならないのかと、云っていますが、のらりくらりの態度に嫌な気分です。（西宮市　32歳　1151）

○一週間に一度の配達がペースとしてやりやすい。（西宮市　39歳　1350）

○老人夫妻家族なので、ステーションまで行けないため、班の人に配達してもらってとても助かった。老人家庭用の宅配システムもあればいいと思う。（西宮市　80歳　1386）

○☆まず第一はやはり、おいしい食品を、無農薬無添加の安全なことを確実に、届けて頂きたい。以前のようにお米でもある所にはあって、こんな時のための都市生活なのに全くだめだったというようなことのないように、是非お願い頂きたい。　☆1、2、3、4週目と注文する品物が、ほぼ決まっているようで、取りに行けない週は注文できない。（1カ月内で、1週目にしか注文できない品物を次回は2週目にするとかして頂けると注文できる。　☆胚芽米、玄米、定期野菜、もう少しおいしくなりませんでしょうか。今のような米だと注文したくない。　私たちが協力できることは、しますのでおいしい食品を是非お願いします。（東灘区　47歳　3172）

○消費材の配達曜日が震災から変わってしまいましたが、これからもずっとこのままでしょうか。前の曜日の方が取りに行くのに都合が良かったのですが…。それから、野菜と消費材は同じ曜日にはならないのですか。（中央区　46歳　5120）

○９月から新しいパンフレットになり、今迄知りたいと思っていた個々の商品のグラムや内容や産

地などよくわかり、うれしく思っておりますが、ただ以前のように注文個数等記入する所が（商品のすぐ横に表の様に）なくその点では大変不便です。小さくても良いので以前の様に記入する所又は個々の商品の説明をかためてページの前か後にでも記入して下されば、と思う今日このごろです。よろしくお願いします。（芦屋市　年齢不明　2141）

b.　良かったこと

○いち早く都市生活の品物が配達される様になり嬉しかった。（西宮市　62歳　1202）

○おいしくて良い品を届けて戴きますので喜んでおります。（分割3/3）（西宮市　70歳　1294）

○震災後、一週に２回が一回だけになった事が、かえって、子供も小さい事もあり、私は、楽になりました。（芦屋市　37歳　2151）

○上記には直接関連しないのかもしれないが共同購入で一ヶ月分の食料の蓄えがあったことで食料不足に関する不安が比較的少なかった。（灘区　43歳　4103）

○地震の直後まず西宮センターが無事だったか気になりました。食料の供給が始まったときはとてもうれしかったし助かりました。（灘区　42歳　4131）

９．その他

○被災者が安心して暮らせる様、元の基盤に新しい街作りを住民（被災者）の損のない様にきちんと説明し、利益がある街作り活性化してほしい。（西宮市　31歳　1002）

○現在、生協事業のお勤め人々は、全員何人おられるのでせうか。（分割2/3）（西宮市　70歳　1294）

○最近都市生活に入会したので、まだ、わかりません。（西宮市　41歳　1313）

○自分の家のことだけで手がいっぱいで、たきだしなどの救援活動にはまったく参加できなかった。「まず家族を守ること」が必要だった。　他の人への救援活動――――老人・仮設へもしたくてもできない状態です。（西宮市　35歳　1387）

○年齢的に、若い方と一緒に救援活動が出来ませんが、私も個人的には小さなボランティアをしております。班の人数が少ないので、Ｍさんにおんぶしてますが。都市生活の卵、牛乳は欠かせません。よろしくお願いします。（西宮市　68歳　1462）

○今回の震災で班員が大阪に引越になりました。もう一人はほとんどもう活動はやめているので、班員は私１人となりました。周りは更地からやっと家が建ちはじめたのですが、ほとんど御年寄りです。今後も私は都市生活の組合員でいたいのですが、申し訳ない気もします。（芦屋市　51歳　2147）

○６月、７月、８月と、六甲アイランド仮設住宅において地域復興青空市場が行われました。炎暑のなか、その盛況は大変なものでした。”今日のくらしから明日のこころの元気を”というのが、今の私のボランティアマインドです。青空市場に早々と参加された人たちとの出会いが、仮設住宅訪問、ふれあいセンターの運営とつないでいます。このふれあいセンターの和室の壁に「都市生活」か届けられた絵画が飾られています。（K.W）（東灘区　58歳　3104）

○震災後７カ月間ずっと主人の実家（県外）の方におりましたので、都市生活生協の救援活動については全く知りませんでした。もし、神戸にいて、知っていたなら、当然利用させていただいただろうなと、このアンケートを読んで思いました。（東灘区　32歳　3148）

○震災以後入会しましたので、生協活動を知りませんでした。（東灘区　59歳　3159）

○都市生活生協についてではありませんが、私自身は地震後4日目（1/21）に実家を頼って神戸を離れ、2/11に戻ってきました。戻ってきた頃に、ガス、水が出始めたので、最も大変な時期を経験していません。（東灘区　46歳　3171）

○地震２日後に大阪の実家に避難して1週間に1日帰宅していましたので、あまり救援活動の事は分かりません。（東灘区　35歳　3173）

○この地域（港島）に住む者は、幸いな事に住居の被害が比較的軽かったため、現在は、周辺の仮設住宅への救援のお手伝いをする等、被災者であると同時に援助者でもあるわけです。これは、都市生活生協自体にもいえるわけで、私としては、青空市の手伝いも、複雑な気持ちで行っています。又、私は生協組合員である一方、地域の援助グループでも活動をしています。震災前は、都市生協、一筋の頭が、今は、それだけではやっていけません。根本に食・環境の問題も考えながら、他方ではそれを無視して、急場の援助もしていかねばなりません。つまり、正反対の行動をせざるを得ないこともあります。そのギャップが今、一番しんどい事です。できれば、当分は、ダメージの少ない方々の指示をあおいで生協活動を続けたい気分です。（中央区　41歳　5102）

（以　上）

Ⅳ．まとめ

今回の調査は震災後半年以上たってからなされたものであり、震災後比較的早い時期に都市生活生協の理事会が中心となって行った「都市生活救援復興活動のためのカード」のような、その時点で何ができるのかを探ったり、あるいは必要とされる救援活動をさぐるという要求・要望調査とは少し性格を異にする。（「都市生活救援復興活動のためのカード」とは、現地救援本部の相談窓口設置の基礎資料として、全組合員を対象に2月21日から実施されたアンケートである。）

震災は、地域社会やさまざまな社会運動を行っているグループに、豊かな人間社会を創造していくうえで日常活動に何が欠けていたのかという問題を提起してくれた。したがって、この調査は、都市生活生協という生協が救援活動を通して、震災からどのような課題を受けとったかを探る調査であった。課題はわかっても、具体的にどうすればその足りない部分を補えるかは簡単に判断できるものではない。なぜなら、さまざまな選択があるからである。その選択肢は、この調査結果を見ながら、都市生活生協あるいは復興センターを支える人々の方針にゆだねたい。われわれの分析は、その材料を提供することであると考えている。

都市生活生協の現地救援本部では、応援に駆けつけてくれる人材と人員に合わせて、とにかくできる救援を行ってきた。ほとんどの人にとってはじめての経験であるから、確固たる自信があったわけではないであろう。そういった状況のなかで行われた救援活動を分析することが調査のひとつのねらいであり、もうひとつは、都市生活生協の組合員の輪が、混乱状況のなかでも消滅しないぐらいに地域に根を張っていたといえるのかどうかを探ることであった。

この調査の回答者は99%近くが女性で、その半数以上が30歳代後半から40歳代前半に

集中している。学齢期の子どもをもつ親がその多くを占め、世帯構成は４人世帯が多い。地域別では西宮市の回答者数が圧倒的に多くなっている（半数以上）。したがって、アンケート集計結果の全体の傾向は、18 歳未満の子どもをもつ４人家族の女性、および西宮市に在住する者の意向が若干強く反映されている。

また、回答者の家屋の損壊程度については、全壊の多い東灘区でも 12.5％と 1 割強であり、芦屋市では 0％である。全体で、全壊 7.5％、半壊 19.4％であるから、壊滅的な打撃を受けた回答者は少ない。損壊程度の高い組合員もいたはずであるが、アンケートを提出していない可能性がある。そして、震災後の住まいは、１カ月後まで居住市区外の知人・親戚の家に避難していた人が 21.8％、1 カ月後までに以前の自宅に戻ったか、あるいは新しい自宅に入居した人が 45.4％である。2 カ月後には、6 割近い人が自宅に入っている。したがって、アンケートの全体の数値は、家屋が壊滅的被害を受けずに済んだために自宅にもどった人々、あるいは壊滅的被害を被ったが新しい自宅に比較的早くに入居できた人々の状況が強く示されているといえよう。

◇受けた救援活動

都市生活生協、あるいは現地救援本部の行った救援活動は適切だったのであろうか。それらの救援活動を的確に評価するために、行政や他の組織が行ったさまざまな救援活動についても尋ねてみた。実行されている救援は、その内容が必要かどうかを自分で判断し、受けるかどうかを取捨選択できる場合が多い。したがって、利用者が多いということは、望まれていると読み替えることができる。

さまざまな救援活動のうち利用者の多かったものは、炊き出し・食料配給で、6 割強を占め、また、見舞金・義援金がそれに続く。時期別に見ると、ライフラインが断絶した震災後１週間までの初期の状態では、やはり食料に関する救援が重要であることがわかる。

震災後 1 週間以上 3 カ月以内でも食料の救援を受けた人は 2.5 割であり、それは同時期に見舞金・義援金を受けた人の 3 割に続く数字で、少なくはない。生活情報の提供を受けた人は、1 週間後までよりも、1 週間以上３カ月以内のほうが数値が高く、次第に日常の生活に戻って行く過程で、情報がより必要になってくることがわかる。

１週間目ごろまでに受けた救援活動についてみると、居場所の違いで受けたものがかなり違うことがわかる。とくに「自宅」と「避難所」の違いは大きい。注目すべきは生活情報を受けたとする人が避難所で 3.5 割、自宅で 1 割であり、入浴サービス、理容・美容サービスも生活情報と同様、自宅で少ない。これは、自宅にいる人がその情報やサービスを必要としていなかったのではなく、そもそも提供されなかったと考えられる。人々の目が届きにくい自宅の被災者に対して、どのように情報を流すのかは一つの課題である。もし万が一、同様の事態が起こったら、おそらく在宅者への救援をより一層めざすべきであろう。

以上の救援活動で受け手がとくに助かったとしているのは、炊き出し・食料配給がトップを占め、見舞金・義援金が 4 割弱、入浴サービス、生活情報の提供は 10%台でこれに続く。

多くの人々が、隣近所、親戚、知人・友人からも個人的な援助を受けている。役に立ったものは高い方から、食料・飲料の差し入れ、燃料の差し入れ、金銭援助、精神的な支え、入浴サービス、水運びの順である。精神的な支えと金銭援助が全体で 3 割を超えていることに注目したい。また、金銭援助に関しては 40 歳代前半の人にとってとくに役にたったようである。精神的支えに関しては 25-34 歳、35-39 歳と比較的若い層がその効果を感じており、反対に、40 歳代以上の人は入浴サービスの数値が高い。家屋の損壊状況別に見ると、全壊家屋では精神的な支えをあげる人が、他の損壊状況よりも多い。

なお、以上の問 16～18 の選択肢のなかに、食器の給付を入れなかったのは、いまから思

えば失敗であった。多くの家々で食器棚が倒れ、また、倒れなくても中の食器が飛び出して、ほとんどのものが使えなくなったというケースが少なくない。都市生活生協でも食器のバザー（陶器市）を3月2日と7月15日の2回行い、盛況だったという。あまりにも当然のことであるのに、選択肢の欠如には気づかなかった。

◇都市生活生協の救援

さて、震災後比較的早い時期に都市生活生協の行った組合員向けの救援活動には、無償提供と低価格販売がある。

無償提供ではタオル、その他の生活用品、ポリタンク、生理用品、下着、シーツの順に受けとった人が多いが、タオルについては、役だったとしている人が、受けとった人の約3.5割である。それに比べて、ポリタンクは受けとった人の約9割が役だったとしている。

低価格販売については、まず、消費財の購入では実回答者数が148人と少なかった。すなわち、あまり購入されていないということである。食料品の購入に関しては実回答者数が344人と、消費財に比べると多く、食料の方がよく利用されていたことがわかる。牛乳、野菜、卵の需要が多く、また、缶飲料が107人（31.3%）と思いのほか多かった。

組合員だけでなく一般の人々をも対象とした救援活動のなかで、組合員に認知されていた活動は、即売供給、炊き出しなどが多い。「あいたくて都市生活」などのイベントも150人から270人程度の人々に認知されていたことがわかる。その一方で引っ越しの手伝い、家財・荷物の出し入れ、リフレッシュ・ステイなどは認知度が低い。

それらの救援活動を利用・参加したかどうかに関しては、全般に少なく、即売供給だけが多くの利用者があった。そもそも救援活動は組合員だけを対象としたものではないので、避難所、テント暮らしをしている人には非組合員も含めて利用度の高いものもあったと考える。

しかし、引っ越しの手伝いや家財・荷物の出し入れなどに関するこの認知度の低さは、いくつかのことを問題提起してくれる。まず、認知されていたら組合員だけでなく幅広い人々に利用されていた可能性がある。そして、さらに、認知されていればもっと多くの組合員がその活動を担ってくれた可能性がある。組合員以外の人々もその情報を聞いて活動に参加したかもしれない。

すでに述べたが、都市生活生協の理事会では震災後に一度「都市生活救援復興活動のためのカード」というアンケートを配付している。それはどんな救援活動だったら参加できるのかを組合員に尋ねたものであった。回答者は 383 人とあまり多くはなかったが、青空市や炊き出しへの参加、洗濯、ホームヘルパー、話し相手、家財運搬などの活動への希望が寄せられている。つまり、救援活動に意欲を持つ人はいた。しかし、結局はそのカードの結果をうまく生かすことができなかった。支部を中心に、それぞれの地域で可能な活動に取り組もうというときに、そのアンケートに答えてくれた人に呼びかけよる方式をとったそうだが、取り組む時期が遅かったりして、充分にカードを利用できなかった。アンケートに答えた人びとにすれば、何かすぐにでもしたい、できることがあれば少しでも手伝いたいと思って、記入したはずである。カードを提出して待っていたが、何も言ってこないので、他のグループの救援活動に出たという人もいる。今回のアンケートで、救援する側として活動した経験がある場合、何に参加したのかを尋ねた問いでは、炊き出し、水運び、家財の運び出し、家屋の片づけ、引っ越しの手伝い、生活情報の提供などがあがっている（実回答者数 194 人）。すなわち、きっかけさえあれば、都市生活生協の名の元にもっと多くの人びとが活動できたはずである。つまり、現地救援本部がもっとコーディネーターの機能を働かせば、いくらでも力を発揮する人はいたと思えるのである。

では、なぜ、それができなかったのか。

都市生活生協自体も被災し混乱していたなかで、日常業務の再開だけでもあわただしい。それに加えての救援活動はかなりのエネルギーを必要としたであろう。だからこそ、現地

救援本部という、外からの人びとを中心とする、生協とは別組織の外援部隊ができたといえる。しかし、救援活動は外部の人たちだけではうまく回転しない。土地柄をよく知っている地元の人が動いて初めて有効な結果を期待できる。そうやって多くの被災した人びと自身が危機を脱しようとする、火事場の馬鹿力ともいえるようなエネルギーを発揮したからこそ、あの混乱状況を乗り越えることができた。生協は企業ではない。したがって組織といっても命令一下では人びとは動かない。対面関係のあるところから人を少しづつ集め、動きを造っていかなければならない。組織としての系統だった動きと、個人的関係を通じてのやりとりが合わさって、はじめて大きな力が生まれる。たとえば、被災者との個別のコンタクトが必要な引っ越しの手伝いや洗濯代行などの活動は、救援を望む人びとと救援のできる人びととの間をとりもって、うまく人員を割り振ることが必要になってくる。多くの人びとが被害を受けていて、救援を望む人はどこにでも存在するのだから、まずはそのような救援活動ができる人びとを把握する必要がある。そのためには、都市生活生協の組合員の状況を良く知っている人、土地勘のある人が、最初からそういった人員の掘り起こしや割り掘り業務に張り付く必要が出てくる。つまり、現地救援本部には、現地のことや現場の状況に精通した被災者自身が必要である。そういう人が初期の段階から詰めていれば、「カード」に寄せられた希望も生かせたのではないだろうか。

◇生活情報の入手

生活情報の入手については、役だったとされるのが給水情報、お風呂情報、鉄道運行情報、道路情報である。不足していた情報は、特にないという人も多いが、給水情報、ゴミ回収情報である。給水情報は、441 人の人にとっては役だってはいたが、その約 3 割にあたる 145 人の人には不足していたという。ゴミに関しても、役だったとする 251 人の半数にあたる 127 人が情報不足だったとしている。ゴミ回収情報は給水情報に比べて情報自体

が少なかったといえよう。

こういった情報をどのような方法で入手していたかというと、やはり新聞とテレビが多い。電気は、街自体が火災などで壊滅的打撃を受けたところ以外は、だいたい3〜4日で回復している。したがって、テレビは新聞とならんで重要な情報源になったようだ。知人・友人からの情報も多く、行政の出す新聞・ビラ、ラジオを上まわっている。災害時の口コミは、デマを生むというマイナス面もあるが、大きな情報媒体ではとりあげられない地域固有のキメ細かな情報を提供してくれる。今回、「都市生活生協のチラシ類」「都市生活生協の専従職員や運営委員」は、情報源としてはほとんど機能していないが、組合員にもう少し情報を認識されるような形で流すことができれば、あとは口コミにのって広がっていったであろう。とくに、40歳代後半の人びとの口コミには期待できるものが大きい。

現在困っていることに関しては、特になしが多い。家屋の損壊別に見ると家屋全壊の者では家族員のストレスと、体調の悪化が、家屋半壊の者の2倍以上もある。その反面、家屋全壊でも困っていることが得にない人が22%いるが、これはたんに経済的裕福層が回答者に少なからずいるというだけではなく、命が助かったことによる安堵感の方が困難に勝っている場合もあると解釈した。

◇復興への関心

震災復興に関する関心については、アスベスト・フロンなどの環境問題を選択した人が非常に多い。とくに、40歳代前半までの人々にとって興味の対象となっている。ボランティア活動については40歳代後半の人々の関心が高い。また、家屋が全壊した人は、近隣の人たちとの連帯関係についても他の損壊状況の人々より高い数値を示している。隣同士の協力が日常生活の一つの基本であるという、古くて新しい命題に巡り会ったと言えよう。その隣同士の協力に加えて、生協などのインフォーマルグループの協力がいくつか重なれ

ば、災害に対して人びとはもっと強く立ち向かうことができるかもしれない。

◇安否確認を通して

では、生協というインフォーマルグループに属する人びとのつながりの強さとはどのようなものであったのだろうか。安否確認の問いは、都市生活生協の日常活動が組合員の生活の場である地域のなかでどの程度の強さの紐帯を形作っていたのかを探る手がかりとして設問された。震災後の初期の段階（このアンケートでは3日間）で自分たちの安否を報告したり、確認を受けたりした人のなかに、都市生活生協の組合員が含まれていたかを尋ねた。なぜ3日間に区切ったかというと、時がたつにつれてばったりと出会う人の数が多くなり、偶発的な安否確認が増えていったという事実があるからである。偶発的な安否確認か、あるいは自発的な安否確認かは生活者にとって区別しにくい。したがって、ごく初期の段階での安否確認について設問することになった。

また、安否の報告を自ら行った相手を聞く質問と、安否確認を受けた相手を聞く質問を行ったが、組合員の紐帯の強さについては、自ら報告を行ったことに関する結果の方が見やすい。すなわち、自分から報告しようとして行動を起こしたときは「報告した」ことを認識できるが、安否報告を受けるときはその行為が確認の行為として認識されないことがあるためである。

安否を報告した相手は、やはり、別居中の子どもや兄弟姉妹が9割弱と、俄然多い。次に親戚、近隣、近隣以外の知人・友人と続き、その3つとも50%台で大差はない。これは地区別に見てもほとんど同様の傾向を見せている。その安否を報告したという人のなかには、半数を少し越える都市生活生協の組合員が含まれている。同一の地域と思われる「同じ班の人」が半数弱、「他の班の人」が1割弱である。しかも、安否を報告した近隣の人394人のうち、同じ班の組合員が334人いることに注目したい。すなわち、組合員以外の

近所の人にのみ安否を報告したという人は、非常に少ないということである。全体の約半数の人にとっては、都市生活生協を通してのつきあいが、すぐに安否を報告しようとするほどの重要性をもったものであったと考えられ、住まいの距離が近いだけの関係だから安否を確認しているのではないといえる。ときには、すでに他の場所で成立していた人間関係が都市生活生協という場に移行したり、あるいは都市生活生協にも適用されたという場合もあるだろう。しかし、その関係を持続させているのはこの生協の力なのかもしれない。ここでは、毎週の配送が、ただたんに、注文用紙や物品の授受、分配だけでなく、それ以上の人間関係を生み出している可能性があると言えそうだ。

また、震災後10日間ぐらいの間に都市生活生協の職員などによる安否確認を受けたかどうかについては、108 人の人が職員、運営委員から確認を受けたとしている。都市生活生協では、まず運営委員に連絡し、運営委員から班長に連絡をとるように指示した。なかでも、西宮支部は比較的早い時期に支部長を中心に組織的に動いたという。確かに、地域別の結果からは西宮市が76人と約7割を占めている。連絡をとろうとしても、自宅にいない場合も多かったであろうから、連絡は難しく、しかも、被災している職員や役員の手で安否確認をするのであるからたいへんである。それでもなおかつ言えることは、安否の確認というのは被災を受けた人にとってはとても大きな意味をもつ場合があるということである。安否確認を受けるたびに、自分は一人ではないと勇気づけられ、大丈夫かどうかを尋ねるたった一本の電話がその人を元気づけることを考えると、組合員の安否の確認は地域づくりを率先してゆこうとする生協には欠かせない行為である。元気のある地元の人びとの動きは外部からの救援者の何倍もの威力を発揮することを思えば、効率を無視して、職員や運営委員、支部役員などの何人かが一軒一軒組合員に電話を入れることも必要だったのかもしれない。班長からの確認と同時に、本部からの直接の確認があれば、一組合員を軽くは見ていない組織の存在を発見し、その組織に対して少なからずアイデンティティを感じる人が多く出てくるはずである。被災者を慮る行為の実行は、おのずとその組織の信

用をつくり、紐帯を強くする。そして、人びとはその組織のもとで安心して行動することができるようになる。このような行動を可能にするためには、理事、運営委員、役員、職員など、誰が最初に本部に出向いて今後の方針を決定するのか、どの分野を誰が担当するのか等の、いわゆる災害時の危機管理に関するマニュアルのようなものを日頃から準備しておくことも重要ではないだろうか。

◇自由回答から見えてくること

最後に、組合員たちからはどのような活動が望まれていたのかを考えることによって、今後を展望したい。

自由回答のなかには、都市生活生協に自分の安否を報告することを考えつかなかったというものがあった。また、都市生活生協の救援物資を運ぶトラックを見て、嬉しかったという記述が複数あった。多くの人びとは都市生活生協が救援活動を行うことをあまり期待していなかったのかもしれない。それは必要ないと思っていたのではなく、そういうことのできる組織ではないと考えていたのではないだろうか。しかし、都市生活生協の名で救援活動がおこなわれているのを見たとき、人びとを助けたいし、助けるのが自然な行為であると考えていた人たちにとって、自分の思いを実現してくれているように思えたから嬉しかったのではないだろうか。「活動のためのカード」にできることを書きつづった人、今回の調査の自由回答に何かできればと記入した人。人は、きっかけさえあれば、動こうとしていた。アスベストやフロンの環境問題に興味をもち、多いとはいえないが、ボランティア活動に興味をもっている人もいる。近隣の人たちとの連帯関係を造っていこうとする人びともいる。安否確認の結果を見れば、組合員どうしの関係は、その他の隣人よりも深い関係にある。今後の活動のベースはすでにできあがっているといえよう。

救援活動にしても、生活情報にしても、その情報をいかにうまく流すかである。ある程

度の組合員に認知されれば、情報は自然に流れていく。そして、多くの新しい情報が帰ってくる。情報を流すこと自体が、災害時の救援につながるのは言うまでもない。そして、その情報のスムーズな流れを可能にするのは、人と人との間の密度の高い関係である。

それらの関係はどうやって造っていったらよいかか。もちろん日常活動のなかからである。ただし、いままでのような物流を主体とする形では、現在以上の結びつきは期待できない。物流を中心としながらも、それを越えた“何か”の装置をもつことが必要なのではないだろうか。“何か”には「福祉」という文字が入るのかもしれない。あるいは、「環境問題へのアプローチ」かもしれない。それによって、都市生活生協が、たんなる組合員だけの生協でなく、組合員以外の人びとをも巻き込める、地域に息付いた生協となるのではないだろうか。

地域の復興とともに、都市生活生協の今後の新たな活動を期待したい。

V. 資　料

1. 調　査　票

2. アンケート集計表

1. 調　査　票

震災に関するアンケート調査

１９９５年9月

日常の生活を一瞬にして変えてしまった大震災の日から、はや７ヶ月が過ぎました。その間、人の強さ、人の弱さ、あるいは行政のたよりなさなど、日頃は見えにくいさまざまなことを経験し学んできました。

今回、それらの経験を少し冷静な目でみつめ直し、今後の生協活動や、いつどこで起こるかもしれない災害の救援に役立てようと、都市生活生協では組合員の方々を対象に震災に関してのアンケート調査を行うことに致しました。調査は激震地の西宮市，芦屋市、神戸市東灘区、灘区、中央区の方々を対象としました。また、この調査にあたっては、龍谷大学の中川ユリ子、丸岡律子両講師に依頼しました。

本調査の目的は、刻々と必要性が変化する救援の内容を把握し、行われた活動の適切さを問い直し、今後の課題を明らかにすること、そして、生協活動がどのように地域に根ざしているのかを知ることです。結果を今後の生協活動の指針にしたいと思います。

なお、本調査に寄せられた個人的な名前や回答内容が公表されることは決してありませんので、ご安心ください。ぜひご協力をお願い致します。

この調査に対するお問い合わせは、都市生活生協本部
（０７８－９０４－３３８１）角田へお願いします。

回収

回収の締め切りは１週間後の

９月１９日（火）から２５日（月）

の週です。忘れずに配達便で提出してください。

家族構成について

1．このアンケートを記入するあなたのことについて教えてください。

①あなたの居住地はどこですか。＿＿＿＿市＿＿＿＿区＿＿＿＿町

②あなたの所属する生協の班の名称は何ですか。＿＿＿＿＿＿＿＿・

③あなたの年齢は？　＿＿＿＿＿＿歳

④あなたの性別は？　　1．男　　2．女

2．あなたの家族構成（同居している方で、あなた自身を含みます）を、震災時について教えてください。また、そのなかで震災の影響で現在別居している方があれば教えてください。

①同居しているご家族は、震災時には何人でしたか・・・・・・・・＿＿＿人

そのうち、震災の影響で、現在別居している方は何人ですか・・＿＿＿人

②同居家族のうち、６５歳以上の方は、震災時には何人でしたか・・＿＿＿人

そのうち、震災の影響で、現在別居している方は何人ですか・・＿＿＿人

③同居家族のうち、乳幼児は、震災時には何人でしたか・・・・・・＿＿＿人

そのうち、震災の影響で、現在別居している方は何人ですか・・＿＿＿人

④同居家族のうち、小・中・高校生は、震災時には何人でしたか・・＿＿＿人

そのうち、震災の影響で、現在別居している方は何人ですか・・＿＿＿人

家屋について

3．震災当時あなたが住んでいた家屋の損壊状況をお聞かせください。市・区役所から出ている、り災証明に準じてください。

1.全壊　2.半壊　3.一部損壊　4.損壊なし（り災証明なし）

4．震災当時あなたが住んでいた家屋の現在の状況をお聞かせください。

1.取りこわし完了（取りこわし中・取りこわしを計画中を含む）
　　→下の問４－１にもお答えください。

2.補修完了（補修中・補修を計画中を含む）

3.補修はしない

4.調査中等で方針がたたない

5.不明（例えば、以前の借家のことはわからない、など）

4－1．取りこわし完了・取りこわし中・計画中の場合、再建計画はありますか。

1.再建済み、または再建中である

2.再建計画はあるが、まだ実施していない

3.再建計画はない

住居について

5．1月17日の夜は、あなたご自身は、どこで過ごしましたか。

1.震災以前から住んでいた自宅　2.避難所
3.公園など（野宿）　4.居住市区内の知人や親戚の家
5.居住市区外の知人や親戚の家　6.自家用車の中
7.自設テント　8.勤務先企業等の提供した住居
9.自費出費によるホテル・旅館　10.その他（　　）

6．1週間後の1月24日ごろは、あなたご自身は、どこにいましたか。

1.震災以前から住んでいた自宅　2.震災後に借入・購入した自宅
3.避難所やテント村　4.居住市区内の知人や親戚の家
5.居住市区外の知人や親戚の家　6.自家用車の中
7.自設テント　8.勤務先企業等の提供した住居
9.自費出費によるホテル・旅館　10.その他（　　）

７．１ヶ月後の２月１７日ごろは、あなたご自身は、どこにいましたか。

1.震災以前から住んでいた自宅　2.震災後に借入・購入した自宅
3.避難所やテント村　4.居住市区内の知人や親戚の家
5.居住市区外の知人や親戚の家　6.自家用車の中
7.自設テント　8.勤務先企業等の提供した住居
9.自費出費によるホテル・旅館　10.その他（　　）

８．２ヶ月後の３月１７日ごろは、あなたご自身は、どこにいましたか。

1.震災以前から住んでいた自宅　2.震災後に借入・購入した自宅
3.仮設住宅　4.避難所やテント村
5.居住市区内の知人や親戚の家　6.居住市区外の知人や親戚の家
7.自家用車の中　8.自設テント
9.勤務先企業等の提供した住居　10.自費出費によるホテル・旅館
11.その他（　　）

９．３ヶ月後の４月１７日ごろは、あなたご自身は、どこにいましたか。

1.震災以前から住んでいた自宅　2.震災後に借入・購入した自宅
3.仮設住宅　4.避難所やテント村
5.居住市区内の知人や親戚の家　6.居住市区外の知人や親戚の家
7.自家用車の中　8.自設テント
9.勤務先企業等の提供した住居　10.自費出費によるホテル・旅館
11.その他（　　）

１０．６ヶ月後の７月１７日ごろは、あなたご自身は、どこにいましたか。

1.震災以前から住んでいた自宅　2.震災後に借入・購入した自宅
3.仮設住宅　4.避難所やテント村
5.居住市区内の知人や親戚の家　6.居住市区外の知人や親戚の家
7.自設テント　8.勤務先企業等の提供した住居
9.自費出費によるホテル・旅館　10.その他（　　）

安否確認について

１１．あなたご自身は、震災後３日間に、誰に自分の安否を報告しましたか。該当する人すべてに○をつけてください。

1.別居している親・子供・きょうだい　2.親戚
3.近隣の人　4.近隣以外の知人・友人
5.自分および家族の職場の人　6.子供の学校の先生など
7.その他（　　）

１２．震災後３日間に自分の安否を報告した人のなかに、都市生活生協の組合員がいますか。それはどの人ですか。

1.いる→［それはどの人ですか
1.同じ班の人　2.他の班の人］
2.いない

１３．あなたご自身は、震災後３日間に、誰から安否確認を受けましたか。該当する人すべてに○をつけてください。

1.別居している親・子供・きょうだい　2.親戚
3.近隣の人　4.近隣以外の知人・友人
5.自分および家族の職場の人　6.子供の学校の先生など
7.その他（　　）

１４．震災後３日間に自分が安否確認を受けた人のなかに、都市生活生協の組合員がいますか。それはどの人ですか。

1.いる→［それはどの人ですか
1.同じ班の人　2.他の班の人］
2.いない

１５．あなたご自身は、震災後１０日ぐらいの間に都市生活生協の職員や運営委員などから安否の確認を受けましたか。

1.職員から確認を受けた　2.運営委員などから確認を受けた
3.職員と運営委員とから確認を受けた　4.確認は受けなかった

救援・援助について

１６．震災後、あなたやあなたの家族が近隣の人、親戚、知人・友人などから個人的に受けた援助でどのようなものが役に立ちましたか。３つまで選んでください。

1.食料・飲料のさしいれ　2.燃料のさしいれ　3.医薬品のさしいれ
4.衣料のさしいれ　5.金銭援助　6.入浴サービス
7.家事の手伝い　8.水運び　9.屋内の片付け
10.片付けや水運び以外の力仕事　11.精神的な支え
12.その他（　　）　13.何も受けていない

１７．震災以来、さまざまな民間団体や行政および都市生活生協が救援活動を行ってきましたが、あなたはそれらを利用されましたか。１週間後、３ヶ月後ごろまで、３ヶ月後よりあとについて、利用されたものすべてに○印をつけてください。

	１週間後の１月２４日ごろまで	３ヶ月後の４月１７日ごろまで	３ヶ月後の４月１７日ごろよりあと
1.炊き出し・食料配給			
2.下着など衣料の給付			
3.衛生用品の給付			
4.医薬品の給付			
5.見舞金・義援金			
6.入浴サービス			
7.家事の手伝い			
8.水運び			
9.家財・荷物の運び出しや運搬			
10.引越しの手伝い			
11.屋内の片付け			
12.ガレキの片付け			
13.家屋の応急処置			
14.保育・介護・話し相手・遊び相手			
15.建築士の建物診断・助言			
16.医者・看護婦の巡回訪問			
17.理容・美容師のサービス			
18.カウンセリング			
19.生活情報の提供			
20.音楽会などのイベント			
21.その他			

１８．利用した救援活動の中で、とくに助かったものは何でしょうか。３つまで○印を付けてください。

1.炊き出し・食料配給　　2.下着など衣料の給付
3.衛生用品の給付　　4.医療品の給付
5.見舞金・義援金　　6.入浴サービス
7.家事の手伝い　　8.水運び
9.家財・荷物の運び出しや運搬　　10.引越しの手伝い
11.屋内の片付け　　12.ガレキの片付け
13.家屋の応急処置　　14.保育・介護・話し相手・遊び相手
15.建築士の建物診断・助言　　16.医者・看護婦の巡回訪問
17.理容・美容師のサービス　　18.カウンセリング
19.生活情報の提供　　20.音楽会などのイベント
21.その他（　　）

都市生活生協の救援活動について

震災後、都市生活生協では、組合員の被災に対応したいくつかの活動を行ってきました。以下問１９から問２１まで、それらの活動についておたずねします。

１９．都市生活生協では以下の物品を無償提供しました。その中で、あなたが受け取ったものすべてに○印をつけてください。

1.タオル　　2.シーツ　　3.下着　　4.紙おむつ
5.生理用品　　6.ポリタンク　　7.その他の生活用品

２０．上記のもののうち、とくに役立ったものは何ですか。３つまで○印をつけてください。

1.タオル　　2.シーツ　　3.下着　　4.紙おむつ
5.生理用品　　6.ポリタンク　　7.その他の生活用品

２１．都市生活生協では、緊急対応として以下の消費材を低価格で供給しました。その中で、あなたが購入したものすべてに○印をつけてください。

1.ポリタンク　　2.カセットコンロ　　3.ガスボンベ
4.乾電池　　5.マスク　　6.食料品用ラップ
7.紙皿　　8.紙コップ　　9.ウエットティッシュ

２２．都市生活生協では、緊急対応として以下の食料品を低価格で供給しました。その中で、あなたが購入したものすべてに○印をつけてください。

1.飲料水　2.コメ　3.パン
4.牛乳　5.卵　6.野菜
7.りんご　8.缶飲料　9.もち　10.その他

２３．都市生活生協では、震災以来、以下の活動を行いました。あなたは、その当時それらをご存じでしたか。ご存じだったものすべてに○印をつけてください。

1.即売供給（注文を取らずにトラックで供給品を即売、２月中旬まで）
2.炊き出し（６月１５日まで）　3.引越しの手伝い
4.家財・荷物の出し入れ
5.リフレッシュ ステイ（生産地の訪問）
6.イベント「あいたくて都市生活」（３月１４日）
7.イベント「神戸わんぱくまつり」（５月１４日）
8.生活用品リサイクル リレー（７月より）

２４．都市生活生協では、震災以来、以下の活動を行いました。あなたは、それらを利用しましたか。あるいはそれらに参加しましたか。利用または参加したものすべてに○印をつけてください。

1.即売供給（注文を取らずにトラックで供給品を即売、２月中旬まで）
2.炊き出し（６月１５日まで）　3.引越しの手伝い
4.家財・荷物の出し入れ
5.リフレッシュ ステイ（生産地の訪問）
6.イベント「あいたくて都市生活」（３月１４日）
7.イベント「神戸わんぱくまつり」（５月１４日）
8.生活用品リサイクル リレー（７月より）

２５．あなたご自身は以下の救援活動の中で、救援する側として活動に参加したものがありますか。参加したものすべてに○印を付けてください。

1.炊き出し　2.入浴サービス
3.家事の手伝い　4.水運び
5.家財・荷物の運び出しや運搬　6.引越しの手伝い
7.屋内の片付け　8.ガレキの片付け
9.家屋の応急処置　10.保育・介護・話し相手・遊び相手
11.建築士の建物診断・助言　12.医者・看護婦の巡回訪問
13.理容・美容師のサービス　14.カウンセリング
15.生活情報の提供　16.音楽会などのイベント
17.その他（　　）

生活情報について

２６．被災地では様々な生活情報が必要です。あなたは震災後、どのような生活情報が役に立ちましたか。役に立ったものすべてに○印をつけてください。

1.炊き出し情報　2.知人の安否情報　3.給水情報
4.食料品店情報　5.自転車・バイク情報　6.お風呂情報
7.ゴミ回収状況　8.貸倉庫情報　9.路線バス運行情報
10.鉄道運行情報　11.道路情報　12.保育所の状況
13.病院リスト　14.避難所リスト
15.行政手続情報（り災証明書･義援金関係）
16.借家情報　17.仮設住宅関連情報　18.保険金関係情報
19.法律相談情報　20.その他（　　）
21.特になし

２７．上記の生活情報を、あなたはどのようにして入手しましたか。該当するものすべてに○印をつけてください。

1.ラジオ　2.テレビ
3.新聞　4.パソコンネットワーク
5.行政の出す新聞・ビラなど　6.避難所などの掲示板
7.駅・街頭の貼り紙　8.知人・友人より
9.都市生活生協のチラシ類
10.都市生活生協の専従職員や運営委員など
11.ボランティアグループの出す情報紙
12.その他（　　）
13.特になし

２８．不足していたのは、どのような情報でしたか。

1.炊き出し情報　2.知人の安否情報　3.給水情報
4.食料品店情報　5.自転車・バイク情報　6.お風呂情報
7.ゴミ回収状況　8.貸倉庫情報　9.路線バス運行情報
10.鉄道運行情報　11.道路情報　12.保育所の状況
13.病院リスト　14.避難所リスト
15.行政手続情報（り災証明書･義援金関係）
16.借家情報　17.仮設住宅関連情報　18.保険金関係情報
19.法律相談情報　20.その他（　　）
21.特になし

今後のことについて

２９．地震の日から７ヶ月経った現在、あなたは何に困っていますか。２つまで○印をつけてください。

1.住居に関する経済的なこと　　2.居住場所が定まらないこと
3.住居の補修などの技術的なこと　　4.仕事が不安定になったこと
5.家族が分かれて住んでいること　　6.家族員の精神的ストレス
7.家族員の体調の悪化　　8.その他（　　）
9.特になし

３０．町づくりや生活再建など震災復興に関して、あなたは何に関心を持っていますか。２つまで○印をつけてください。

1.地域の震災復興計画の青写真
2.都市計画決定への市民参加
3.都市計画のなかでの自分の家やその周辺の変化
4.近隣の人達と連帯関係を深めること
5.さまざまなボランティア活動への参加
6.アスベスト飛散やフロンガス拡散などの環境問題
7.その他（　　）
8.特にない

３１．都市生活生協に関して、被災者救援活動、地域復興活動、あるいは生協の事業や運営について、ご意見があれば、ご自由にお書きください。

ご協力ありがとうございました。
なお、このアンケート調査をより深めるために、聞き取り調査を計画しています。１－２時間のインタビューにご協力いただける方は、お名前とお電話番号をお教えください。

ご氏名（　　）　お電話番号（　　）

2．アンケート集計表

1.ここにはアンケートの全項目について、単純集計と地域別、年齢別、および住居の損壊程度別のクロス集計表を掲載している。ただし、住居の損壊別集計については損壊程度不明の２名を除外したため、各回答項目の合計が単純集計の合計と一致しないことがある。
2.いずれの項目も、回答者実数を上段に、その割合（%）を下段に示した。割合は、選択肢を一項目だけ選ぶ単数回答の設問の場合は無回答者を除く回答総数に対する割合を、複数回答の設問の場合は選択肢を１項目以上選んだ実回答者数に対する割合を示した。
3.設問、選択肢ともに省略形で示している。実際の質問や選択肢は資料１のアンケート調査票を参照のこと。

	総計	地域別					年齢別					住居の損壊程度別			
		西宮市	芦屋市	神戸市東灘区	神戸市灘区	神戸市中央区	25-34歳	35-39歳	40-44歳	45-49歳	50歳以上	全壊	半壊	一部損壊	損壊なし
総計	733	437	62	112	65	57	105	178	203	141	106	55	142	406	128
	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
家族構成について															
1．記入者の属性															
①居住地（省略）															
②所属班（省略）															
③年齢															
1.25-29歳	16	14	0	0	1	1	16					0	2	8	6
	2.2	3.2	0.0	0.0	1.5	1.8	15.2					0.0	1.4	2.0	4.7
2.30-34歳	89	64	5	10	5	5	89					0	9	62	18
	12.1	14.6	8.1	8.9	7.7	8.8	84.8					0.0	6.3	15.3	14.1
3.35-39歳	178	92	15	28	23	20		178				9	36	99	34
	24.3	21.1	24.2	25.0	35.4	35.1		100.0				16.4	25.4	24.4	26.6
4.40-44歳	203	114	27	26	22	14			203			16	42	111	33
	27.7	26.1	43.5	23.2	33.8	24.6			100.0			29.1	29.6	27.3	25.8
5.45-49歳	141	72	13	34	10	12				141		18	28	71	23
	19.2	16.5	21.0	30.4	15.4	21.1				100.0		32.7	19.7	17.5	18.0
6.50-54歳	35	22	1	6	3	3					35	2	6	23	4
	4.8	5.0	1.6	5.4	4.6	5.3					33.0	3.6	4.2	5.7	3.1
7.55-59歳	27	19	1	6	1	0					27	0	7	18	2
	3.7	4.3	1.6	5.4	1.5	0.0					25.5	0.0	4.9	4.4	1.6
8.60-64歳	23	20	0	2	0	1					23	5	5	10	3
	3.1	4.6	0.0	1.8	0.0	1.8					21.7	9.1	3.5	2.5	2.3
9.65-69歳	9	8	0	0	0	1					9	1	3	3	2
	1.2	1.8	0.0	0.0	0.0	1.8					8.5	1.8	2.1	0.7	1.6
10.70歳-	12	12	0	0	0	0					12	4	4	1	3
	1.6	2.7	0.0	0.0	0.0	0.0					11.3	7.3	2.8	0.2	2.3
④性別															
1.男	10	7	0	1	2	0	3	1	1	2	3	0	1	6	3
	1.4	1.6	0.0	0.9	3.1	0.0	2.9	0.6	0.5	1.4	2.8	0.0	0.7	1.5	2.3
2.女	723	430	62	111	63	57	102	177	202	139	103	55	141	400	125
	98.6	98.4	100.0	99.1	96.9	100.0	97.1	99.4	99.5	98.6	97.2	100.0	99.3	98.5	97.7
2．家族構成（同居している者、本人を含む）															
①-1.震災時の同居家族人数															
1.1人	2	2	0	0	0	0	1	0	0	0	1	1	0	0	1
	0.3	0.5	0.0	0.0	0.0	0.0	1.0	0.0	0.0	0.0	0.9	1.8	0.0	0.0	0.8
2.2人	58	45	0	8	3	2	8	0	2	6	42	7	13	26	12
	7.9	10.3	0.0	7.1	4.6	3.5	7.6	0.0	1.0	4.3	39.6	12.7	9.2	6.4	9.4
3.3人	157	88	12	29	14	14	35	30	31	30	31	7	33	87	29
	21.4	20.1	19.4	25.9	21.5	24.6	33.3	16.9	15.3	21.3	29.2	12.7	23.2	21.4	22.7
4.4人	315	177	34	46	28	30	40	90	102	62	21	13	67	175	60
	43.0	40.5	54.8	41.1	43.1	52.6	38.1	50.6	50.2	44.0	19.8	23.6	47.2	43.1	46.9
5.5人	144	94	13	20	8	9	17	39	49	31	8	15	18	89	21
	19.6	21.5	21.0	17.9	12.3	15.8	16.2	21.9	24.1	22.0	7.5	27.3	12.7	21.9	16.4
6.6人以上	57	32	3	8	12	2	4	19	19	12	3	12	11	29	5
	7.8	7.3	4.8	7.1	18.5	3.5	3.8	10.7	9.4	8.5	2.8	21.8	7.7	7.1	3.9
①-2.そのうち、震災の影響による別居者															
1.なし	718	426	62	109	64	57	103	177	201	134	103	48	139	401	128
	98.0	97.5	100.0	97.3	98.5	100.0	98.1	99.4	99.0	95.0	97.2	87.3	97.9	98.8	100.0
2.1人	10	8	0	2	0	0	1	0	1	6	2	5	1	4	0
	1.4	1.8	0.0	1.8	0.0	0.0	1.0	0.0	0.5	4.3	1.9	9.1	0.7	1.0	0.0
3.2人	4	2	0	1	1	0	1	1	0	1	1	1	2	1	0
	0.5	0.5	0.0	0.9	1.5	0.0	1.0	0.6	0.0	0.7	0.9	1.8	1.4	0.2	0.0
4.3人	1	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0
	0.1	0.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.5	0.0	0.0	1.8	0.0	0.0	0.0
②-1.震災時の６５歳以上同居家族人数															
1.なし	628	364	62	99	50	53	101	161	178	124	64	32	120	362	112
	85.7	83.3	100.0	88.4	76.9	93.0	96.2	90.4	87.7	87.9	60.4	58.2	84.5	89.2	87.5
2.1人	62	45	0	10	6	1	4	7	16	8	27	13	15	26	8
	8.5	10.3	0.0	8.9	9.2	1.8	3.8	3.9	7.9	5.7	25.5	23.6	10.6	6.4	6.3
3.2人	39	26	0	2	8	3	0	8	8	9	14	9	7	15	8
	5.3	5.9	0.0	1.8	12.3	5.3	0.0	4.5	3.9	6.4	13.2	16.4	4.9	3.7	6.3
4.3人	4	2	0	1	1	0	0	2	1	0	1	1	0	3	0

	総計	地域別					年齢別					住居の損壊程度別			
		西宮市	芦屋市	神戸市東灘区	神戸市灘区	神戸市中央区	25-34歳	35-39歳	40-44歳	45-49歳	50歳以上	全壊	半壊	一部損壊	損壊なし
	0.5	*0.5*	*0.0*	*0.9*	*1.5*	*0.0*	*0.0*	*1.1*	*0.5*	*0.0*	*0.9*	*1.8*	*0.0*	*0.7*	*0.0*
②-2.そのうち、震災の影響による別居者															
1.なし	728	434	62	111	64	57	105	177	202	138	106	51	141	406	128
	99.3	*99.3*	*100.0*	*99.1*	*98.5*	*100.0*	*100.0*	*99.4*	*99.5*	*97.9*	*100.0*	*92.7*	*99.3*	*100.0*	*100.0*
2.１人以上	5	3	0	1	1	0	0	1	1	3	0	4	1	0	0
	0.7	*0.7*	*0.0*	*0.9*	*1.5*	*0.0*	*0.0*	*0.6*	*0.5*	*2.1*	*0.0*	*7.3*	*0.7*	*0.0*	*0.0*
③-1.震災時の乳幼児数															
1.なし	526	310	40	86	50	40	22	95	166	137	106	51	110	280	84
	71.8	*70.9*	*64.5*	*76.8*	*76.9*	*70.2*	*21.0*	*53.4*	*81.8*	*97.2*	*100.0*	*92.7*	*77.5*	*69.0*	*65.6*
2.１人	151	87	18	20	11	15	55	62	31	3	0	4	29	85	32
	20.6	*19.9*	*29.0*	*17.9*	*16.9*	*26.3*	*52.4*	*34.8*	*15.3*	*2.1*	*0.0*	*7.3*	*20.4*	*20.9*	*25.0*
3.２人	51	36	4	5	4	2	24	20	6	1	0	0	2	38	11
	7.0	*8.2*	*6.5*	*4.5*	*6.2*	*3.5*	*22.9*	*11.2*	*3.0*	*0.7*	*0.0*	*0.0*	*1.4*	*9.4*	*8.6*
4.３人	5	4	0	1	0	0	4	1	0	0	0	0	1	3	1
	0.7	*0.9*	*0.0*	*0.9*	*0.0*	*0.0*	*3.8*	*0.6*	*0.0*	*0.0*	*0.0*	*0.0*	*0.7*	*0.7*	*0.8*
③-2.そのうち、震災の影響による別居者															
1.なし	733	437	62	112	65	57	105	178	203	141	106	55	142	406	128
	100.0	*100.0*	*100.0*	*100.0*	*100.0*	*100.0*	*100.0*	*100.0*	*100.0*	*100.0*	*100.0*	*100.0*	*100.0*	*100.0*	*100.0*
④-1.震災時の小・中・高校生人数															
1.なし	230	165	10	32	10	13	67	27	16	25	95	14	46	127	43
	31.4	*37.8*	*16.1*	*28.6*	*15.4*	*22.8*	*63.8*	*15.2*	*7.9*	*17.7*	*89.6*	*25.5*	*32.4*	*31.3*	*33.6*
2.１人	175	90	17	27	24	17	24	59	44	40	8	9	39	96	30
	23.9	*20.6*	*27.4*	*24.1*	*36.9*	*29.8*	*22.9*	*33.1*	*21.7*	*28.4*	*7.5*	*16.4*	*27.5*	*23.6*	*23.4*
3.２人	252	141	26	37	24	24	13	72	106	60	1	20	49	135	47
	34.4	*32.3*	*41.9*	*33.0*	*36.9*	*42.1*	*12.4*	*40.4*	*52.2*	*42.6*	*0.9*	*36.4*	*34.5*	*33.3*	*36.7*
4.３人以上	76	41	9	16	7	3	1	20	37	16	2	12	8	48	8
	10.4	*9.4*	*14.5*	*14.3*	*10.8*	*5.3*	*1.0*	*11.2*	*18.2*	*11.3*	*1.9*	*21.8*	*5.6*	*11.8*	*6.3*
④-2.そのうち、震災の影響による別居者															
1.なし	732	436	62	112	65	57	105	178	202	141	106	55	142	405	128
	99.9	*99.8*	*100.0*	*100.0*	*100.0*	*100.0*	*100.0*	*100.0*	*99.5*	*100.0*	*100.0*	*100.0*	*100.0*	*99.8*	*100.0*
2.１人	1	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0
	0.1	*0.2*	*0.0*	*0.0*	*0.0*	*0.0*	*0.0*	*0.0*	*0.5*	*0.0*	*0.0*	*0.0*	*0.0*	*0.2*	*0.0*
家屋について															
３．家屋の損壊状況（市・区役所のり災証明に準じる）															
回答総数	731	436	62	112	65	56	105	178	202	140	106	55	142	406	128
	100.0	*100.0*	*100.0*	*100.0*	*100.0*	*100.0*	*100.0*	*100.0*	*100.0*	*100.0*	*100.0*	*100.0*	*100.0*	*100.0*	*100.0*
1.全壊	55	34	0	14	5	2	0	9	16	18	12	55			
	7.5	*7.8*	*0.0*	*12.5*	*7.7*	*3.6*	*0.0*	*5.1*	*7.9*	*12.9*	*11.3*	*100.0*			
2.半壊	142	69	21	25	10	17	11	36	42	28	25	0	142		
	19.4	*15.8*	*33.9*	*22.3*	*15.4*	*30.4*	*10.5*	*20.2*	*20.8*	*20.0*	*23.6*		*100.0*		
3.一部損壊	406	253	37	67	18	31	70	99	111	71	55			406	
	55.5	*58.0*	*59.7*	*59.8*	*27.7*	*55.4*	*66.7*	*55.6*	*55.0*	*50.7*	*51.9*			*100.0*	
4.損壊なし(り災証明なし)	128	80	4	6	32	6	24	34	33	23	14				128
	17.5	*18.3*	*6.5*	*5.4*	*49.2*	*10.7*	*22.9*	*19.1*	*16.3*	*16.4*	*13.2*				*100.0*
４．家屋の現在の状況															
回答総数	698	413	61	111	58	55	98	172	194	136	98	54	141	403	100
	100.0	*100.0*	*100.0*	*100.0*	*100.0*	*100.0*	*100.0*	*100.0*	*100.0*	*100.0*	*100.0*	*100.0*	*100.0*	*100.0*	*100.0*
1.取り壊し完了・途中・計画中	37	26	0	7	4	0	0	7	11	9	10	28	8	1	0
	5.3	*6.3*	*0.0*	*6.3*	*6.9*	*0.0*	*0.0*	*4.1*	*5.7*	*6.6*	*10.2*	*51.9*	*5.7*	*0.2*	*0.0*
2.補修完了・補修中・計画中	494	283	56	88	25	42	76	116	135	100	67	24	118	312	40
	70.8	*68.5*	*91.8*	*79.3*	*43.1*	*76.4*	*77.6*	*67.4*	*69.6*	*73.5*	*68.4*	*44.4*	*83.7*	*77.4*	*40.0*
3.補修はしない	136	92	3	6	26	9	18	41	43	23	11	1	3	74	58
	19.5	*22.3*	*4.9*	*5.4*	*44.8*	*16.4*	*18.4*	*23.8*	*22.2*	*16.9*	*11.2*	*1.9*	*2.1*	*18.4*	*58.0*
4.調査中等で方針がたたない	24	8	2	9	2	3	4	4	5	3	8	0	12	11	1
	3.4	*1.9*	*3.3*	*8.1*	*3.4*	*5.5*	*4.1*	*2.3*	*2.6*	*2.2*	*8.2*	*0.0*	*8.5*	*2.7*	*1.0*
5.不明	7	4	0	1	1	1	0	4	0	1	2	1	0	5	1
	1.0	*1.0*	*0.0*	*0.9*	*1.7*	*1.8*	*0.0*	*2.3*	*0.0*	*0.7*	*2.0*	*1.9*	*0.0*	*1.2*	*1.0*
４－１．取りこわし完了・取りこわし中・計画中の場合の再建計画															
回答総数	37	26	0	7	4	0	0	7	11	9	10	28	8	1	0
	100.0	*100.0*		*100.0*	*100.0*			*100.0*	*100.0*	*100.0*	*100.0*	*100.0*	*100.0*	*100.0*	
1.再建済み・再建中	11	10		0	1			1	4	1	5	9	1	1	
	29.7	*38.5*		*0.0*	*25.0*			*14.29*	*36.36*	*11.11*	*50.0*	*32.1*	*12.5*	*100.0*	

	総計	地域別					年齢別					住居の損壊程度別			
		西宮市	芦屋市	神戸市東灘区	神戸市灘区	神戸市中央区	25-34歳	35-39歳	40-44歳	45-49歳	50歳以上	全壊	半壊	一部損壊	損壊なし
2.再建計画あるが、未実施	22	14		6	2			5	6	7	4	15	7	0	
	59.5	*53.8*		*85.7*	*50.0*			*71.43*	*54.55*	*77.78*	*40.0*	*53.6*	*87.5*	*0.0*	
3.再建計画はない	4	2		1	1			1	1	1	1	4	0	0	
	10.8	*7.7*		*14.3*	*25.0*			*14.29*	*9.091*	*11.11*	*10.0*	*14.3*	*0.0*	*0.0*	
住居について															
5．1月17日夜の居場所															
回答総数	729	434	62	112	65	56	105	178	201	139	106	55	141	405	128
	100.0	*100.0*	*100.0*	*100.0*	*100.0*	*100.0*	*100.0*	*100.0*	*100.0*	*100.0*	*100.0*	*100.0*	*100.0*	*100.0*	*100.0*
1.震災以前からの自宅	563	338	53	81	50	41	82	131	153	111	86	17	89	346	111
	77.2	*77.9*	*85.5*	*72.3*	*76.9*	*73.2*	*78.1*	*73.6*	*76.1*	*79.9*	*81.1*	*30.9*	*63.1*	*85.4*	*86.7*
2.避難所	63	31	3	15	6	8	5	12	23	14	9	17	25	18	3
	8.6	*7.1*	*4.8*	*13.4*	*9.2*	*14.3*	*4.8*	*6.7*	*11.4*	*10.1*	*8.5*	*30.9*	*17.7*	*4.4*	*2.3*
3.公園など（野宿）	1	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
	0.1	*0.2*	*0.0*	*0.0*	*0.0*	*0.0*	*0.0*	*0.0*	*0.5*	*0.0*	*0.0*	*0.0*	*0.0*	*0.0*	*0.8*
4.居住市区内の知人や親戚の家	29	17	3	6	1	2	8	4	10	5	2	7	8	13	1
	4.0	*3.9*	*4.8*	*5.4*	*1.5*	*3.6*	*7.6*	*2.2*	*5.0*	*3.6*	*1.9*	*12.7*	*5.7*	*3.2*	*0.8*
5.居住市区外の知人や親戚の家	20	13	1	4	1	1	6	7	3	0	4	6	4	6	4
	2.7	*3.0*	*1.6*	*3.6*	*1.5*	*1.8*	*5.7*	*3.9*	*1.5*	*0.0*	*3.8*	*10.9*	*2.8*	*1.5*	*3.1*
6.自家用車の中	24	14	2	3	5	0	0	16	5	2	1	3	5	14	2
	3.3	*3.2*	*3.2*	*2.7*	*7.7*	*0.0*	*0.0*	*9.0*	*2.5*	*1.4*	*0.9*	*5.5*	*3.5*	*3.5*	*1.6*
7.自設テント	2	1	0	0	0	1	0	1	0	1	0	0	1	1	0
	0.3	*0.2*	*0.0*	*0.0*	*0.0*	*1.8*	*0.0*	*0.6*	*0.0*	*0.7*	*0.0*	*0.0*	*0.7*	*0.2*	*0.0*
8.勤務先企業等の提供した住居	7	7	0	0	0	0	0	4	2	1	0	0	2	3	2
	1.0	*1.6*	*0.0*	*0.0*	*0.0*	*0.0*	*0.0*	*2.2*	*1.0*	*0.7*	*0.0*	*0.0*	*1.4*	*0.7*	*1.6*
9.自費出費によるホテル・旅館	1	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
	0.1	*11.0*	*0.0*	*0.0*	*0.0*	*0.0*	*0.0*	*0.6*	*0.0*	*0.0*	*0.0*	*0.0*	*0.0*	*0.0*	*0.8*
10.その他	19	11	0	3	2	3	4	2	4	5	4	5	7	4	3
	2.6	*2.5*	*0.0*	*2.7*	*3.1*	*5.4*	*3.8*	*1.1*	*2.0*	*3.6*	*3.8*	*9.1*	*5.0*	*1.0*	*2.3*
6．1週間後の1月24日ごろの居住地															
回答総数	729	434	62	112	65	56	105	178	202	138	106	54	140	406	128
	100.0	*100.0*	*100.0*	*100.0*	*100.0*	*100.0*	*100.0*	*100.0*	*100.0*	*100.0*	*100.0*	*100.0*	*100.0*	*100.0*	*100.0*
1.震災以前からの自宅	391	248	27	42	50	24	33	70	127	91	70	14	62	237	78
	53.6	*57.1*	*43.5*	*37.5*	*76.9*	*42.9*	*31.4*	*39.3*	*62.9*	*65.9*	*66.0*	*25.9*	*44.3*	*58.4*	*60.9*
2.震災後に借入・購入した自宅	5	3	0	1	0	1	0	1	2	1	1	3	1	1	0
	0.7	*0.7*	*0.0*	*0.9*	*0.0*	*1.8*	*0.0*	*0.6*	*1.0*	*0.7*	*0.9*	*5.6*	*0.7*	*0.2*	*0.0*
3.避難所やテント村	15	8	0	3	3	1	0	5	2	4	4	8	5	2	0
	2.1	*1.8*	*0.0*	*2.7*	*4.6*	*1.8*	*0.0*	*2.8*	*1.0*	*2.9*	*3.8*	*14.8*	*3.6*	*0.5*	*0.0*
4.居住市区内の知人や親戚の家	38	22	2	10	2	2	10	8	9	8	3	9	11	15	3
	5.2	*5.1*	*3.2*	*8.9*	*3.1*	*3.6*	*9.5*	*4.5*	*4.5*	*5.8*	*2.8*	*16.7*	*7.9*	*3.7*	*2.3*
5.居住市区外の知人や親戚の家	227	127	28	44	6	22	54	80	54	19	20	16	45	127	38
	31.1	*29.3*	*45.2*	*39.3*	*9.2*	*39.3*	*51.4*	*44.9*	*26.7*	*13.8*	*18.9*	*29.6*	*32.1*	*31.3*	*29.7*
6.自家用車の中	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	0.0	*0.0*	*0.0*	*0.0*	*0.0*	*0.0*	*0.0*	*0.0*	*0.0*	*0.0*	*0.0*	*0.0*	*0.0*	*0.0*	*0.0*
7.自設テント	1	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0
	0.1	*0.0*	*0.0*	*0.0*	*1.5*	*0.0*	*0.0*	*0.6*	*0.0*	*0.0*	*0.0*	*1.9*	*0.0*	*0.0*	*0.0*
8.勤務先企業等の提供した住居	9	7	0	2	0	0	0	4	1	4	0	1	1	4	3
	1.2	*1.6*	*0.0*	*1.8*	*0.0*	*0.0*	*0.0*	*2.2*	*0.5*	*2.9*	*0.0*	*1.9*	*0.7*	*1.0*	*2.3*
9.自費出費によるホテル・旅館	9	2	3	2	0	2	0	0	5	2	2	0	3	5	1
	1.2	*2.0*	*4.8*	*1.8*	*0.0*	*3.6*	*0.0*	*0.0*	*2.5*	*1.4*	*1.9*	*0.0*	*2.1*	*1.2*	*0.8*
10.その他	34	17	2	8	3	4	8	9	2	9	6	2	12	15	5
	4.7	*3.9*	*3.2*	*7.1*	*4.6*	*7.1*	*7.6*	*5.1*	*1.0*	*6.5*	*5.7*	*3.7*	*8.6*	*3.7*	*3.9*
7．1ヶ月後の2月17日ごろの居住地															
回答総数	723	430	61	110	65	57	105	178	200	137	103	52	140	402	127
	100.0	*100.0*	*100.0*	*100.0*	*100.0*	*100.0*	*100.0*	*100.0*	*100.0*	*100.0*	*100.0*	*100.0*	*100.0*	*100.0*	*100.0*
1.震災以前からの自宅	526	329	39	68	54	36	58	111	162	115	80	19	96	310	99
	72.8	*76.5*	*63.9*	*61.8*	*83.1*	*63.2*	*55.2*	*62.4*	*81.0*	*83.9*	*77.7*	*36.5*	*68.6*	*77.1*	*78.0*
2.震災後に借入・購入した自宅	11	9	0	1	0	1	0	2	6	1	2	6	3	2	0
	1.5	*2.1*	*0.0*	*0.9*	*0.0*	*1.8*	*0.0*	*1.1*	*3.0*	*0.7*	*1.9*	*11.5*	*2.1*	*0.5*	*0.0*
3.避難所やテント村	6	1	0	1	3	1	0	3	0	2	1	5	1	0	0
	0.8	*0.2*	*0.0*	*0.9*	*4.6*	*1.8*	*0.0*	*1.7*	*0.0*	*1.5*	*1.0*	*9.6*	*0.7*	*0.0*	*0.0*
4.居住市区内の知人や親戚の家	19	10	1	6	1	1	6	5	2	4	2	4	7	6	2
	2.6	*2.3*	*1.6*	*5.5*	*1.5*	*1.8*	*5.7*	*2.8*	*1.0*	*2.9*	*1.9*	*7.7*	*5.0*	*1.5*	*1.6*

	総計	地域別					年齢別					住居の損壊程度別			
		西宮市	芦屋市	神戸市東灘区	神戸市灘区	神戸市中央区	25-34歳	35-39歳	40-44歳	45-49歳	50歳以上	全壊	半壊	一部損壊	損壊なし
5.居住市区外の知人や親戚の家	124	63	17	26	5	13	36	46	23	8	11	12	22	68	22
	17.2	*14.7*	*27.9*	*23.6*	*7.7*	*22.8*	*34.3*	*25.8*	*11.5*	*5.8*	*10.7*	*23.1*	*15.7*	*16.9*	*17.3*
6.自家用車の中	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	0.0	*0.0*	*0.0*	*0.0*	*0.0*	*0.0*	*0.0*	*0.0*	*0.0*	*0.0*	*0.0*	*0.0*	*0.0*	*0.0*	*0.0*
7.自設テント	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	0.0	*0.0*	*0.0*	*0.0*	*0.0*	*0.0*	*0.0*	*0.0*	*0.0*	*0.0*	*0.0*	*0.0*	*0.0*	*0.0*	*0.0*
8.勤務先企業等の提供した住居	11	7	2	1	0	1	1	4	4	2	0	3	1	5	2
	1.5	*1.6*	*3.3*	*0.9*	*0.0*	*1.8*	*1.0*	*2.2*	*2.0*	*1.5*	*0.0*	*5.8*	*0.7*	*1.2*	*1.6*
9.自費出費によるホテル・旅館	3	2	1	0	0	0	0	0	0	1	2	0	2	1	0
	0.4	*0.5*	*1.6*	*0.0*	*0.0*	*0.0*	*0.0*	*0.0*	*0.0*	*0.7*	*1.9*	*0.0*	*1.4*	*0.2*	*0.0*
10.その他	23	9	1	7	2	4	4	7	3	4	5	3	8	10	2
	3.2	*2.1*	*1.6*	*6.4*	*3.1*	*7.0*	*3.8*	*3.9*	*1.5*	*2.9*	*4.9*	*5.8*	*5.7*	*2.5*	*1.6*
８．２ヶ月後の３月１７日ごろの居住地															
回答総数	728	433	61	112	65	57	105	178	201	139	105	53	142	403	128
	100.0	*100.0*	*100.0*	*100.0*	*100.0*	*100.0*	*100.0*	*100.0*	*100.0*	*100.0*	*100.0*	*100.0*	*100.0*	*100.0*	*100.0*
1.震災以前からの自宅	636	381	57	92	59	47	87	151	182	126	90	20	120	376	118
	87.4	*88.0*	*93.4*	*82.1*	*90.8*	*82.5*	*82.9*	*84.8*	*90.5*	*90.6*	*85.7*	*37.7*	*84.5*	*93.3*	*92.2*
2.震災後に借入・購入した自宅	17	11	0	4	1	1	0	2	9	2	4	12	3	2	0
	2.3	*2.5*	*0.0*	*3.6*	*1.5*	*1.8*	*0.0*	*1.1*	*4.5*	*1.4*	*3.8*	*22.6*	*2.1*	*0.5*	*0.0*
3.仮設住宅	2	2	0	0	0	0	0	2	0	0	0	1	1	0	0
	0.3	*0.5*	*0.0*	*0.0*	*0.0*	*0.0*	*0.0*	*1.1*	*0.0*	*0.0*	*0.0*	*1.9*	*0.7*	*0.0*	*0.0*
4.避難所やテント村	5	1	0	1	3	0	0	3	0	1	1	4	1	0	0
	0.7	*0.2*	*0.0*	*0.9*	*4.6*	*0.0*	*0.0*	*1.7*	*0.0*	*0.7*	*1.0*	*7.5*	*0.7*	*0.0*	*0.0*
5.居住市区内の知人や親戚の家	36	20	2	7	1	6	12	10	7	2	5	6	12	14	4
	4.9	*4.6*	*3.3*	*6.3*	*1.5*	*10.5*	*11.4*	*5.6*	*3.5*	*1.4*	*4.8*	*11.3*	*8.5*	*3.5*	*3.1*
6.居住市区外の知人や親戚の家	10	6	2	2	0	0	3	4	0	2	1	3	0	5	2
	1.4	*1.4*	*3.3*	*1.8*	*0.0*	*0.0*	*2.9*	*2.2*	*0.0*	*1.4*	*1.0*	*5.7*	*0.0*	*1.2*	*1.6*
7.自家用車の中	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	0.0	*0.0*	*0.0*	*0.0*	*0.0*	*0.0*	*0.0*	*0.0*	*0.0*	*0.0*	*0.0*	*0.0*	*0.0*	*0.0*	*0.0*
8.自設テント	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	0.0	*0.0*	*0.0*	*0.0*	*0.0*	*0.0*	*0.0*	*0.0*	*0.0*	*0.0*	*0.0*	*0.0*	*0.0*	*0.0*	*0.0*
9.勤務先企業等の提供した住居	6	3	0	2	0	1	0	1	1	3	1	3	0	1	2
	0.8	*0.7*	*0.0*	*1.8*	*0.0*	*1.8*	*0.0*	*0.6*	*0.5*	*2.2*	*1.0*	*5.7*	*0.0*	*0.2*	*1.6*
10.自費出費によるホテル・旅館	1	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	1	0
	0.1	*0.0*	*0.0*	*0.0*	*0.0*	*1.8*	*0.0*	*0.6*	*0.0*	*0.0*	*0.0*	*0.0*	*0.0*	*0.2*	*0.0*
11.その他	15	9	0	4	1	1	3	4	2	3	3	4	5	4	2
	2.1	*2.1*	*0.0*	*3.6*	*1.5*	*1.8*	*2.9*	*2.2*	*1.0*	*2.2*	*2.9*	*7.5*	*3.5*	*1.0*	*1.6*
９．３ヶ月後の４月１７日ごろの居住地															
回答総数	727	432	61	112	65	57	104	178	201	139	105	53	142	402	128
	100.0	*100.0*	*100.0*	*100.0*	*100.0*	*100.0*	*100.0*	*100.0*	*100.0*	*100.0*	*100.0*	*100.0*	*100.0*	*100.0*	*100.0*
1.震災以前からの自宅	677	399	61	101	62	54	98	166	189	130	94	22	135	395	123
	93.1	*92.4*	*100.0*	*90.2*	*95.4*	*94.7*	*94.2*	*93.3*	*94.0*	*93.5*	*89.5*	*41.5*	*95.1*	*98.3*	*96.1*
2.震災後に借入・購入した自宅	18	11	0	5	2	0	0	1	10	3	4	14	1	3	0
	2.5	*2.5*	*0.0*	*4.5*	*3.1*	*0.0*	*0.0*	*0.6*	*5.0*	*2.2*	*3.8*	*26.4*	*0.7*	*0.7*	*0.0*
3.仮設住宅	3	3	0	0	0	0	0	2	0	0	1	2	1	0	0
	0.4	*0.7*	*0.0*	*0.0*	*0.0*	*0.0*	*0.0*	*1.1*	*0.0*	*0.0*	*1.0*	*3.8*	*0.7*	*0.0*	*0.0*
4.避難所やテント村	2	0	0	1	1	0	0	2	0	0	0	2	0	0	0
	0.3	*0.0*	*0.0*	*0.9*	*1.5*	*0.0*	*0.0*	*1.1*	*0.0*	*0.0*	*0.0*	*3.8*	*0.0*	*0.0*	*0.0*
5.居住市区内の知人や親戚の家	10	7	0	2	0	1	3	3	1	0	3	5	3	1	1
	1.4	*1.6*	*0.0*	*1.8*	*0.0*	*1.8*	*2.9*	*1.7*	*0.5*	*0.0*	*2.9*	*9.4*	*2.1*	*0.2*	*0.8*
6.居住市区外の知人や親戚の家	3	3	0	0	0	0	2	0	0	0	1	1	1	0	1
	0.4	*0.7*	*0.0*	*0.0*	*0.0*	*0.0*	*1.9*	*0.0*	*0.0*	*0.0*	*1.0*	*1.9*	*0.7*	*0.0*	*0.8*
7.自家用車の中	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	0.0	*0.0*	*0.0*	*0.0*	*0.0*	*0.0*	*0.0*	*0.0*	*0.0*	*0.0*	*0.0*	*0.0*	*0.0*	*0.0*	*0.0*
8.自設テント	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	0.0	*0.0*	*0.0*	*0.0*	*0.0*	*0.0*	*0.0*	*0.0*	*0.0*	*0.0*	*0.0*	*0.0*	*0.0*	*0.0*	*0.0*
9.勤務先企業等の提供した住居	5	3	0	1	0	1	0	1	1	3	0	3	0	0	2
	0.7	*0.7*	*0.0*	*0.9*	*0.0*	*1.8*	*0.0*	*0.6*	*0.5*	*2.2*	*0.0*	*5.7*	*0.0*	*0.0*	*1.6*
10.自費出費によるホテル・旅館	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	0.0	*0.0*	*0.0*	*0.0*	*0.0*	*0.0*	*0.0*	*0.0*	*0.0*	*0.0*	*0.0*	*0.0*	*0.0*	*0.0*	*0.0*
11.その他	9	6	0	2	0	1	1	3	0	3	2	4	1	3	1
	1.2	*1.4*	*0.0*	*1.8*	*0.0*	*1.8*	*1.0*	*1.7*	*0.0*	*2.2*	*1.9*	*7.5*	*0.7*	*0.7*	*0.8*
１０．６ヶ月後の居住地															

	総計	地域別					年齢別					住居の損壊程度別			
		西宮市	芦屋市	神戸市東灘区	神戸市灘区	神戸市中央区	25-34歳	35-39歳	40-44歳	45-49歳	50歳以上	全壊	半壊	一部損壊	損壊なし
回答総数	728	433	61	112	65	57	104	178	201	140	105	54	142	402	128
	100.0	*100.0*	*100.0*	*100.0*	*100.0*	*100.0*	*100.0*	*100.0*	*100.0*	*100.0*	*100.0*	*100.0*	*100.0*	*100.0*	*100.0*
1.震災以前からの自宅	684	404	60	104	61	55	102	169	187	130	96	26	135	397	124
	94.0	*93.3*	*98.4*	*92.9*	*93.8*	*96.5*	*98.1*	*94.9*	*93.0*	*92.9*	*91.4*	*48.1*	*95.1*	*98.8*	*96.9*
2.震災後に借入・購入した自宅	24	15	1	5	3	0	1	3	11	5	4	16	4	3	1
	3.3	*3.5*	*1.6*	*4.5*	*4.6*	*0.0*	*1.0*	*1.7*	*5.5*	*3.6*	*3.8*	*29.6*	*2.8*	*0.7*	*0.8*
3.仮設住宅	2	2	0	0	0	0	0	1	0	0	1	2	0	0	0
	0.3	*0.5*	*0.0*	*0.0*	*0.0*	*0.0*	*0.0*	*0.6*	*0.0*	*0.0*	*1.0*	*3.7*	*0.0*	*0.0*	*0.0*
4.避難所やテント村	1	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0
	0.1	*0.0*	*0.0*	*0.9*	*0.0*	*0.0*	*0.0*	*0.6*	*0.0*	*0.0*	*0.0*	*1.9*	*0.0*	*0.0*	*0.0*
5.居住市区内の知人や親戚の家	4	4	0	0	0	0	0	1	1	0	2	3	1	0	0
	0.5	*0.9*	*0.0*	*0.0*	*0.0*	*0.0*	*0.0*	*0.6*	*0.5*	*0.0*	*1.9*	*5.6*	*0.7*	*0.0*	*0.0*
6.居住市区外の知人や親戚の家	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	0.0	*0.0*	*0.0*	*0.0*	*0.0*	*0.0*	*0.0*	*0.0*	*0.0*	*0.0*	*0.0*	*0.0*	*0.0*	*0.0*	*0.0*
7.自設テント	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	0.0	*0.0*	*0.0*	*0.0*	*0.0*	*0.0*	*0.0*	*0.0*	*0.0*	*0.0*	*0.0*	*0.0*	*0.0*	*0.0*	*0.0*
8.勤務先企業等の提供した住居	4	3	0	0	0	1	0	1	1	2	0	2	0	0	2
	0.5	*0.7*	*0.0*	*0.0*	*0.0*	*1.8*	*0.0*	*0.6*	*0.5*	*1.4*	*0.0*	*3.7*	*0.0*	*0.0*	*1.6*
9.自費出費によるホテル・旅館	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	0.0	*0.0*	*0.0*	*0.0*	*0.0*	*0.0*	*0.0*	*0.0*	*0.0*	*0.0*	*0.0*	*0.0*	*0.0*	*0.0*	*0.0*
10.その他	9	5	0	2	1	1	1	2	1	3	2	4	2	2	1
	1.2	*1.2*	*0.0*	*1.8*	*1.5*	*1.8*	*1.0*	*1.1*	*0.5*	*2.1*	*1.9*	*7.4*	*1.4*	*0.5*	*0.8*
安否確認について															
１１．震災後３日間に自分の安否を報告した人（複数回答）															
回答者実数	727	432	62	112	65	56	104	177	203	141	102	54	139	404	128
	100.0	*100.0*	*100.0*	*100.0*	*100.0*	*100.0*	*100.0*	*100.0*	*100.0*	*100.0*	*100.0*	*100.0*	*100.0*	*100.0*	*100.0*
1.別居の親・子供きょうだい	636	369	60	103	54	50	98	165	180	115	78	45	125	358	107
	87.5	*85.4*	*96.8*	*92.0*	*83.1*	*89.3*	*94.2*	*93.2*	*88.7*	*81.6*	*76.5*	*83.3*	*89.9*	*88.6*	*83.6*
2.親戚	434	273	27	69	34	31	63	93	101	93	84	32	77	246	77
	59.7	*63.2*	*43.5*	*61.6*	*52.3*	*55.4*	*60.6*	*52.5*	*49.8*	*66.0*	*82.4*	*59.3*	*55.4*	*60.9*	*60.2*
3.近隣の人	394	241	32	59	32	30	63	110	101	73	47	26	75	229	63
	54.2	*55.8*	*51.6*	*52.7*	*49.2*	*53.6*	*60.6*	*62.1*	*49.8*	*51.8*	*46.1*	*48.1*	*54.0*	*56.7*	*49.2*
4.近隣以外の知人友人	386	236	36	57	29	28	65	103	93	71	54	27	73	223	63
	53.1	*54.6*	*58.1*	*50.9*	*44.6*	*50.0*	*62.5*	*58.2*	*45.8*	*50.4*	*52.9*	*50.0*	*52.5*	*55.2*	*49.2*
5.自分および家族の職場の人	275	158	17	49	29	22	35	72	83	56	29	19	51	157	48
	37.8	*36.6*	*27.4*	*43.8*	*44.6*	*39.3*	*33.7*	*40.7*	*40.9*	*39.7*	*28.4*	*35.2*	*36.7*	*38.9*	*37.5*
6.子供の学校の先生など	145	85	16	25	10	9	19	45	50	30	1	13	32	78	22
	19.9	*19.7*	*25.8*	*22.3*	*15.4*	*16.1*	*18.3*	*25.4*	*24.6*	*21.3*	*1.0*	*24.1*	*23.0*	*19.3*	*17.2*
7.その他	16	9	1	3	2	1	2	3	4	4	3	1	3	10	2
	2.2	*2.1*	*1.6*	*2.7*	*3.1*	*1.8*	*1.9*	*1.7*	*2.0*	*2.8*	*2.9*	*1.9*	*2.2*	*2.5*	*1.6*
１２．震災後３日間に安否報告した人に、都市生活生協の組合員がいるか															
回答総数	683	421	61	98	55	48	98	165	190	136	94	52	130	382	117
	100.0	*100.0*	*100.0*	*100.0*	*100.0*	*100.0*	*100.0*	*100.0*	*100.0*	*100.0*	*100.0*	*100.0*	*100.0*	*100.0*	*100.0*
1.いる	355	228	29	50	26	22	48	91	97	65	54	24	73	205	53
	52.0	*54.2*	*47.5*	*51.0*	*47.3*	*45.8*	*49.0*	*55.2*	*51.1*	*47.8*	*57.4*	*46.2*	*56.2*	*53.7*	*45.3*
2.いない	328	193	32	48	29	26	50	74	93	71	40	28	57	177	64
	48.0	*45.8*	*52.5*	*49.0*	*52.7*	*54.2*	*51.0*	*44.8*	*48.9*	*52.2*	*42.6*	*53.8*	*43.8*	*46.3*	*54.7*
１２－補．組合員がいる場合、それはどの人か（複数回答）															
回答者実数	355	228	29	50	26	22	47	91	97	65	55	25	73	204	53
	100.0	*100.0*	*100.0*	*100.0*	*100.0*	*100.0*	*100.0*	*100.0*	*100.0*	*100.0*	*100.0*	*100.0*	*100.0*	*100.0*	*100.0*
1.同じ班の人	334	211	28	48	26	21	46	91	92	56	49	23	71	190	50
	94.1	*92.5*	*96.6*	*96.0*	*100.0*	*95.5*	*97.9*	*100.0*	*94.8*	*86.2*	*89.1*	*92.0*	*97.3*	*93.1*	*94.3*
2.他の班の人	56	41	3	7	1	4	9	13	12	13	9	4	9	37	6
	15.8	*18.0*	*10.3*	*14.0*	*3.8*	*18.2*	*19.1*	*14.3*	*12.4*	*20.0*	*16.4*	*16.0*	*12.3*	*18.1*	*11.3*
１３．震災後３日間に、誰から安否確認を受けたか（複数回答）															
回答者実数	719	429	60	111	64	55	103	177	198	137	104	53	139	398	127
	100.0	*100.0*	*100.0*	*100.0*	*100.0*	*100.0*	*100.0*	*100.0*	*100.0*	*100.0*	*100.0*	*100.0*	*100.0*	*100.0*	*100.0*
1.別居の親・子供きょうだい	546	316	49	87	53	41	76	137	153	101	79	36	110	298	102
	75.9	*73.7*	*81.7*	*78.4*	*82.8*	*74.5*	*73.8*	*77.4*	*77.3*	*73.7*	*76.0*	*67.9*	*79.1*	*74.9*	*80.3*
2.親戚	449	282	33	67	35	32	55	99	115	93	87	34	85	253	75
	62.4	*65.7*	*55.0*	*60.4*	*54.7*	*58.2*	*53.4*	*55.9*	*58.1*	*67.9*	*83.7*	*64.2*	*61.2*	*63.6*	*59.1*
3.近隣の人	388	238	30	55	31	34	59	107	98	71	53	29	79	220	60

	総計	地域別					年齢別					住居の損壊程度別			
		西宮市	芦屋市	神戸市東灘区	神戸市灘区	神戸市中央区	25-34歳	35-39歳	40-44歳	45-49歳	50歳以上	全壊	半壊	一部損壊	損壊なし
	54.0	*55.5*	*50.0*	*49.5*	*48.4*	*61.8*	*57.3*	*60.5*	*49.5*	*51.8*	*51.0*	*54.7*	*56.8*	*55.3*	*47.2*
4.近隣以外の知人友人	496	293	47	71	43	42	71	110	140	102	73	34	101	275	84
	69.0	*68.3*	*78.3*	*64.0*	*67.2*	*76.4*	*68.9*	*62.1*	*70.7*	*74.5*	*70.2*	*64.2*	*72.7*	*69.1*	*66.1*
5.自分および家族の職場の人	289	169	24	48	30	18	31	67	88	61	42	22	48	174	45
	40.2	*39.4*	*40.0*	*43.2*	*46.9*	*32.7*	*30.1*	*37.9*	*44.4*	*44.5*	*40.4*	*41.5*	*34.5*	*43.7*	*35.4*
6.子供の学校の先生など	145	93	11	16	14	11	17	43	54	27	4	12	34	79	20
	20.2	*21.7*	*18.3*	*14.4*	*21.9*	*20.0*	*16.5*	*24.3*	*27.3*	*19.7*	*3.8*	*22.6*	*24.5*	*19.8*	*15.7*
7.その他	18	8	1	5	2	2	1	4	7	4	2	1	7	8	2
	2.5	*1.9*	*1.7*	*4.5*	*3.1*	*3.6*	*1.0*	*2.3*	*3.5*	*2.9*	*1.9*	*1.9*	*5.0*	*2.0*	*1.6*
１４．震災後３日間に安否確認を受けた人に、都市生活生協の組合員がいるか															
回答総数	668	415	60	95	54	44	95	164	184	133	92	51	127	373	115
	100.0	*100.0*	*100.0*	*100.0*	*100.0*	*100.0*	*100.0*	*100.0*	*100.0*	*100.0*	*100.0*	*100.0*	*100.0*	*100.0*	*100.0*
1.いる	319	212	19	43	22	23	45	80	89	59	46	23	62	186	48
	47.8	*51.1*	*31.7*	*45.3*	*40.7*	*52.3*	*47.4*	*48.8*	*48.4*	*44.4*	*50.0*	*45.1*	*48.8*	*49.9*	*41.7*
2.いない	349	203	41	52	32	21	50	84	95	74	46	28	65	187	67
	52.2	*48.9*	*68.3*	*54.7*	*59.3*	*47.7*	*52.6*	*51.2*	*51.6*	*55.6*	*50.0*	*54.9*	*51.2*	*50.1*	*58.3*
１４－補．組合員がいる場合、それはどの人か（複数回答）															
回答者実数	319	212	19	43	22	23	45	79	90	59	46	22	62	187	48
	100.0	*100.0*	*100.0*	*100.0*	*100.0*	*100.0*	*100.0*	*100.0*	*100.0*	*100.0*	*100.0*	*100.0*	*100.0*	*100.0*	*100.0*
1.同じ班の人	289	187	19	40	22	21	43	79	75	52	40	18	56	172	43
	90.6	*88.2*	*100.0*	*93.0*	*100.0*	*91.3*	*95.6*	*100.0*	*83.3*	*88.1*	*87.0*	*81.8*	*90.3*	*92.0*	*89.6*
2.他の班の人	64	47	1	9	2	5	6	15	22	11	10	8	12	34	10
	20.1	*22.2*	*5.3*	*20.9*	*9.1*	*21.7*	*13.3*	*19.0*	*24.4*	*18.6*	*21.7*	*36.4*	*19.4*	*18.2*	*20.8*
１５．震災後１０日間の都市生活生協からの安否確認															
回答総数	654	386	58	105	58	47	90	160	190	125	89	50	125	374	104
	100.0	*100.0*	*100.0*	*100.0*	*100.0*	*100.0*	*100.0*	*100.0*	*100.0*	*100.0*	*100.0*	*100.0*	*100.0*	*100.0*	*100.0*
1.職員から受けた	41	26	4	9	1	1	1	8	14	11	7	3	9	22	7
	6.3	*6.7*	*6.9*	*8.6*	*1.7*	*2.1*	*1.1*	*5.0*	*7.4*	*8.8*	*7.9*	*6.0*	*7.2*	*5.9*	*6.7*
2.運営委員などから受けた	58	45	1	7	2	3	7	16	18	11	6	6	9	35	8
	8.9	*11.7*	*1.7*	*6.7*	*3.4*	*6.4*	*7.8*	*10.0*	*9.5*	*8.8*	*6.7*	*12.0*	*7.2*	*9.4*	*7.7*
3.職員と運営委員とから受けた	9	5	0	1	2	1	1	0	1	5	2	2	1	4	2
	1.4	*1.3*	*0.0*	*1.0*	*3.4*	*2.1*	*1.1*	*0.0*	*0.5*	*4.0*	*2.2*	*4.0*	*0.8*	*1.1*	*1.9*
4.確認は受けなかった	546	310	53	88	53	42	81	136	157	98	74	39	106	313	87
	83.5	*80.3*	*91.4*	*83.8*	*91.4*	*89.4*	*90.0*	*85.0*	*82.6*	*78.4*	*83.1*	*78.0*	*84.8*	*83.7*	*83.7*
救援・援助について															
１６．個人的に受けた援助で役に立ったもの（３つまでの複数回答）															
回答者実数	722	430	62	112	63	55	104	177	200	140	101	53	139	404	125
	100.0	*100.0*	*100.0*	*100.0*	*100.0*	*100.0*	*100.0*	*100.0*	*100.0*	*100.0*	*100.0*	*100.0*	*100.0*	*100.0*	*100.0*
1.食料・飲料のさしいれ	622	367	53	97	58	47	86	147	176	123	90	43	120	354	104
	86.1	*85.3*	*85.5*	*86.6*	*92.1*	*85.5*	*82.7*	*83.1*	*88.0*	*87.9*	*89.1*	*81.1*	*86.3*	*87.6*	*83.2*
2.燃料のさしいれ	324	204	19	46	36	19	31	73	93	71	56	27	59	168	70
	44.9	*47.4*	*30.6*	*41.1*	*57.1*	*34.5*	*29.8*	*41.2*	*46.5*	*50.7*	*55.4*	*50.9*	*42.4*	*41.6*	*56.0*
3.医薬品のさしいれ	59	31	4	8	5	11	7	16	15	13	8	5	18	26	10
	8.2	*7.2*	*6.5*	*7.1*	*7.9*	*20.0*	*6.7*	*9.0*	*7.5*	*9.3*	*7.9*	*9.4*	*12.9*	*6.4*	*8.0*
4.衣料のさしいれ	66	35	5	11	5	10	9	14	20	15	8	14	16	26	10
	9.1	*8.1*	*8.1*	*9.8*	*7.9*	*18.2*	*8.7*	*7.9*	*10.0*	*10.7*	*7.9*	*26.4*	*11.5*	*6.4*	*8.0*
5.金銭援助	222	138	22	31	12	19	31	47	72	43	29	19	49	123	30
	30.7	*32.1*	*35.5*	*27.7*	*19.0*	*34.5*	*29.8*	*26.6*	*36.0*	*30.7*	*28.7*	*35.8*	*35.3*	*30.4*	*24.0*
6.入浴サービス	208	122	17	31	17	21	17	49	63	48	31	12	45	121	29
	28.8	*28.4*	*27.4*	*27.7*	*27.0*	*38.2*	*16.3*	*27.7*	*31.5*	*34.3*	*30.7*	*22.6*	*32.4*	*30.0*	*23.2*
7.家事の手伝い	17	13	0	2	1	1	1	5	2	4	5	5	1	9	2
	2.4	*3.0*	*0.0*	*1.8*	*1.6*	*1.8*	*1.0*	*2.8*	*1.0*	*2.9*	*5.0*	*9.4*	*0.7*	*2.2*	*1.6*
8.水運び	119	69	9	17	15	9	17	30	30	21	21	10	25	66	18
	16.5	*16.0*	*14.5*	*15.2*	*23.8*	*16.4*	*16.3*	*16.9*	*15.0*	*15.0*	*20.8*	*18.9*	*18.0*	*16.3*	*14.4*
9.屋内の片付け	66	40	4	12	3	7	9	14	18	11	14	16	18	27	5
	9.1	*9.3*	*6.5*	*10.7*	*4.8*	*12.7*	*8.7*	*7.9*	*9.0*	*7.9*	*13.9*	*30.2*	*12.9*	*6.7*	*4.0*
10.他の力仕事	28	21	2	2	0	3	4	6	8	6	4	6	6	14	2
	3.9	*4.9*	*3.2*	*1.8*	*0.0*	*5.5*	*3.8*	*3.4*	*4.0*	*4.3*	*4.0*	*11.3*	*4.3*	*3.5*	*1.6*
11.精神的な支え	226	134	21	34	17	20	39	60	58	37	32	18	53	122	33
	31.3	*31.2*	*33.9*	*30.4*	*27.0*	*36.4*	*37.5*	*33.9*	*29.0*	*26.4*	*31.7*	*34.0*	*38.1*	*30.2*	*26.4*
12.その他	46	24	5	10	4	3	6	11	15	12	2	3	13	23	7
	6.4	*5.6*	*8.1*	*8.9*	*6.3*	*5.5*	*5.8*	*6.2*	*7.5*	*8.6*	*2.0*	*5.7*	*9.4*	*5.7*	*5.6*

	総計	地域別					年齢別					住居の損壊程度別			
		西宮市	芦屋市	神戸市東灘区	神戸市灘区	神戸市中央区	25-34歳	35-39歳	40-44歳	45-49歳	50歳以上	全壊	半壊	一部損壊	損壊なし
13.何も受けていない	13	8	3	0	0	2	4	5	3	1	0	0	0	9	4
	1.8	*1.9*	*4.8*	*0.0*	*0.0*	*3.6*	*3.8*	*2.8*	*1.5*	*0.7*	*0.0*	*0.0*	*0.0*	*2.2*	*3.2*
１７－１．民間団体・行政・都市生活生協の救援活動の利用：１週間後まで（複数回答）															
回答者実数	515	280	51	98	43	43	64	130	149	99	73	50	126	273	65
	100.0	*100.0*	*100.0*	*100.0*	*100.0*	*100.0*	*100.0*	*100.0*	*100.0*	*100.0*	*100.0*	*100.0*	*100.0*	*100.0*	*100.0*
1.炊き出し・食料配給	245	111	22	66	29	17	25	70	70	53	27	25	58	128	34
	47.6	*39.6*	*43.1*	*67.3*	*67.4*	*39.5*	*39.1*	*53.8*	*47.0*	*53.5*	*37.0*	*50.0*	*46.0*	*46.9*	*52.3*
2.下着など衣料の給付	58	32	3	14	7	2	6	20	14	13	5	14	14	25	5
	11.3	*11.4*	*5.9*	*14.3*	*16.3*	*4.7*	*9.4*	*15.4*	*9.4*	*13.1*	*6.8*	*28.0*	*11.1*	*9.2*	*7.7*
3.衛生用品の給付	71	32	7	21	7	4	13	21	19	15	3	7	17	38	9
	13.8	*11.4*	*13.7*	*21.4*	*16.3*	*9.3*	*20.3*	*16.2*	*12.8*	*15.2*	*4.1*	*14.0*	*13.5*	*13.9*	*13.8*
4.医薬品の給付	23	10	0	7	3	3	4	6	4	6	3	6	7	8	2
	4.5	*3.6*	*0.0*	*7.1*	*7.0*	*7.0*	*6.3*	*4.6*	*2.7*	*6.1*	*4.1*	*12.0*	*5.6*	*2.9*	*3.1*
5.見舞金・義援金	33	18	2	10	2	1	2	7	11	6	7	9	9	11	4
	6.4	*6.4*	*3.9*	*10.2*	*4.7*	*2.3*	*3.1*	*5.4*	*7.4*	*6.1*	*9.6*	*18.0*	*7.1*	*4.0*	*6.2*
6.入浴サービス	25	10	3	8	3	1	1	4	6	8	6	2	5	14	4
	4.9	*3.6*	*5.9*	*8.2*	*7.0*	*2.3*	*1.6*	*3.1*	*4.0*	*8.1*	*8.2*	*4.0*	*4.0*	*5.1*	*6.2*
7.家事の手伝い	5	4	0	1	0	0	0	3	1	0	1	1	1	2	1
	1.0	*1.4*	*0.0*	*1.0*	*0.0*	*0.0*	*0.0*	*2.3*	*0.7*	*0.0*	*1.4*	*2.0*	*0.8*	*0.7*	*1.5*
8.水運び	48	26	4	9	7	2	5	13	13	5	12	2	14	25	7
	9.3	*9.3*	*7.8*	*9.2*	*16.3*	*4.7*	*7.8*	*10.0*	*8.7*	*5.1*	*16.4*	*4.0*	*11.1*	*9.2*	*10.8*
9.家財・荷物の運び出しや運搬	2	0	0	2	0	0	0	0	1	1	0	1	1	0	0
	0.4	*0.0*	*0.0*	*2.0*	*0.0*	*0.0*	*0.0*	*0.0*	*0.7*	*1.0*	*0.0*	*2.0*	*0.8*	*0.0*	*0.0*
10.引越の手伝い	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	0.0	*0.0*	*0.0*	*0.0*	*0.0*	*0.0*	*0.0*	*0.0*	*0.0*	*0.0*	*0.0*	*0.0*	*0.0*	*0.0*	*0.0*
11.屋内の片付け	7	5	0	2	0	0	0	2	1	2	2	1	4	1	1
	1.4	*1.8*	*0.0*	*2.0*	*0.0*	*0.0*	*0.0*	*1.5*	*0.7*	*2.0*	*2.7*	*2.0*	*3.2*	*0.4*	*1.5*
12.ガレキの片付	2	1	0	1	0	0	0	0	1	0	1	2	0	0	0
	0.4	*0.4*	*0.0*	*1.0*	*0.0*	*0.0*	*0.0*	*0.0*	*0.7*	*0.0*	*1.4*	*4.0*	*0.0*	*0.0*	*0.0*
13.家屋の応急処置	9	7	1	0	1	0	0	3	2	1	3	4	4	1	0
	1.7	*2.5*	*2.0*	*0.0*	*2.3*	*0.0*	*0.0*	*2.3*	*1.3*	*1.0*	*4.1*	*8.0*	*3.2*	*0.4*	*0.0*
14.保育・介護・話・遊び相手	3	1	0	1	0	1	1	1	0	1	0	0	2	1	0
	0.6	*0.4*	*0.0*	*1.0*	*0.0*	*2.3*	*1.6*	*0.8*	*0.0*	*1.0*	*0.0*	*0.0*	*1.6*	*0.4*	*0.0*
15.建築士の建物診断・助言	15	10	0	2	1	2	1	2	5	2	5	3	5	7	0
	2.9	*3.6*	*0.0*	*2.0*	*2.3*	*4.7*	*1.6*	*1.5*	*3.4*	*2.0*	*6.8*	*6.0*	*4.0*	*2.6*	*0.0*
16.医者・看護婦の巡回訪問	4	1	0	3	0	0	0	0	2	1	1	1	2	1	0
	0.8	*0.4*	*0.0*	*3.1*	*0.0*	*0.0*	*0.0*	*0.0*	*1.3*	*1.0*	*1.4*	*2.0*	*1.6*	*0.4*	*0.0*
17.理容・美容師のサービス	3	0	0	1	1	1	1	1	1	0	0	1	1	1	0
	0.6	*0.0*	*0.0*	*1.0*	*2.3*	*2.3*	*1.6*	*0.8*	*0.7*	*0.0*	*0.0*	*2.0*	*0.8*	*0.4*	*0.0*
18.ｶｳﾝｾﾘﾝｸﾞ	1	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0
	0.2	*0.4*	*0.0*	*0.0*	*0.0*	*0.0*	*0.0*	*0.8*	*0.0*	*0.0*	*0.0*	*0.0*	*0.8*	*0.0*	*0.0*
19.生活情報提供	64	28	6	19	7	4	5	13	22	16	8	10	12	33	9
	12.4	*10.0*	*11.8*	*19.4*	*16.3*	*9.3*	*7.8*	*10.0*	*14.8*	*16.2*	*11.0*	*20.0*	*9.5*	*12.1*	*13.8*
20.音楽会などのイベント	4	3	0	0	1	0	0	3	1	0	0	0	3	1	0
	0.8	*1.1*	*0.0*	*0.0*	*2.3*	*0.0*	*0.0*	*2.3*	*0.7*	*0.0*	*0.0*	*0.0*	*2.4*	*0.4*	*0.0*
21.その他	6	5	0	1	0	0	0	1	5	0	0	0	1	4	1
	1.2	*1.8*	*0.0*	*1.0*	*0.0*	*0.0*	*0.0*	*0.8*	*3.4*	*0.0*	*0.0*	*0.0*	*0.8*	*1.5*	*1.5*
１７－２．民間団体・行政・都市生活生協の救援活動の利用：３ヶ月後まで（複数回答）															
回答者実数	515	280	51	98	43	43	64	130	149	99	73	50	126	273	65
	100.0	*100.0*	*100.0*	*100.0*	*100.0*	*100.0*	*100.0*	*100.0*	*100.0*	*100.0*	*100.0*	*100.0*	*100.0*	*100.0*	*100.0*
1.炊き出し・食料配給	130	68	24	21	11	6	22	29	43	20	16	11	32	74	13
	25.2	*24.3*	*47.1*	*21.4*	*25.6*	*14.0*	*34.4*	*22.3*	*28.9*	*20.2*	*21.9*	*22.0*	*25.4*	*27.1*	*20.0*
2.下着など衣料の給付	92	63	4	12	6	7	13	25	21	15	18	11	22	54	4
	17.9	*22.5*	*7.8*	*12.2*	*14.0*	*16.3*	*20.3*	*19.2*	*14.1*	*15.2*	*24.7*	*22.0*	*17.5*	*19.8*	*6.2*
3.衛生用品の給付	78	55	6	11	3	3	17	20	24	14	3	7	15	44	12
	15.1	*19.6*	*11.8*	*11.2*	*7.0*	*7.0*	*26.6*	*15.4*	*16.1*	*14.1*	*4.1*	*14.0*	*11.9*	*16.1*	*18.5*
4.医薬品の給付	14	8	1	2	0	3	3	3	1	3	4	1	6	7	0
	2.7	*2.9*	*2.0*	*2.0*	*0.0*	*7.0*	*4.7*	*2.3*	*0.7*	*3.0*	*5.5*	*2.0*	*4.8*	*2.6*	*0.0*
5.見舞金・義援金	156	83	12	32	14	15	22	33	45	33	23	27	78	44	7
	30.3	*29.6*	*23.5*	*32.7*	*32.6*	*34.9*	*34.4*	*25.4*	*30.2*	*33.3*	*31.5*	*54.0*	*61.9*	*16.1*	*10.8*
6.入浴サービス	68	18	15	20	3	12	3	11	31	14	9	8	14	39	7
	13.2	*6.4*	*29.4*	*20.4*	*7.0*	*27.9*	*4.7*	*8.5*	*20.8*	*14.1*	*12.3*	*16.0*	*11.1*	*14.3*	*10.8*
7.家事の手伝い	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0

	総計	地域別					年齢別					住居の損壊程度別			
		西宮市	芦屋市	神戸市東灘区	神戸市灘区	神戸市中央区	25-34歳	35-39歳	40-44歳	45-49歳	50歳以上	全壊	半壊	一部損壊	損壊なし
	0.2	0.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.4	2.0	0.0	0.0	0.0
8.水運び	22	9	4	4	4	1	1	9	4	4	4	1	8	11	2
	4.3	3.2	7.8	4.1	9.3	2.3	1.6	6.9	2.7	4.0	5.5	2.0	6.3	4.0	3.1
9.家財・荷物の運び出しや運搬	5	4	0	1	0	0	1	1	0	2	1	2	1	2	0
	1.0	1.4	0.0	1.0	0.0	0.0	1.6	0.8	0.0	2.0	1.4	4.0	0.8	0.7	0.0
10.引越の手伝い	2	1	0	1	0	0	0	1	0	1	0	1	1	0	0
	0.4	0.4	0.0	1.0	0.0	0.0	0.0	0.8	0.0	1.0	0.0	2.0	0.8	0.0	0.0
11.屋内の片付け	5	4	0	0	0	1	0	1	1	0	3	2	1	1	1
	1.0	1.4	0.0	0.0	0.0	2.3	0.0	0.8	0.7	0.0	4.1	4.0	0.8	0.4	1.5
12.ガレキの片付	4	2	0	1	1	0	0	1	0	1	2	1	3	0	0
	0.8	0.7	0.0	1.0	2.3	0.0	0.0	0.8	0.0	1.0	2.7	2.0	2.4	0.0	0.0
13.家屋の応急処置	5	4	1	0	0	0	0	2	1	1	1	2	3	0	0
	1.0	1.4	2.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.5	0.7	1.0	1.4	4.0	2.4	0.0	0.0
14.保育・介護・話・遊び相手	10	8	1	1	0	0	2	5	3	0	0	3	2	4	1
	1.9	2.9	2.0	1.0	0.0	0.0	3.1	3.8	2.0	0.0	0.0	6.0	1.6	1.5	1.5
15.建築士の建物診断・助言	37	17	3	9	6	2	2	13	7	9	6	6	17	12	2
	7.2	6.1	5.9	9.2	14.0	4.7	3.1	10.0	4.7	9.1	8.2	12.0	13.5	4.4	3.1
16.医者・看護婦の巡回訪問	5	1	1	1	2	0	0	2	2	1	0	1	1	2	1
	1.0	0.4	2.0	1.0	4.7	0.0	0.0	1.5	1.3	1.0	0.0	2.0	0.8	0.7	1.5
17.理容・美容師のサービス	6	1	2	2	0	1	0	3	1	1	1	0	2	4	0
	1.2	0.4	3.9	2.0	0.0	2.3	0.0	2.3	0.7	1.0	1.4	0.0	1.6	1.5	0.0
18.ｶｳﾝｾﾘﾝｸﾞ	4	3	0	0	1	0	0	1	3	0	0	1	2	1	0
	0.8	1.1	0.0	0.0	2.3	0.0	0.0	0.8	2.0	0.0	0.0	2.0	1.6	0.4	0.0
19.生活情報提供	83	37	14	22	6	4	7	22	30	17	7	12	21	42	8
	16.1	13.2	27.5	22.4	14.0	9.3	10.9	16.9	20.1	17.2	9.6	24.0	16.7	15.4	12.3
20.音楽会などのイベント	53	27	7	14	3	2	4	20	18	8	3	4	13	32	4
	10.3	9.6	13.7	14.3	7.0	4.7	6.3	15.4	12.1	8.1	4.1	8.0	10.3	11.7	6.2
21.その他	10	5	0	3	0	2	2	4	4	0	0	0	2	6	2
	1.9	1.8	0.0	3.1	0.0	4.7	3.1	3.1	2.7	0.0	0.0	0.0	1.6	2.2	3.1
１７－３．民間団体・行政・都市生活生協の救援活動の利用：３ヶ月後以降（複数回答）															
回答者実数	515	280	51	98	43	43	64	130	149	99	73	50	126	273	65
	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
1.炊き出し・食料配給	14	12	1	1	0	0	2	4	5	1	2	3	1	8	2
	2.7	4.3	2.0	1.0	0.0	0.0	3.1	3.1	3.4	1.0	2.7	6.0	0.8	2.9	3.1
2.下着など衣料の給付	10	7	0	3	0	0	1	2	2	1	4	3	1	5	1
	1.9	2.5	0.0	3.1	0.0	0.0	1.6	1.5	1.3	1.0	5.5	6.0	0.8	1.8	1.5
3.衛生用品の給付	4	4	0	0	0	0	1	1	1	0	1	0	0	1	3
	0.8	1.4	0.0	0.0	0.0	0.0	1.6	0.8	0.7	0.0	1.4	0.0	0.0	0.4	4.6
4.医薬品の給付	3	2	1	0	0	0	1	0	0	2	0	0	2	1	0
	0.6	0.7	2.0	0.0	0.0	0.0	1.6	0.0	0.0	2.0	0.0	0.0	1.6	0.4	0.0
5.見舞金・義援金	81	35	14	14	8	10	3	20	26	18	14	27	41	9	3
	15.7	12.5	27.5	14.3	18.6	23.3	4.7	15.4	17.4	18.2	19.2	54.0	32.5	3.3	4.6
6.入浴サービス	5	0	2	1	0	2	0	2	2	1	0	1	0	3	1
	1.0	0.0	3.9	1.0	0.0	4.7	0.0	1.5	1.3	1.0	0.0	2.0	0.0	1.1	1.5
7.家事の手伝い	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0
	0.2	0.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.4	2.0	0.0	0.0	0.0
8.水運び	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
9.家財・荷物の運び出しや運搬	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0
	0.2	0.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.4	2.0	0.0	0.0	0.0
10.引越の手伝い	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2	0	0	0
	0.4	0.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.7	4.0	0.0	0.0	0.0
11.屋内の片付け	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0
	0.2	0.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.4	2.0	0.0	0.0	0.0
12.ガレキの片付	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0
	0.2	0.0	2.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.4	0.0	0.8	0.0	0.0
13.家屋の応急処置	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
14.保育・介護・話・遊び相手	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
15.建築士の建物診断・助言	7	4	0	1	1	1	0	4	0	0	3	0	5	1	1
	1.4	1.4	0.0	1.0	2.3	2.3	0.0	3.1	0.0	0.0	4.1	0.0	4.0	0.4	1.5
16.医者・看護婦	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

	総計	地域別					年齢別					住居の損壊程度別			
		西宮市	芦屋市	神戸市東灘区	神戸市灘区	神戸市中央区	25-34歳	35-39歳	40-44歳	45-49歳	50歳以上	全壊	半壊	一部損壊	損壊なし
の巡回訪問	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
17.理容・美容師	2	1	0	1	0	0	0	1	0	0	1	1	0	1	0
のサービス	0.4	0.4	0.0	1.0	0.0	0.0	0.0	0.8	0.0	0.0	1.4	2.0	0.0	0.4	0.0
18.ｶｳﾝｾﾘﾝｸﾞ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
19.生活情報提供	41	15	7	10	5	4	0	13	17	7	4	7	10	19	5
	8.0	5.4	13.7	10.2	11.6	9.3	0.0	10.0	11.4	7.1	5.5	14.0	7.9	7.0	7.7
20.音楽会などの	48	23	7	8	5	5	4	20	14	5	5	3	14	25	6
イベント	9.3	8.2	13.7	8.2	11.6	11.6	6.3	15.4	9.4	5.1	6.8	6.0	11.1	9.2	9.2
21.その他	3	1	0	0	1	1	0	2	0	0	1	1	1	1	0
	0.6	0.4	0.0	0.0	2.3	2.3	0.0	1.5	0.0	0.0	1.4	2.0	0.8	0.4	0.0
１８．利用した救援活動の中で、とくに助かったもの（３つまでの複数回答）															
回答者実数	459	250	42	92	39	36	56	122	128	85	68	49	114	237	58
	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
1.炊き出し・食料	257	125	24	65	30	13	33	68	81	48	27	29	53	139	36
配給	56.0	50.0	57.1	70.7	76.9	36.1	58.9	55.7	63.3	56.5	39.7	59.2	46.5	58.6	62.1
2.下着など衣料の	45	32	1	7	4	1	7	10	14	5	9	5	11	26	3
給付	9.8	12.8	2.4	7.6	10.3	2.8	12.5	8.2	10.9	5.9	13.2	10.2	9.6	11.0	5.2
3.衛生用品の給付	62	40	7	12	2	1	15	14	18	9	6	3	13	37	9
	13.5	16.0	16.7	13.0	5.1	2.8	26.8	11.5	14.1	10.6	8.8	6.1	11.4	15.6	15.5
4.医薬品の給付	9	4	0	2	1	2	5	1	1	1	1	0	3	6	0
	2.0	1.6	0.0	2.2	2.6	5.6	8.9	0.8	0.8	1.2	1.5	0.0	2.6	2.5	0.0
5.見舞金・義援	177	100	15	33	14	15	23	42	48	34	30	41	84	42	9
金	38.6	40.0	35.7	35.9	35.9	41.7	41.1	34.4	37.5	40.0	44.1	83.7	73.7	17.7	15.5
6.入浴サービス	81	27	18	22	4	10	4	13	32	19	13	7	18	47	9
	17.6	10.8	42.9	23.9	10.3	27.8	7.1	10.7	25.0	22.4	19.1	14.3	15.8	19.8	15.5
7.家事の手伝い	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2	0	0	0
	0.4	0.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.9	4.1	0.0	0.0	0.0
8.水運び	60	38	4	9	6	3	5	15	16	7	17	1	20	30	9
	13.1	15.2	9.5	9.8	15.4	8.3	8.9	12.3	12.5	8.2	25.0	2.0	17.5	12.7	15.5
9.家財・荷物の運	6	4	0	2	0	0	1	0	1	1	3	5	1	0	0
び出しや運搬	1.3	1.6	0.0	2.2	0.0	0.0	1.8	0.0	0.8	1.2	4.4	10.2	0.9	0.0	0.0
10.引越の手伝い	6	5	0	1	0	0	0	2	0	1	3	2	2	2	0
	1.3	2.0	0.0	1.1	0.0	0.0	0.0	1.6	0.0	1.2	4.4	4.1	1.8	0.8	0.0
11.屋内の片付け	8	3	0	3	0	2	0	2	1	3	2	1	2	2	3
	1.7	1.2	0.0	3.3	0.0	5.6	0.0	1.6	0.8	3.5	2.9	2.0	1.8	0.8	5.2
12.ガレキの片付	6	2	1	1	0	2	0	0	0	3	3	1	4	0	1
	1.3	0.8	2.4	1.1	0.0	5.6	0.0	0.0	0.0	3.5	4.4	2.0	3.5	0.0	1.7
13.家屋の応急処	10	7	1	1	1	0	0	1	3	1	5	3	5	2	0
置	2.2	2.8	2.4	1.1	2.6	0.0	0.0	0.8	2.3	1.2	7.4	6.1	4.4	0.8	0.0
14.保育・介護・	4	3	0	1	0	0	2	2	0	0	0	0	1	3	0
話・遊び相手	0.9	1.2	0.0	1.1	0.0	0.0	3.6	1.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.9	1.3	0.0
15.建築士の建物	36	22	1	6	3	4	1	9	9	9	8	5	13	16	2
診断・助言	7.8	8.8	2.4	6.5	7.7	11.1	1.8	7.4	7.0	10.6	11.8	10.2	11.4	6.8	3.4
16.医者・看護婦	2	0	0	0	1	1	0	1	0	1	0	1	1	0	0
の巡回訪問	0.4	0.0	0.0	0.0	2.6	2.8	0.0	0.8	0.0	1.2	0.0	2.0	0.9	0.0	0.0
17.理容・美容師	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0
のサービス	0.2	0.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.5	0.0	0.0	0.4	0.0
18.ｶｳﾝｾﾘﾝｸﾞ	1	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0
	0.2	0.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.8	0.0	0.0	0.0	0.9	0.0	0.0
19.生活情報提供	81	41	8	23	6	3	1	35	18	18	9	9	19	45	8
	17.6	16.4	19.0	25.0	15.4	8.3	1.8	28.7	14.1	21.2	13.2	18.4	16.7	19.0	13.8
20.音楽会などの	19	9	2	4	2	2	2	8	4	2	3	2	3	13	1
イベント	4.1	3.6	4.8	4.3	5.1	5.6	3.6	6.6	3.1	2.4	4.4	4.1	2.6	5.5	1.7
21.その他	19	11	3	4	0	1	6	5	6	0	2	0	4	12	3
	4.1	4.4	7.1	4.3	0.0	2.8	10.7	4.1	4.7	0.0	2.9	0.0	3.5	5.1	5.2
都市生活生協の救援活動について															
１９．都市生活生協による無償提供物品のうち、受け取ったもの（複数回答）															
実回答者数	310	191	32	38	23	26	33	63	100	69	45	18	66	179	46
	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
1.タオル	263	153	30	36	23	21	25	52	86	61	39	17	57	149	39
	84.8	80.1	93.8	94.7	100.0	80.8	75.8	82.5	86.0	88.4	86.7	94.4	86.4	83.2	84.8

	総計	地域別					年齢別					住居の損壊程度別			
		西宮市	芦屋市	神戸市東灘区	神戸市灘区	神戸市中央区	25-34歳	35-39歳	40-44歳	45-49歳	50歳以上	全壊	半壊	一部損壊	損壊なし
2.シーツ	2	2	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	1	1
	0.6	*1.0*	*0.0*	*0.0*	*0.0*	*0.0*	*3.0*	*1.6*	*0.0*	*0.0*	*0.0*	*0.0*	*0.0*	*0.6*	*2.2*
3.下着	21	9	0	8	3	1	2	6	7	3	3	3	6	9	3
	6.8	*4.7*	*0.0*	*21.1*	*13.0*	*3.8*	*6.1*	*9.5*	*7.0*	*4.3*	*6.7*	*16.7*	*9.1*	*5.0*	*6.5*
4.紙おむつ	1	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
	0.3	*0.5*	*0.0*	*0.0*	*0.0*	*0.0*	*0.0*	*1.6*	*0.0*	*0.0*	*0.0*	*0.0*	*0.0*	*0.0*	*2.2*
5.生理用品	59	46	0	12	0	1	11	9	21	14	4	3	9	34	13
	19.0	*24.1*	*0.0*	*31.6*	*0.0*	*3.8*	*33.3*	*14.3*	*21.0*	*20.3*	*8.9*	*16.7*	*13.6*	*19.0*	*28.3*
6.ポリタンク	66	33	1	12	6	14	3	8	29	16	10	2	17	40	6
	21.3	*17.3*	*3.1*	*31.6*	*26.1*	*53.8*	*9.1*	*12.7*	*29.0*	*23.2*	*22.2*	*11.1*	*25.8*	*22.3*	*13.0*
7.その他生活用品	99	69	15	5	2	8	16	22	31	21	9	3	21	62	13
	31.9	*36.1*	*46.9*	*13.2*	*8.7*	*30.8*	*48.5*	*34.9*	*31.0*	*30.4*	*20.0*	*16.7*	*31.8*	*34.6*	*28.3*
２０．無償提供品のうち、とくに役立ったもの（３つまでの複数回答）															
実回答者数	189	114	16	26	12	21	22	38	57	45	27	10	39	115	24
	100.0	*100.0*	*100.0*	*100.0*	*100.0*	*100.0*	*100.0*	*100.0*	*100.0*	*100.0*	*100.0*	*100.0*	*100.0*	*100.0*	*100.0*
1.タオル	92	52	10	14	9	7	8	17	25	25	17	8	23	51	9
	48.7	*45.6*	*62.5*	*53.8*	*75.0*	*33.3*	*36.4*	*44.7*	*43.9*	*55.6*	*63.0*	*80.0*	*59.0*	*44.3*	*37.5*
2.シーツ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	0.0	*0.0*	*0.0*	*0.0*	*0.0*	*0.0*	*0.0*	*0.0*	*0.0*	*0.0*	*0.0*	*0.0*	*0.0*	*0.0*	*0.0*
3.下着	13	6	0	3	3	1	1	4	5	1	2	2	3	5	3
	6.9	*5.3*	*0.0*	*11.5*	*25.0*	*4.8*	*4.5*	*10.5*	*8.8*	*2.2*	*7.4*	*20.0*	*7.7*	*4.3*	*12.5*
4.紙おむつ	1	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
	0.5	*0.9*	*0.0*	*0.0*	*0.0*	*0.0*	*0.0*	*2.6*	*0.0*	*0.0*	*0.0*	*0.0*	*0.0*	*0.0*	*4.2*
5.生理用品	32	23	0	8	0	1	5	7	8	9	3	2	5	21	4
	16.9	*20.2*	*0.0*	*30.8*	*0.0*	*4.8*	*22.7*	*18.4*	*14.0*	*20.0*	*11.1*	*20.0*	*12.8*	*18.3*	*16.7*
6.ポリタンク	59	30	0	10	5	14	2	7	26	14	10	2	15	36	5
	31.2	*26.3*	*0.0*	*38.5*	*41.7*	*66.7*	*9.1*	*18.4*	*45.6*	*31.1*	*37.0*	*20.0*	*38.5*	*31.3*	*20.8*
7.その他生活用品	64	44	10	3	2	5	13	14	16	14	7	3	11	39	11
	33.9	*38.6*	*62.5*	*11.5*	*16.7*	*23.8*	*59.1*	*36.8*	*28.1*	*31.1*	*25.9*	*30.0*	*28.2*	*33.9*	*45.8*
２１．都市生活生協による低価格供給消費材のうち、購入したもの（複数回答）															
実回答者数	148	85	13	22	10	18	13	34	39	42	20	10	26	85	26
	100.0	*100.0*	*100.0*	*100.0*	*100.0*	*100.0*	*100.0*	*100.0*	*100.0*	*100.0*	*100.0*	*100.0*	*100.0*	*100.0*	*100.0*
1.ポリタンク	10	6	0	2	0	2	1	3	1	3	2	2	0	5	2
	6.8	*7.1*	*0.0*	*9.1*	*0.0*	*11.1*	*7.7*	*8.8*	*2.6*	*7.1*	*10.0*	*20.0*	*0.0*	*5.9*	*7.7*
2.カセットコンロ	26	19	0	1	3	3	3	6	7	3	7	2	3	15	5
	17.6	*22.4*	*0.0*	*4.5*	*30.0*	*16.7*	*23.1*	*17.6*	*17.9*	*7.1*	*35.0*	*20.0*	*11.5*	*17.6*	*19.2*
3.ガスボンベ	102	63	8	13	8	10	9	24	30	25	14	6	17	59	19
	68.9	*74.1*	*61.5*	*59.1*	*80.0*	*55.6*	*69.2*	*70.6*	*76.9*	*59.5*	*70.0*	*60.0*	*65.4*	*69.4*	*73.1*
4.乾電池	2	1	0	0	0	1	0	0	1	0	1	0	0	2	0
	1.4	*1.2*	*0.0*	*0.0*	*0.0*	*5.6*	*0.0*	*0.0*	*2.6*	*0.0*	*5.0*	*0.0*	*0.0*	*2.4*	*0.0*
5.マスク	30	13	3	9	1	4	1	6	4	12	7	2	5	20	3
	20.3	*15.3*	*23.1*	*40.9*	*10.0*	*22.2*	*7.7*	*17.6*	*10.3*	*28.6*	*35.0*	*20.0*	*19.2*	*23.5*	*11.5*
6.食料品用ラップ	17	8	2	4	1	2	1	1	4	7	4	0	2	12	3
	11.5	*9.4*	*15.4*	*18.2*	*10.0*	*11.1*	*7.7*	*2.9*	*10.3*	*16.7*	*20.0*	*0.0*	*7.7*	*14.1*	*11.5*
7.紙皿	1	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0
	0.7	*1.2*	*0.0*	*0.0*	*0.0*	*0.0*	*0.0*	*0.0*	*2.6*	*0.0*	*0.0*	*0.0*	*0.0*	*1.2*	*0.0*
8.紙コップ	3	3	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	2	1
	2.0	*3.5*	*0.0*	*0.0*	*0.0*	*0.0*	*0.0*	*0.0*	*7.7*	*0.0*	*0.0*	*0.0*	*0.0*	*2.4*	*3.8*
9.ｳｴｯﾄティッシュ	25	15	3	2	1	4	2	8	7	6	2	2	3	16	4
	16.9	*17.6*	*23.1*	*9.1*	*10.0*	*22.2*	*15.4*	*23.5*	*17.9*	*14.3*	*10.0*	*20.0*	*11.5*	*18.8*	*15.4*
２２．都市生活生協による低価格供給食料品のうち、購入したもの（複数回答）															
実回答者数	344	215	22	47	26	34	38	73	110	73	50	23	65	198	57
	100.0	*100.0*	*100.0*	*100.0*	*100.0*	*100.0*	*100.0*	*100.0*	*100.0*	*100.0*	*100.0*	*100.0*	*100.0*	*100.0*	*100.0*
1.飲料水	37	26	1	1	1	8	9	5	12	5	6	0	1	29	6
	10.8	*12.1*	*4.5*	*2.1*	*3.8*	*23.5*	*23.7*	*6.8*	*10.9*	*6.8*	*12.0*	*0.0*	*1.5*	*14.6*	*10.5*
2.コメ	115	77	4	16	6	12	6	29	39	24	17	13	16	63	23
	33.4	*35.8*	*18.2*	*34.0*	*23.1*	*35.3*	*15.8*	*39.7*	*35.5*	*32.9*	*34.0*	*56.5*	*24.6*	*31.8*	*40.4*
3.パン	96	63	2	12	5	14	12	22	29	19	14	3	12	61	20
	27.9	*29.3*	*9.1*	*25.5*	*19.2*	*41.2*	*31.6*	*30.1*	*26.4*	*26.0*	*28.0*	*13.0*	*18.5*	*30.8*	*35.1*
4.牛乳	187	118	12	28	14	15	25	42	56	35	29	12	31	107	37
	54.4	*54.9*	*54.5*	*59.6*	*53.8*	*44.1*	*65.8*	*57.5*	*50.9*	*47.9*	*58.0*	*52.2*	*47.7*	*54.0*	*64.9*
5.卵	157	110	12	11	11	13	16	32	56	30	23	8	34	89	25
	45.6	*51.2*	*54.5*	*23.4*	*42.3*	*38.2*	*42.1*	*43.8*	*50.9*	*41.1*	*46.0*	*34.8*	*52.3*	*44.9*	*43.9*

	総計	地域別					年齢別					住居の損壊程度別			
		西宮市	芦屋市	神戸市東灘区	神戸市灘区	神戸市中央区	25-34歳	35-39歳	40-44歳	45-49歳	50歳以上	全壊	半壊	一部損壊	損壊なし
6.野菜	172	101	10	26	16	19	12	39	57	44	20	8	38	93	33
	50.0	*47.0*	*45.5*	*55.3*	*61.5*	*55.9*	*31.6*	*53.4*	*51.8*	*60.3*	*40.0*	*34.8*	*58.5*	*47.0*	*57.9*
7.りんご	71	51	6	2	6	6	4	13	25	18	11	2	20	30	19
	20.6	*23.7*	*27.3*	*4.3*	*23.1*	*17.6*	*10.5*	*17.8*	*22.7*	*24.7*	*22.0*	*8.7*	*30.8*	*15.2*	*33.3*
8.缶飲料	107	53	10	16	8	20	9	19	41	30	8	5	21	63	17
	31.1	*24.7*	*45.5*	*34.0*	*30.8*	*58.8*	*23.7*	*26.0*	*37.3*	*41.1*	*16.0*	*21.7*	*32.3*	*31.8*	*29.8*
9.もち	62	44	0	5	5	8	8	12	19	14	9	0	11	36	14
	18.0	*20.5*	*0.0*	*10.6*	*19.2*	*23.5*	*21.1*	*16.4*	*17.3*	*19.2*	*18.0*	*0.0*	*16.9*	*18.2*	*24.6*
10.その他	48	30	2	5	7	4	5	16	14	10	3	2	7	26	13
	14.0	*14.0*	*9.1*	*10.6*	*26.9*	*11.8*	*13.2*	*21.9*	*12.7*	*13.7*	*6.0*	*8.7*	*10.8*	*13.1*	*22.8*
２３．都市生活生協の活動のうち、知っていたもの（複数回答）															
回答者実数	538	323	42	82	49	42	69	136	157	115	61	35	98	315	89
	100.0	*100.0*	*100.0*	*100.0*	*100.0*	*100.0*	*100.0*	*100.0*	*100.0*	*100.0*	*100.0*	*100.0*	*100.0*	*100.0*	*100.0*
1.即売供給	406	255	30	53	40	28	42	86	129	98	51	23	67	244	71
	75.5	*78.9*	*71.4*	*64.6*	*81.6*	*66.7*	*60.9*	*63.2*	*82.2*	*85.2*	*83.6*	*65.7*	*68.4*	*77.5*	*79.8*
2.炊き出し	366	221	34	57	34	20	55	100	106	81	24	25	68	207	66
	68.0	*68.4*	*81.0*	*69.5*	*69.4*	*47.6*	*79.7*	*73.5*	*67.5*	*70.4*	*39.3*	*71.4*	*69.4*	*65.7*	*74.2*
3.引越しの手伝い	95	59	9	15	9	3	7	26	33	20	9	9	15	54	17
	17.7	*18.3*	*21.4*	*18.3*	*18.4*	*7.1*	*10.1*	*19.1*	*21.0*	*17.4*	*14.8*	*25.7*	*15.3*	*17.1*	*19.1*
4.家財・荷物の出し入れ	59	38	3	9	7	2	3	21	16	14	5	5	9	32	13
	11.0	*11.8*	*7.1*	*11.0*	*14.3*	*4.8*	*4.3*	*15.4*	*10.2*	*12.2*	*8.2*	*14.3*	*9.2*	*10.2*	*14.6*
5.ﾘﾌﾚｯｼｭ ステイ	87	52	7	16	5	7	11	23	27	18	8	10	12	48	16
	16.2	*16.1*	*16.7*	*19.5*	*10.2*	*16.7*	*15.9*	*16.9*	*17.2*	*15.7*	*13.1*	*28.6*	*12.2*	*15.2*	*18.0*
6.「あいたくて都市生活」	272	158	17	49	28	20	41	71	76	58	26	16	45	167	43
	50.6	*48.9*	*40.5*	*59.8*	*57.1*	*47.6*	*59.4*	*52.2*	*48.4*	*50.4*	*42.6*	*45.7*	*45.9*	*53.0*	*48.3*
7.「神戸わんぱくまつり」	159	82	8	32	18	19	24	41	46	29	19	10	26	92	30
	29.6	*25.4*	*19.0*	*39.0*	*36.7*	*45.2*	*34.8*	*30.1*	*29.3*	*25.2*	*31.1*	*28.6*	*26.5*	*29.2*	*33.7*
8.生活用品リサイクル リレー	176	109	11	27	14	15	26	48	53	29	20	14	31	101	30
	32.7	*33.7*	*26.2*	*32.9*	*28.6*	*35.7*	*37.7*	*35.3*	*33.8*	*25.2*	*32.8*	*40.0*	*31.6*	*32.1*	*33.7*
２４．都市生活生協の活動のうち、利用・参加したもの（複数回答）															
回答者実数	314	205	20	44	24	21	28	69	96	72	49	17	57	183	56
	100.0	*100.0*	*100.0*	*100.0*	*100.0*	*100.0*	*100.0*	*100.0*	*100.0*	*100.0*	*100.0*	*100.0*	*100.0*	*100.0*	*100.0*
1.即売供給	280	178	19	42	22	19	23	61	86	66	44	15	51	167	46
	89.2	*86.8*	*95.0*	*95.5*	*91.7*	*90.5*	*82.1*	*88.4*	*89.6*	*91.7*	*89.8*	*88.2*	*89.5*	*91.3*	*82.1*
2.炊き出し	33	24	3	6	0	0	4	3	15	7	4	3	5	14	11
	10.5	*11.7*	*15.0*	*13.6*	*0.0*	*0.0*	*14.3*	*4.3*	*15.6*	*9.7*	*8.2*	*17.6*	*8.8*	*7.7*	*19.6*
3.引越しの手伝い	1	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0
	0.3	*0.0*	*0.0*	*2.3*	*0.0*	*0.0*	*0.0*	*0.0*	*0.0*	*1.4*	*0.0*	*5.9*	*0.0*	*0.0*	*0.0*
4.家財・荷物の出し入れ	5	3	0	2	0	0	0	0	2	1	2	3	0	1	1
	1.6	*1.5*	*0.0*	*4.5*	*0.0*	*0.0*	*0.0*	*0.0*	*2.1*	*1.4*	*4.1*	*17.6*	*0.0*	*0.5*	*1.8*
5.ﾘﾌﾚｯｼｭ ステイ	9	5	0	2	0	2	0	4	3	2	0	0	0	5	3
	2.9	*2.4*	*0.0*	*4.5*	*0.0*	*9.5*	*0.0*	*5.8*	*3.1*	*2.8*	*0.0*	*0.0*	*0.0*	*2.7*	*5.4*
6.「あいたくて都市生活」	35	20	3	7	4	1	6	10	11	6	2	3	7	20	5
	11.1	*9.8*	*15.0*	*15.9*	*16.7*	*4.8*	*21.4*	*14.5*	*11.5*	*8.3*	*4.1*	*17.6*	*12.3*	*10.9*	*8.9*
7.「神戸わんぱくまつり」	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	0.0	*0.0*	*0.0*	*0.0*	*0.0*	*0.0*	*0.0*	*0.0*	*0.0*	*0.0*	*0.0*	*0.0*	*0.0*	*0.0*	*0.0*
8.生活用品リサイクル リレー	17	13	0	3	0	1	2	3	6	3	3	3	3	8	3
	5.4	*6.3*	*0.0*	*6.8*	*0.0*	*4.8*	*7.1*	*4.3*	*6.3*	*4.2*	*6.1*	*17.6*	*5.3*	*4.4*	*5.4*
２５．救援する側として参加した活動（複数回答）															
回答者実数	194	114	14	37	15	14	10	45	63	55	21	11	33	119	31
	100.0	*100.0*	*100.0*	*100.0*	*100.0*	*100.0*	*100.0*	*100.0*	*100.0*	*100.0*	*100.0*	*100.0*	*100.0*	*100.0*	*100.0*
1.炊き出し	76	51	4	9	9	3	2	18	29	22	5	4	16	38	18
	39.2	*44.7*	*28.6*	*24.3*	*60.0*	*21.4*	*20.0*	*40.0*	*46.0*	*40.0*	*23.8*	*36.4*	*48.5*	*31.9*	*58.1*
2.入浴サービス	19	13	2	3	0	1	0	3	7	7	2	1	3	13	2
	9.8	*11.4*	*14.3*	*8.1*	*0.0*	*7.1*	*0.0*	*6.7*	*11.1*	*12.7*	*9.5*	*9.1*	*9.1*	*10.9*	*6.5*
3.家事の手伝い	16	7	2	3	1	3	0	4	4	5	3	0	1	13	2
	8.2	*6.1*	*14.3*	*8.1*	*6.7*	*21.4*	*0.0*	*8.9*	*6.3*	*9.1*	*14.3*	*0.0*	*3.0*	*10.9*	*6.5*
4.水運び	54	30	4	9	7	4	2	6	22	18	6	1	8	39	6
	27.8	*26.3*	*28.6*	*24.3*	*46.7*	*28.6*	*20.0*	*13.3*	*34.9*	*32.7*	*28.6*	*9.1*	*24.2*	*32.8*	*19.4*
5.家財・荷物の運び出しや運搬	31	20	2	6	2	1	1	7	10	9	4	2	7	21	1
	16.0	*17.5*	*14.3*	*16.2*	*13.3*	*7.1*	*10.0*	*15.6*	*15.9*	*16.4*	*19.0*	*18.2*	*21.2*	*17.6*	*3.2*

	総計	地域別					年齢別					住居の損壊程度別			
		西宮市	芦屋市	神戸市東灘区	神戸市灘区	神戸市中央区	25-34歳	35-39歳	40-44歳	45-49歳	50歳以上	全壊	半壊	一部損壊	損壊なし
6.引越しの手伝い	23	15	1	7	0	0	0	6	7	8	2	4	4	15	0
	11.9	*13.2*	*7.1*	*18.9*	*0.0*	*0.0*	*0.0*	*13.3*	*11.1*	*14.5*	*9.5*	*36.4*	*12.1*	*12.6*	*0.0*
7.屋内の片付け	26	17	2	5	1	1	1	4	9	10	2	0	4	19	3
	13.4	*14.9*	*14.3*	*13.5*	*6.7*	*7.1*	*10.0*	*8.9*	*14.3*	*18.2*	*9.5*	*0.0*	*12.1*	*16.0*	*9.7*
8.ガレキの片付け	4	1	0	2	0	1	0	1	2	0	1	1	0	1	2
	2.1	*0.9*	*0.0*	*5.4*	*0.0*	*7.1*	*0.0*	*2.2*	*3.2*	*0.0*	*4.8*	*9.1*	*0.0*	*0.8*	*6.5*
9.家屋の応急処置	2	2	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	1	0	1
	1.0	*1.8*	*0.0*	*0.0*	*0.0*	*0.0*	*0.0*	*0.0*	*0.0*	*1.8*	*4.8*	*0.0*	*3.0*	*0.0*	*3.2*
10.保育･介護･話相手･遊び相手	19	9	1	6	0	3	0	4	7	7	1	1	0	17	1
	9.8	*7.9*	*7.1*	*16.2*	*0.0*	*21.4*	*0.0*	*8.9*	*11.1*	*12.7*	*4.8*	*9.1*	*0.0*	*14.3*	*3.2*
11.建築士の建物診断・助言	4.0	3.0	0.0	1.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.0	3.0	0.0	0.0	1.0	3.0	0.0
	2.1	*2.6*	*0.0*	*2.7*	*0.0*	*0.0*	*0.0*	*0.0*	*1.6*	*5.5*	*0.0*	*0.0*	*3.0*	*2.5*	*0.0*
12.医者・看護婦の巡回訪問	3	1	0	1	1	0	0	1	0	1	1	0	0	2	1
	1.5	*0.9*	*0.0*	*2.7*	*6.7*	*0.0*	*0.0*	*2.2*	*0.0*	*1.8*	*4.8*	*0.0*	*0.0*	*1.7*	*3.2*
13.理容・美容師のサービス	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	0.0	*0.0*	*0.0*	*0.0*	*0.0*	*0.0*	*0.0*	*0.0*	*0.0*	*0.0*	*0.0*	*0.0*	*0.0*	*0.0*	*0.0*
14.ｶｳﾝｾﾘﾝｸﾞ	1	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0
	0.5	*0.0*	*0.0*	*2.7*	*0.0*	*0.0*	*0.0*	*0.0*	*0.0*	*1.8*	*0.0*	*0.0*	*0.0*	*0.8*	*0.0*
15.生活情報提供	23	15	0	5	1	2	2	2	10	9	0	1	2	18	2
	11.9	*13.2*	*0.0*	*13.5*	*6.7*	*14.3*	*20.0*	*4.4*	*15.9*	*16.4*	*0.0*	*9.1*	*6.1*	*15.1*	*6.5*
16.音楽会などのイベント	15	6	3	3	2	1	1	2	9	2	1	1	5	7	2
	7.7	*5.3*	*21.4*	*8.1*	*13.3*	*7.1*	*10.0*	*4.4*	*14.3*	*3.6*	*4.8*	*9.1*	*15.2*	*5.9*	*6.5*
17.その他	57	26	3	17	4	7	4	17	14	15	7	2	5	40	10
	29.4	*22.8*	*21.4*	*45.9*	*26.7*	*50.0*	*40.0*	*37.8*	*22.2*	*27.3*	*33.3*	*18.2*	*15.2*	*33.6*	*32.3*
生活情報について															
２６．役に立った生活情報（複数回答）															
回答者実数	683	399	59	109	60	56	98	169	188	129	99	52	135	376	119
	100.0	*100.0*	*100.0*	*100.0*	*100.0*	*100.0*	*100.0*	*100.0*	*100.0*	*100.0*	*100.0*	*100.0*	*100.0*	*100.0*	*100.0*
1.炊き出し情報	96	51	20	14	7	4	13	20	37	18	8	13	27	48	8
	14.1	*12.8*	*33.9*	*12.8*	*11.7*	*7.1*	*13.3*	*11.8*	*19.7*	*14.0*	*8.1*	*25.0*	*20.0*	*12.8*	*6.7*
2.知人の安否情報	182	109	17	28	14	14	31	47	56	33	15	12	31	115	24
	26.6	*27.3*	*28.8*	*25.7*	*23.3*	*25.0*	*31.6*	*27.8*	*29.8*	*25.6*	*15.2*	*23.1*	*23.0*	*30.6*	*20.2*
3.給水情報	441	246	47	70	47	31	60	114	131	84	52	27	92	248	74
	64.6	*61.7*	*79.7*	*64.2*	*78.3*	*55.4*	*61.2*	*67.5*	*69.7*	*65.1*	*52.5*	*51.9*	*68.1*	*66.0*	*62.2*
4.食料品店情報	230	119	23	40	27	21	30	65	71	39	25	10	47	135	38
	33.7	*29.8*	*39.0*	*36.7*	*45.0*	*37.5*	*30.6*	*38.5*	*37.8*	*30.2*	*25.3*	*19.2*	*34.8*	*35.9*	*31.9*
5.自転車・バイク情報	17	8	4	2	0	3	0	5	4	6	2	0	4	10	3
	2.5	*2.0*	*6.8*	*1.8*	*0.0*	*5.4*	*0.0*	*3.0*	*2.1*	*4.7*	*2.0*	*0.0*	*3.0*	*2.7*	*2.5*
6.お風呂情報	375	213	33	56	45	28	41	87	126	73	48	24	74	211	66
	54.9	*53.4*	*55.9*	*51.4*	*75.0*	*50.0*	*41.8*	*51.5*	*67.0*	*56.6*	*48.5*	*46.2*	*54.8*	*56.1*	*55.5*
7.ゴミ回収状況	251	141	26	47	27	10	21	67	75	49	39	15	51	138	46
	36.7	*35.3*	*44.1*	*43.1*	*45.0*	*17.9*	*21.4*	*39.6*	*39.9*	*38.0*	*39.4*	*28.8*	*37.8*	*36.7*	*38.7*
8.貸倉庫情報	2	1	1	0	0	0	0	0	0	1	1	1	0	0	1
	0.3	*0.3*	*1.7*	*0.0*	*0.0*	*0.0*	*0.0*	*0.0*	*0.0*	*0.8*	*1.0*	*1.9*	*0.0*	*0.0*	*0.8*
9.路線バス運行情報	207	92	13	49	30	23	25	56	52	39	35	13	38	120	36
	30.3	*23.1*	*22.0*	*45.0*	*50.0*	*41.1*	*25.5*	*33.1*	*27.7*	*30.2*	*35.4*	*25.0*	*28.1*	*31.9*	*30.3*
10.鉄道運行情報	360	192	35	69	31	33	48	89	104	75	44	24	67	204	64
	52.7	*48.1*	*59.3*	*63.3*	*51.7*	*58.9*	*49.0*	*52.7*	*55.3*	*58.1*	*44.4*	*46.2*	*49.6*	*54.3*	*53.8*
11.道路情報	345	190	37	58	34	26	55	101	82	68	39	19	65	202	58
	50.5	*47.6*	*62.7*	*53.2*	*56.7*	*46.4*	*56.1*	*59.8*	*43.6*	*52.7*	*39.4*	*36.5*	*48.1*	*53.7*	*48.7*
12.保育所の状況	11	7	1	1	1	1	5	4	1	0	1	0	1	8	2
	1.6	*1.8*	*1.7*	*0.9*	*1.7*	*1.8*	*5.1*	*2.4*	*0.5*	*0.0*	*1.0*	*0.0*	*0.7*	*2.1*	*1.7*
13.病院リスト	108	57	14	17	11	9	18	33	27	18	12	7	29	57	15
	15.8	*14.3*	*23.7*	*15.6*	*18.3*	*16.1*	*18.4*	*19.5*	*14.4*	*14.0*	*12.1*	*13.5*	*21.5*	*15.2*	*12.6*
14.避難所リスト	29	17	4	5	1	2	6	7	7	4	5	1	6	19	3
	4.2	*4.3*	*6.8*	*4.6*	*1.7*	*3.6*	*6.1*	*4.1*	*3.7*	*3.1*	*5.1*	*1.9*	*4.4*	*5.1*	*2.5*
15.行政手続情報	288	151	32	59	18	28	31	77	86	51	43	41	90	146	11
	42.2	*37.8*	*54.2*	*54.1*	*30.0*	*50.0*	*31.6*	*45.6*	*45.7*	*39.5*	*43.4*	*78.8*	*66.7*	*38.8*	*9.2*
16.借家情報	11	11	0	0	0	0	1	2	4	3	1	5	1	4	1
	1.6	*2.8*	*0.0*	*0.0*	*0.0*	*0.0*	*1.0*	*1.2*	*2.1*	*2.3*	*1.0*	*9.6*	*0.7*	*1.1*	*0.8*
17.仮設住宅情報	11	9	0	1	0	1	1	1	4	3	2	4	3	4	0
	1.6	*2.3*	*0.0*	*0.9*	*0.0*	*1.8*	*1.0*	*0.6*	*2.1*	*2.3*	*2.0*	*7.7*	*2.2*	*1.1*	*0.0*

	総計	地域別					年齢別					住居の損壊程度別			
		西宮市	芦屋市	神戸市東灘区	神戸市灘区	神戸市中央区	25-34歳	35-39歳	40-44歳	45-49歳	50歳以上	全壊	半壊	一部損壊	損壊なし
18.保険金情報	15	11	2	1	0	1	2	1	6	5	1	6	2	7	0
	2.2	*2.8*	*3.4*	*0.9*	*0.0*	*1.8*	*2.0*	*0.6*	*3.2*	*3.9*	*1.0*	*11.5*	*1.5*	*1.9*	*0.0*
19.法律相談情報	24	16	3	3	1	1	2	5	6	5	6	10	5	9	0
	3.5	*4.0*	*5.1*	*2.8*	*1.7*	*1.8*	*2.0*	*3.0*	*3.2*	*3.9*	*6.1*	*19.2*	*3.7*	*2.4*	*0.0*
20.その他	6	4	0	2	0	0	0	4	2	0	0	0	0	5	1
	0.9	*1.0*	*0.0*	*1.8*	*0.0*	*0.0*	*0.0*	*2.4*	*1.1*	*0.0*	*0.0*	*0.0*	*0.0*	*1.3*	*0.8*
21.特になし	23	18	1	2	0	2	6	4	4	2	7	0	4	16	3
	3.4	*4.5*	*1.7*	*1.8*	*0.0*	*3.6*	*6.1*	*2.4*	*2.1*	*1.6*	*7.1*	*0.0*	*3.0*	*4.3*	*2.5*
２７．生活情報の入手方法（複数回答）															
回答者実数	685	405	59	108	59	54	98	165	192	134	96	52	134	378	120
	100.0	*100.0*	*100.0*	*100.0*	*100.0*	*100.0*	*100.0*	*100.0*	*100.0*	*100.0*	*100.0*	*100.0*	*100.0*	*100.0*	*100.0*
1.ラジオ	300	167	23	55	30	25	41	75	87	59	38	19	63	160	57
	43.8	*41.2*	*39.0*	*50.9*	*50.8*	*46.3*	*41.8*	*45.5*	*45.3*	*44.0*	*39.6*	*36.5*	*47.0*	*42.3*	*47.5*
2.テレビ	474	270	41	74	47	42	67	117	130	90	70	30	96	256	91
	69.2	*66.7*	*69.5*	*68.5*	*79.7*	*77.8*	*68.4*	*70.9*	*67.7*	*67.2*	*72.9*	*57.7*	*71.6*	*67.7*	*75.8*
3.新聞	501	280	44	83	51	43	69	125	141	99	67	40	100	280	80
	73.1	*69.1*	*74.6*	*76.9*	*86.4*	*79.6*	*70.4*	*75.8*	*73.4*	*73.9*	*69.8*	*76.9*	*74.6*	*74.1*	*66.7*
4.パソコンネットワーク	11	4	2	3	1	1	2	2	5	1	1	1	2	6	2
	1.6	*1.0*	*3.4*	*2.8*	*1.7*	*1.9*	*2.0*	*1.2*	*2.6*	*0.7*	*1.0*	*1.9*	*1.5*	*1.6*	*1.7*
5.行政の出す新聞・ビラなど	364	179	49	68	37	31	37	93	102	82	50	37	98	188	41
	53.1	*44.2*	*83.1*	*63.0*	*62.7*	*57.4*	*37.8*	*56.4*	*53.1*	*61.2*	*52.1*	*71.2*	*73.1*	*49.7*	*34.2*
6.避難所などの掲示板	103	47	11	30	7	8	13	38	29	14	9	14	29	49	11
	15.0	*11.6*	*18.6*	*27.8*	*11.9*	*14.8*	*13.3*	*23.0*	*15.1*	*10.4*	*9.4*	*26.9*	*21.6*	*13.0*	*9.2*
7.駅・街頭の貼紙	66	31	8	18	6	3	7	16	24	10	9	7	10	36	13
	9.6	*7.7*	*13.6*	*16.7*	*10.2*	*5.6*	*7.1*	*9.7*	*12.5*	*7.5*	*9.4*	*13.5*	*7.5*	*9.5*	*10.8*
8.知人・友人より	365	218	32	53	35	27	45	87	113	81	39	29	72	211	52
	53.3	*53.8*	*54.2*	*49.1*	*59.3*	*50.0*	*45.9*	*52.7*	*58.9*	*60.4*	*40.6*	*55.8*	*53.7*	*55.8*	*43.3*
9.都市生活生協のチラシ類	45	33	2	5	3	2	8	5	9	13	10	4	8	24	9
	6.6	*8.1*	*3.4*	*4.6*	*5.1*	*3.7*	*8.2*	*3.0*	*4.7*	*9.7*	*10.4*	*7.7*	*6.0*	*6.3*	*7.5*
10.都市生活生協の職員や委員	13	10	0	3	0	0	3	2	2	4	2	1	3	7	2
	1.9	*2.5*	*0.0*	*2.8*	*0.0*	*0.0*	*3.1*	*1.2*	*1.0*	*3.0*	*2.1*	*1.9*	*2.2*	*1.9*	*1.7*
11.ボランティアｸﾞﾙｰﾌﾟの情報紙	53	21	5	20	5	2	7	14	14	11	7	9	11	27	6
	7.7	*5.2*	*8.5*	*18.5*	*8.5*	*3.7*	*7.1*	*8.5*	*7.3*	*8.2*	*7.3*	*17.3*	*8.2*	*7.1*	*5.0*
12.その他	19	11	1	6	1	0	0	8	5	4	2	0	2	12	5
	2.8	*2.7*	*1.7*	*5.6*	*1.7*	*0.0*	*0.0*	*4.8*	*2.6*	*3.0*	*2.1*	*0.0*	*1.5*	*3.2*	*4.2*
13.特になし	16	12	1	2	0	1	4	3	3	2	4	0	1	11	4
	2.3	*3.0*	*1.7*	*1.9*	*0.0*	*1.9*	*4.1*	*1.8*	*1.6*	*1.5*	*4.2*	*0.0*	*0.7*	*2.9*	*3.3*
２８．不足していた情報（複数回答）															
回答者実数	528	315	38	90	45	40	77	133	149	99	70	42	98	295	92
	100.0	*100.0*	*100.0*	*100.0*	*100.0*	*100.0*	*100.0*	*100.0*	*100.0*	*100.0*	*100.0*	*100.0*	*100.0*	*100.0*	*100.0*
1.炊き出し情報	37	26	2	5	0	4	5	6	14	6	6	4	14	15	4
	7.0	*8.3*	*5.3*	*5.6*	*0.0*	*10.0*	*6.5*	*4.5*	*9.4*	*6.1*	*8.6*	*9.5*	*14.3*	*5.1*	*4.3*
2.知人の安否情報	41	25	4	10	1	1	5	17	7	8	4	4	8	22	7
	7.8	*7.9*	*10.5*	*11.1*	*2.2*	*2.5*	*6.5*	*12.8*	*4.7*	*8.1*	*5.7*	*9.5*	*8.2*	*7.5*	*7.6*
3.給水情報	145	79	16	21	17	12	14	37	45	33	16	11	27	83	23
	27.5	*25.1*	*42.1*	*23.3*	*37.8*	*30.0*	*18.2*	*27.8*	*30.2*	*33.3*	*22.9*	*26.2*	*27.6*	*28.1*	*25.0*
4.食料品店情報	89	52	11	8	10	8	15	20	29	16	9	8	16	50	14
	16.9	*16.5*	*28.9*	*8.9*	*22.2*	*20.0*	*19.5*	*15.0*	*19.5*	*16.2*	*12.9*	*19.0*	*16.3*	*16.9*	*15.2*
5.自転車・バイク情報	5	2	0	2	0	1	0	2	1	2	0	0	3	2	0
	0.9	*0.6*	*0.0*	*2.2*	*0.0*	*2.5*	*0.0*	*1.5*	*0.7*	*2.0*	*0.0*	*0.0*	*3.1*	*0.7*	*0.0*
6.お風呂情報	80	58	4	8	5	5	11	17	28	11	13	5	11	53	10
	15.2	*18.4*	*10.5*	*8.9*	*11.1*	*12.5*	*14.3*	*12.8*	*18.8*	*11.1*	*18.6*	*11.9*	*11.2*	*18.0*	*10.9*
7.ゴミ回収状況	127	68	7	28	14	10	11	33	43	28	12	13	27	67	20
	24.1	*21.6*	*18.4*	*31.1*	*31.1*	*25.0*	*14.3*	*24.8*	*28.9*	*28.3*	*17.1*	*31.0*	*27.6*	*22.7*	*21.7*
8.貸倉庫情報	15	7	3	4	1	0	0	3	6	3	3	3	6	3	3
	2.8	*2.2*	*7.9*	*4.4*	*2.2*	*0.0*	*0.0*	*2.3*	*4.0*	*3.0*	*4.3*	*7.1*	*6.1*	*1.0*	*3.3*
9.路線バス運行情報	51	27	5	9	8	2	5	13	18	11	4	1	9	30	10
	9.7	*8.6*	*13.2*	*10.0*	*17.8*	*5.0*	*6.5*	*9.8*	*12.1*	*11.1*	*5.7*	*2.4*	*9.2*	*10.2*	*10.9*
10.鉄道運行情報	16	7	0	4	1	4	3	3	5	2	3	0	5	10	1
	3.0	*2.2*	*0.0*	*4.4*	*2.2*	*10.0*	*3.9*	*2.3*	*3.4*	*2.0*	*4.3*	*0.0*	*5.1*	*3.4*	*1.1*
11.道路情報	78	43	7	15	7	6	9	31	18	14	6	6	10	51	11
	14.8	*13.7*	*18.4*	*16.7*	*15.6*	*15.0*	*11.7*	*23.3*	*12.1*	*14.1*	*8.6*	*14.3*	*10.2*	*17.3*	*12.0*
12.保育所の状況	3	2	0	0	1	0	1	2	0	0	0	0	1	0	2

	総計	地域別					年齢別					住居の損壊程度別			
		西宮市	芦屋市	神戸市東灘区	神戸市灘区	神戸市中央区	25-34歳	35-39歳	40-44歳	45-49歳	50歳以上	全壊	半壊	一部損壊	損壊なし
	0.6	*0.6*	*0.0*	*0.0*	*2.2*	*0.0*	*1.3*	*1.5*	*0.0*	*0.0*	*0.0*	*0.0*	*1.0*	*0.0*	*2.2*
13.病院リスト	61	40	5	7	3	6	10	18	15	11	7	5	12	30	14
	11.6	*12.7*	*13.2*	*7.8*	*6.7*	*15.0*	*13.0*	*13.5*	*10.1*	*11.1*	*10.0*	*11.9*	*12.2*	*10.2*	*15.2*
14.避難所リスト	16	11	0	3	0	2	4	3	4	3	2	2	4	8	2
	3.0	*3.5*	*0.0*	*3.3*	*0.0*	*5.0*	*5.2*	*2.3*	*2.7*	*3.0*	*2.9*	*4.8*	*4.1*	*2.7*	*2.2*
15.行政手続情報	61	41	5	7	3	5	12	11	18	9	11	5	14	36	5
	11.6	*13.0*	*13.2*	*7.8*	*6.7*	*12.5*	*15.6*	*8.3*	*12.1*	*9.1*	*15.7*	*11.9*	*14.3*	*12.2*	*5.4*
16.借家情報	22	16	2	3	1	0	2	6	5	8	1	8	3	6	5
	4.2	*5.1*	*5.3*	*3.3*	*2.2*	*0.0*	*2.6*	*4.5*	*3.4*	*8.1*	*1.4*	*19.0*	*3.1*	*2.0*	*5.4*
17.仮設住宅情報	9	6	1	0	1	1	0	3	3	3	0	2	3	3	1
	1.7	*1.9*	*2.6*	*0.0*	*2.2*	*2.5*	*0.0*	*2.3*	*2.0*	*3.0*	*0.0*	*4.8*	*3.1*	*1.0*	*1.1*
18.保険金情報	5	3	0	1	0	1	0	1	1	2	1	1	2	0	1
	0.9	*1.0*	*0.0*	*1.1*	*0.0*	*2.5*	*0.0*	*0.8*	*0.7*	*2.0*	*1.4*	*2.4*	*2.0*	*0.0*	*1.1*
19.法律相談情報	12	7	1	2	2	0	1	4	4	2	1	3	5	2	2
	2.3	*2.2*	*2.6*	*2.2*	*4.4*	*0.0*	*1.3*	*3.0*	*2.7*	*1.0*	*1.4*	*7.1*	*5.1*	*0.7*	*2.2*
20.その他	24	11	1	9	1	2	4	3	8	5	4	2	5	13	4
	4.5	*3.5*	*2.6*	*10.0*	*2.2*	*5.0*	*5.2*	*2.3*	*5.4*	*5.1*	*5.7*	*4.8*	*5.1*	*4.4*	*4.3*
21.特になし	151	88	9	27	14	13	25	34	42	29	21	6	22	94	29
	28.6	*27.9*	*23.7*	*30.0*	*31.1*	*32.5*	*32.5*	*25.6*	*28.2*	*29.3*	*30.0*	*14.3*	*22.4*	*31.9*	*31.5*
今後のことについて															
２９．現在、困っていること（２つまでの複数回答）															
回答者実数	616	355	55	105	53	48	88	156	170	121	81	46	122	346	101
	100.0	*100.0*	*100.0*	*100.0*	*100.0*	*100.0*	*100.0*	*100.0*	*100.0*	*100.0*	*100.0*	*100.0*	*100.0*	*100.0*	*100.0*
1.住居に関する経済的なこと	95	46	7	27	6	9	10	22	25	24	14	18	45	29	3
	15.4	*13.0*	*12.7*	*25.7*	*11.3*	*18.8*	*11.4*	*14.1*	*14.7*	*19.8*	*17.3*	*39.1*	*36.9*	*8.4*	*3.0*
2.居住場所が定まらないこと	7	5	1	0	0	1	0	2	3	1	1	3	0	4	0
	1.1	*1.4*	*1.8*	*0.0*	*0.0*	*2.1*	*0.0*	*1.3*	*1.8*	*0.8*	*1.2*	*6.5*	*0.0*	*1.2*	*0.0*
3.住居の補修などの技術的なこと	76	40	8	17	5	6	6	18	20	16	16	9	35	31	1
	12.3	*11.3*	*14.5*	*16.2*	*9.4*	*12.5*	*6.8*	*11.5*	*11.8*	*13.2*	*19.8*	*19.6*	*28.7*	*9.0*	*1.0*
4.仕事が不安定になったこと	15	6	2	3	1	3	2	4	2	6	1	0	3	9	2
	2.4	*1.7*	*3.6*	*2.9*	*1.9*	*6.3*	*2.3*	*2.6*	*1.2*	*5.0*	*1.2*	*0.0*	*2.5*	*2.6*	*2.0*
5.家族が分かれて住んでいること	2	2	0	0	0	0	0	0	1	0	1	1	1	0	0
	0.3	*0.6*	*0.0*	*0.0*	*0.0*	*0.0*	*0.0*	*0.0*	*0.6*	*0.0*	*1.2*	*2.2*	*0.8*	*0.0*	*0.0*
6.家族員の精神的ストレス	66	40	3	14	2	7	6	18	21	14	7	13	13	32	8
	10.7	*11.3*	*5.5*	*13.3*	*3.8*	*14.6*	*6.8*	*11.5*	*12.4*	*11.6*	*8.6*	*28.3*	*10.7*	*9.2*	*7.9*
7.家族員の体調の悪化	42	30	1	6	3	2	3	10	11	8	10	7	9	16	10
	6.8	*8.5*	*1.8*	*5.7*	*5.7*	*4.2*	*3.4*	*6.4*	*6.5*	*6.6*	*12.3*	*15.2*	*7.4*	*4.6*	*9.9*
8.その他	43	18	6	10	5	4	8	12	16	4	3	1	4	34	4
	7.0	*5.1*	*10.9*	*9.5*	*9.4*	*8.3*	*9.1*	*7.7*	*9.4*	*3.3*	*3.7*	*2.2*	*3.3*	*9.8*	*4.0*
9.特になし	360.0	219.0	33.0	48.0	34.0	26.0	59.0	91.0	97.0	68.0	45.0	10.0	48.0	224.0	78.0
	58.4	*61.7*	*60.0*	*45.7*	*64.2*	*54.2*	*67.0*	*58.3*	*57.1*	*56.2*	*55.6*	*21.7*	*39.3*	*64.7*	*77.2*
３０．震災復興に関して、関心を持っていること（２つまでの複数回答）															
回答者実数	655	389	55	105	56	50	96	163	183	128	85	50	126	366	112
	100.0	*100.0*	*100.0*	*100.0*	*100.0*	*100.0*	*100.0*	*100.0*	*100.0*	*100.0*	*100.0*	*100.0*	*100.0*	*100.0*	*100.0*
1.地域の震災復興計画の青写真	168	97	17	30	15	9	18	43	52	37	18	16	35	92	25
	25.6	*24.9*	*30.9*	*28.6*	*26.8*	*18.0*	*18.8*	*26.4*	*28.4*	*28.9*	*21.2*	*32.0*	*27.8*	*25.1*	*22.3*
2.都市計画決定への市民参加	82	38	6	19	12	7	8	24	25	17	8	6	15	45	16
	12.5	*9.8*	*10.9*	*18.1*	*21.4*	*14.0*	*8.3*	*14.7*	*13.7*	*13.3*	*9.4*	*12.0*	*11.9*	*12.3*	*14.3*
3.都市計画での自宅や周辺の変化	145	95	9	22	10	9	18	41	36	28	22	21	31	79	14
	22.1	*24.4*	*16.4*	*21.0*	*17.9*	*18.0*	*18.8*	*25.2*	*19.7*	*21.9*	*25.9*	*42.0*	*24.6*	*21.6*	*12.5*
4.近隣の人達との連帯関係	135	90	12	13	12	8	20	29	39	22	25	13	26	69	27
	20.6	*23.1*	*21.8*	*12.4*	*21.4*	*16.0*	*20.8*	*17.8*	*21.3*	*17.2*	*29.4*	*26.0*	*20.6*	*18.9*	*24.1*
5.ボランティア活動への参加	96	59	7	19	3	8	14	15	28	27	12	6	15	58	17
	14.7	*15.2*	*12.7*	*18.1*	*5.4*	*16.0*	*14.6*	*9.2*	*15.3*	*21.1*	*14.1*	*12.0*	*11.9*	*15.8*	*15.2*
6.ｱｽﾍﾞｽﾄ･ﾌﾛﾝｶﾞｽ飛散など環境問題	422	235	40	68	40	39	66	111	128	73	44	27	86	234	74
	64.4	*60.4*	*72.7*	*64.8*	*71.4*	*78.0*	*68.8*	*68.1*	*69.9*	*57.0*	*51.8*	*54.0*	*68.3*	*63.9*	*66.1*
7.その他	12	7	0	2	2	1	1	5	3	2	1	1	1	8	2
	1.8	*1.8*	*0.0*	*1.9*	*3.6*	*2.0*	*1.0*	*3.1*	*1.6*	*1.6*	*1.2*	*2.0*	*0.8*	*2.2*	*1.8*
8.特にない	29	24	1	3	1	0	5	6	6	7	5	0	4	17	8
	4.4	*6.2*	*1.8*	*2.9*	*1.8*	*0.0*	*5.2*	*3.7*	*3.3*	*5.5*	*5.9*	*0.0*	*3.2*	*4.6*	*7.1*

表紙写真：神戸市東灘区内の青空市（95年3月）